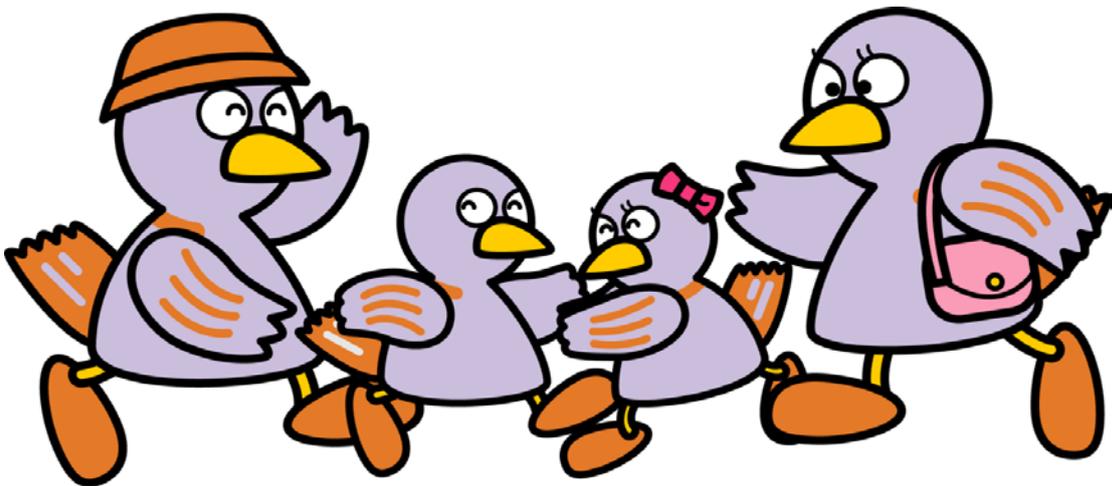


埼玉県 放課後子ども教室 活動レシピ集



埼玉県のマスコット「コバトン」

埼玉県教育委員会

はじめに

本県では、「放課後子ども教室」を教育振興基本計画「生きる力と絆の埼玉教育プラン」の中に位置付け、その推進に努めており、現在、県内各地でその地域の特色にあった様々な活動が行われております。

それらの特色ある活動を県内の「放課後子ども教室」で共有することで、「放課後子ども教室」の活動内容の一層の充実を図るため、本活動レシピ集を作成いたしました。

本活動レシピ集は、「放課後子ども教室」を実施する市町から、お勧めの活動の内容（作り方、遊び方等）や工夫したところ、児童等の感想などを記載した活動報告書を御提出いただき、まとめたものです。おかげさまで、98の活動レシピが集まりました。

集まった活動レシピは、「ものづくり」、「遊び・スポーツ」、「体験・学習」、「料理」、「その他」の5つに分類しております。

本活動レシピ集を子供たちや活動場所に応じて御活用いただき、「放課後子ども教室」の活動内容が一層充実していくことを願っております。

また、「学校応援団」で活用できる取組についても多く盛り込まれておりますので、「学校応援団」の活動にも御活用いただければと思います。

結びに、本活動レシピ集の作成に当たりまして、関係者の皆様方に多大な御協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

平成25年1月

埼玉県教育局市町村支援部家庭地域連携課長 及川 孝之

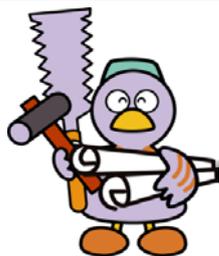
目 次

区分		番号	名称	応援団での活用	ページ
ものづくり	遊び道具系	飛行系	1 竹トンボを作って遊ぼう	○	2
			2 紙トンボ	○	3
			3 紙コプター		4
			4 紙コップロケット		4
			5 手作りペットボトルロケット	○	5
			6 ダイヤ型連風	○	6
		鉄砲系	7 竹の水鉄砲		8
			8 竹の水鉄砲づくり		9
			9 水鉄砲	○	10
			10 割り箸鉄砲を作ろう		11
			11 洗濯ばさみ鉄砲		12
		その他	12 竹を伐って竹ポックリを作ろう	○	13
			13 手づくりジグソーパズル		14
			14 牛乳パックのへび	○	15
			15 カラフル変形コマ	○	16
			16 8の字かざぐるま	○	17
			17 釣堀		17
			18 紙皿づくりと皿回し大会		18
	生活用品系	19 ゆびあみ		19	
		20 エコバック作り		19	
		21 新聞でエコバックを作ろう	○	20	
		22 新聞紙で作る手さげバッグ		21	
		23 エコクラフトで編む『わこうっち』	○	22	
		かざり・アクセサリ系	24 工作(レター差し、表札など)	○	23
			25 スチロール工作		24
			26 壁掛け(オブジェ)		25
			27 牛乳パックキュービック	○	26
			28 折込チラシでつくる蝶のかざり		27
	29 世界で一匹オリジナル タオルで作る犬のぬいぐるみ人形		○	28	
	30 折り紙教室		○	29	
	31 折り紙教室		○	30	
	32 折り紙ブローチ			30	
	33 プラ板			31	
	34 プラ板アクセサリ		○	32	
	35 ペットボトルキャップの飾り付け		○	33	
	36 スイーツデコ教室		○	34	
	37 ビーズアクセサリ作り			35	
遊び・スポーツ	競争・リレー系		38 競争(どっちが早いかな?)	○	38
			39 コーン乗せ競争(ウォーミングアップ)	○	39
			40 カードがえし	○	40
		41 ヒューマンサッカー	○	41	
		42 キャタビラ リレー	○	42	
		43 「あ」をさがせ		43	
		ボール・風船遊び系	44 シートターゲットゲーム	○	44
	45 ミッキーにストライク		○	46	
	46 ミニバスケット玉いれ		○	48	
	47 風船バレーボール		○	50	
	48 爆弾バレー		○	52	
	49 キンボールで遊ぼう			53	
	50 野球教室	○	54		

区分		番号	名称	応援団での活用	ページ
遊び・スポーツ	クイズ・探索系	51	スタンプラリー	○	55
		52	クイズ式スタンプラリー遊び		56
		53	なでし子クエスト		57
		54	内牧小クイズ		58
	その他	55	フラットほりっこ(昔遊び等)	○	60
		56	昔遊び	○	61
		57	レクリエーション吹矢		61
		58	ジャグリング		62
		59	手品		62
		60	楽しいマジック教室	○	63
		61	ペットボトルシャワー		63
		62	君も名人ー将棋に親しむ	○	64
		63	新聞じゃんけん	○	65
		64	一緒にジャンプ		66
		65	シャボン玉あそび	○	67
		66	ジャンボしゃぼん玉		68
		67	宿題をやろう！終わったら外で遊ぼう	○	69
体験・学習	体験・交流系	68	七夕 まこも馬	○	72
		69	お茶の世界を体験しよう		73
		70	茶道、着付け教室	○	74
		71	筆と墨で遊ぼう		74
		72	能楽教室		75
		73	流しそうめん大会		76
		74	焼き芋パーティー		77
		75	大根作り		78
	学習系	76	数字パズル(やさしい数独)	○	79
		77	おもしろ数字		80
		78	そろばん教室	○	80
		79	ミュージックベル教室	○	81
		80	楽しい音楽<クレッシェンド>	○	82
		81	英語で遊ぼう	○	83
		82	モールヘビを踊らせる		84
		83	アラゴの円板		85
		84	ハンドパワーボトル(浮沈子)		86
		85	日光写真	○	87
86	ダンゴムシの迷路脱出		88		
料理	料理系	87	カップ寿司		90
		88	お米くらべ		91
		89	うどんづくり		92
		90	手打ちうどん・飯餅	○	93
		91	ミニミニピッツア		94
	92	ぎょうざづくり	○	95	
	おやつ系	93	白玉団子	○	96
		94	月見団子づくり	○	96
95		ホットケーキミックスを使った蒸しパン	○	97	
96	おまんじゅう作り		98		
その他	97	保護者参観		100	
	98	がんばりノート		101	

※ 「応援団での活用」欄について

学校応援団の活動にも活用できそうな取組に、「○」を付けています。1つの目安としてください。



ものづくり

区分	番号	名称	教室名	応援団での活用	ページ
遊び道具系	飛行系	1 竹トンボを作って遊ぼう	新座市 新座っ子ばわーあっぷくらぶ「森の子くらぶ」	○	2
		2 紙トンボ	坂戸市 三芳野・勝呂げんき教室	○	3
		3 紙コプター	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		4
		4 紙コップロケット	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		4
		5 手作りペットボトルロケット	熊谷市放課後子ども教室「桜木っ子ふれあいじゅく」	○	5
		6 ダイヤ型連凧	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室	○	6
	鉄砲系	7 竹の水鉄砲	蕨市立中央東小学校区放課後子ども教室		8
		8 竹の水鉄砲づくり	上里町放課後子ども教室「のびっ子教室」		9
		9 水鉄砲	久喜市放課後子ども教室「おばやしゆうゆうプラザ」	○	10
		10 割り箸鉄砲を作ろう	横瀬町放課後子ども教室		11
		11 洗濯ばさみ鉄砲	北本市放課後子ども教室		12
		その他	12 竹を伐って竹ポックリを作ろう	新座市 新座っ子ばわーあっぷくらぶ「森の子クラブ」	○
	13 手づくりジグソーパズル		北本市放課後子ども教室		14
	14 牛乳パックのへび		小鹿野町立両神小学校いきいき教室	○	15
	15 カラフル変形コマ		小鹿野町立長若小学校子どもいきいき教室	○	16
	16 8の字かざぐるま		深谷市 明戸小がんばル〜ム	○	17
	17 釣堀		富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		17
	18 紙皿づくりと皿回し大会	さいたま市 向小チャレンジスクール「ひまわりっ子わくわく教室」		18	
生活用品系	19 ゆびあみ	富士見市地域子ども教室「ふじみ野遊びーズ」		19	
	20 エコバック作り	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		19	
	21 新聞でエコバックを作ろう	東松山市放課後子ども教室「パステルKids」	○	20	
	22 新聞紙で作る手さげバッグ	久喜市放課後子ども教室「栗くりゆうゆうプラザ」		21	
	23 エコクラフトで編む『わこうっち』	和光市放課後子ども教室	○	22	
かざり・アクセサリ系	24 工作(レター差し、表札など)	久喜市放課後子ども教室「さくらっ子ゆうゆうプラザ」	○	23	
	25 スチロール工作	上里町放課後子ども教室「のびっ子教室」		24	
	26 壁掛け(オブジェ)	東松山市放課後子ども教室「わくわくbluebird」		25	
	27 牛乳パックキュービック	行田市北小わくわくクラブ	○	26	
	28 折込チラシでつくる蝶のかざり	久喜市放課後子ども教室「栗くりゆうゆうプラザ」		27	
	29 世界で一匹オリジナル タオルで作る犬のぬいぐるみ人形	新座市 新座っ子ばわーあっぷくらぶ「遊びのたからばこ」	○	28	
	30 折り紙教室	熊谷市放課後子ども教室「奈良っ子ふれあいメイト」	○	29	
	31 折り紙教室	幸手市放課後子ども教室	○	30	
	32 折り紙ブローチ	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		30	
	33 プラ板	富士見市地域子ども教室「レインボーキッズ針ヶ谷」		31	
	34 プラ板アクセサリ	ふじみ野市放課後子ども教室	○	32	
	35 ペットボトルキャップの飾り付け	川口市放課後子ども教室「戸塚南どれみふぁ広場」	○	33	
	36 スイーツデコ教室	杉戸町立杉戸第二小学校放課後子ども教室	○	34	
	37 ビーズアクセサリ作り	さいたま市 大谷口小学校「大谷口けやきっ子クラブ」		35	

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	90分
名称	竹トンボを作って遊ぼう	所要人数	20人～40人 1グループ5～6人
活動場所等	緑地等		
おすすめポイント	①切り出しナイフの使い方が身に着く ②竹トンボの仕組みが分る ③最後にものを作った達成感が得られる		
準備する物	竹トンボの材料 羽根用の竹: 外皮と内皮を取って長さ幅と厚みをある程度加工して揃えたもの 軸用の竹: 外皮を残した四角で羽根の大きさに対して軸の長さに必要な長さより2～3cm長めのもの 切り出しナイフ 人数分 三つ目錐 各班1本		

◆内容(作り方、遊び方等)

最初に切り出しナイフを使うときの注意

- 1) ナイフを持った手のそばに人がいないことを確かめる。
- 2) ナイフを持った手のひじは横腹にくっつけた状態で使う。
- 3) 使わない時は必ずさやに入れておく。

羽根の作り方

- 1) 羽根の中心、軸を取り付ける穴をあける位置を決めて印を付ける。
 - ① 中心と思われる位置にしるしを付ける。
 - ② 軸用の竹の先端を印の位置に合せ、羽根の端の位置に親指の爪を当てて動かさないように固定する。
 - ③ 羽根の反対側の端に、固定した親指の爪を当て、軸用竹の先端の位置に印する。
 - ④ 竹の先端の位置が一致したら、そこが長さ方向の中心
 - ⑤ 軸用竹の先端の位置が一致しないときは、2つの印のまん中が羽根の長さ方向の中心の位置になる。
 - ⑥ 長さ方向の真ん中と幅方向の真ん中の位置が軸の穴の位置になる。



さあ、仕上げだ!!

- 2) 見本の竹トンボをよく見て削る場所を確かめる。
- 3) 削る場所は4か所あるので、1か所ずつ丁寧に削る。
- 4) 切り出しナイフの刃を余り深く切り込まないように、うすくゆっくり削る。
- 5) 羽根のかたちが出来たら、錐で軸を取り付ける穴をあける(共同作業)。
- 6) 軸を作る。



ブルーシート屋根から出て、選手集合! よーいして!!

- ① 材料の竹の半分から先の方の角を1か所ずつ少しずつ削って丸くする。
- ② 羽根にあけた穴に入るくらいまで削ったら穴に入れてみる。
- ③ 穴に通る部分を少しずつ長くしていき、最後の2cmくらいは残す。
- ④ 残った軸の部分を少しずつ削り最後は穴にきつく押し込む。
- ⑤ 軸が羽根に対して曲がっていないか2方向から確かめたら出来上がり。

7) 飛行開始

- ① 両手の手のひらで軸をはさんで垂直に持ち、右手の指先を左手の指先から10cmくらい手前に引く。
- ② 左手は動かさず、右手のみを前に擦り出す(これは右利きの人の場合)。
- ③ 羽根は自分の顔の方に向けないように注意する。



あっ飛んだ!

◆工夫したところ

- 1) 軸の位置が大ききずれないように、羽根の中心の位置決めは慎重にした。
- 2) 軸を削る時に、削り過ぎないようにナイフの刃を立て過ぎないように注意した。
- 3) 軸を押し込む時にゆるくなってしまった場合は削りくずを挟んでしっかり押し込むことを教えた。
- 4) 飛ぶ距離、高さ、滞空時間などの班対抗等競争をしてゲーム性を取り入れて遊んだ。

◆児童等の感想

- 1) 羽根を削る時、どうしても先の方を削り過ぎて細くなってしまったが飛んで良かった。
- 2) 軸を削り過ぎてしまったので作り直して大変だったけど最後に飛ばせてうれしかった。
- 3) ナイフで削る時、左の手(親指)が痛くなって、うまく削れなかった。
- 4) 初めて自分で作った竹トンボが飛ばせて嬉しかった。

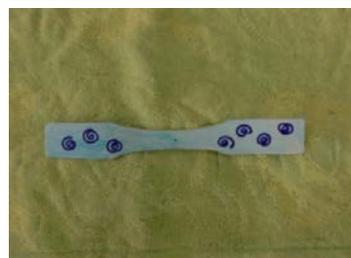
教室名	新座市 新座っ子ばわーあつぐらぶ「森の子くらぶ」		
-----	--------------------------	--	--

応援団での活用 ○

分類	ものづくり	所要時間	5分
名称	紙トンボ	所要人数	1人から
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	簡単にできて楽しめます。		
準備する物	厚紙、ストロー、はさみ、ホチキス		

◆内容(作り方、遊び方)

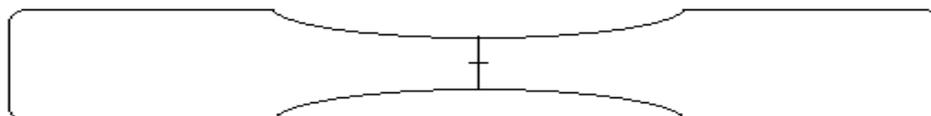
- ① 厚紙で羽根の型を作る。オリジナルの絵を描くと楽しい。
- ② ストローの先を4つに切る。
- ③ 切った先を折り、羽根をホチキスでとめて出来上がり。
- ④ 竹とんぼのように両てのひらでまわして飛ばす。



できあがり!!



型紙



◆児童等の様子

ロングランの人気です。羽根を複数つけて遊んでいる子どももいます。

教室名	坂戸市 三芳野・勝呂げんき教室
-----	-----------------

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	10分
名称	紙コプター	所要人数	1人～
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でできること。 ・ 学年に関係なく楽しめること。 		
準備する物	紙コップ・割り箸半分・輪ゴム・ボンド・色を塗るもの		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>① 紙コップの飲み口の方から等間隔(1cm～2cmくらい)で切る。</p> <p>② 割り箸の上部1cmの部分にボンドを塗り、その下に輪ゴムを巻く。</p> <p>③ ボンドが乾く前にその割り箸を切り口を作った紙コップに下から差し込む。</p> <p>④ ボンドが乾いたら竹とんぼを飛ばすように手をすり合わせて飛ばす。 ※ 絵・色付けをするのは、はじめか終わりが良いと思う。</p> <p>◆工夫したところ 割り箸とコップの固定</p> <p>◆児童等の感想 きれいにぬれた。</p>			
教室名	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	5分から
名称	紙コップロケット	所要人数	1人から
活動場所等	体育館等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単にできること。 ・ 短時間でできること。 		
準備する物	紙コップ2個・輪ゴム		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>① 紙コップの口側に4箇所切り込みを入れる(2mm～10mm程度)。</p> <p>② 輪ゴムを十字にひっかける。</p> <p>③ もう一つの紙コップを後ろ側にかぶせる。 このとき両手で持ち、下まで押さえて同時に手を離すと紙ロケットが高く飛ぶ。</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作り上げてから、紙を貼ってロケットにした。 ・ 一番高く飛ぶコンテストを実施した。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単にできて楽しかった。 ・ いろいろなロケットができた。 			
教室名	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		

分類	ものづくり	所要時間	180分
名称	手作りペットボトルロケット	所要人数	20人～
活動場所等	製作:室内 発射体験:学校の校庭や公営のグラウンド、河川敷等の広い場所		
おすすめポイント	形や構造、色をくふうさせたり、飛距離を競ったりすることで子どもたちは大変意欲的に取り組みます。		
準備する物	1. 5Lペットボトル5本、ビニールテープ、幅広両面テープ、市販キット(ウレタントップ、噴射ノズル、発射台)、ハサミ、カッターナイフ、ステプラー、空気入れ、ペンチ、定規、水桶		

◆内容(作り方、遊び方等)

(ロケット作成)

① ダミータンクの作成:ペットボトルの上部と下部を切り離す。



② エンジンタンクの作成:噴射口を取り付ける。



③ ダミータンクとエンジンタンクを取り付け、ビニールテープで貼り合わせる。

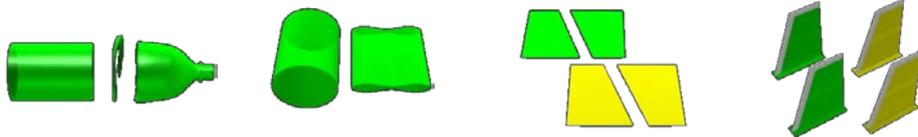


④ ウレタントップを取り付ける。

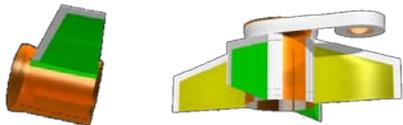


⑤ はねの作成:ペットボトルの上部と下部を切り落とし、平らにつぶして図のように切り取る。

両面テープ、ビニールテープ等で貼り合わせ、図のようなはねを4つ作成する。



⑥ スカートの作成:ペットボトルを切り取り、はねを取り付ける。



⑦ スカートを本体に取り付けて完成。



(発射体験)

① グラウンド等の広い場所にて、市販の発射台に接続して発射させる。

② 発射台は複数用意し、グループに分かれて体験させる。

③ 発射するときには、その先に人がいないか十分確認させる。

④ 発射させたロケットを回収するときには、安全に十分注意させる。

◆工夫したところ

○ 色マジックを使って、デザインさせるとよい。

○ はねの形も工夫させることができる。

※日本ペットボトルクラフト協会 インターネット支部
<http://www.pcaj-i.jp/index.html>

◆児童等の感想

○ ペットボトルは切ったりする作業が大変だったけど、がんばって作ったからたくさん飛んだ。メチャメチャうれしかった。

○ ペットボトルロケット大会で「きれい賞」がとれてうれしかった。

○ 友だちと飛距離を競うのが楽しかった。

教室名	熊谷市放課後子ども教室「桜木っ子ふれあいじゅく」
-----	--------------------------

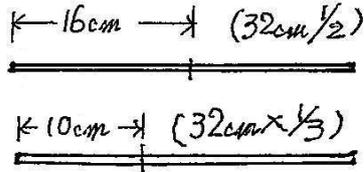
		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	60分～90分
名称	ダイヤ型連凧(縦横32cm程度)	所要人数	スタッフ10名 生徒60～80名
活動場所等	教室、校庭(凧あげ)		
おすすめポイント	唯一無二の各人1枚の凧を作ること、チーム連凧として完成。(予算4～5千円/100枚)		
準備する物	平竹ひご、薄い紙又はビニール、接着剤、木綿糸、タコ糸、きり、糊		
◆内容(作り方、遊び方等)			
1. 作り方 (別紙イラスト 参照)			
1) 竹ひご、長さ32cmを2本準備し、1本を端より10cmにマーク、2本目を16cm(1/2)にマーク			
2) 2本のマークの場所に速乾強力接着剤をつけ十字架をつくる(90度の直角を維持) (補強の為、十字部分を糸で縛る)			
3) 横骨の竹ひごの両端5mm程度の場所と、十字部分縦骨のすぐ下にキリでアナをあける。 (縦骨の穴は凧を繋げるときに必要となる)——アナあけ難しいところ。			
4) 横骨竹ひごを弓のように曲げる為、アナの片方に糸を縛りつけ、ひごを曲げながらもう一方に縛り付ける(凧の風きを良くする為)。——難しいところ。			
5) たこの骨格にダイヤ型にカットした紙(又はビニール)を貼る。(下記の型紙を作るとカットが容易) (上部は20cmの二等辺、下部は27cmの二等辺、中央は32cmのダイヤ型)			
6) 乾いたら中央のアナにタコ糸を通し凧が移動しないよう通した糸を凧の前後でチチ輪を作る。 最後に足(70cm程度)をテープで貼り付ける。			
7) 連凧にする場合には各凧の中央のあなにタコ糸を通しチチ輪で止め、繋げる。			
* 子ども達には難しいので骨格作りはスタッフが準備、子ども達には凧紙へのデザインと貼り付け作業をする。(スタッフは苦勞します)			
* 連凧のキットがありますので購入手配も良いと思います。 特にカーブをつけた十字部分がプラスチックになっており、丸ひごを差し込むだけで骨格が出来上がり。凧紙はビニールでカット済みで子どもたちにも簡単にできるもの。			
2. 遊び方			
1) (風のある日が前提)・個人で遊ぶ、連凧として遊ぶ。			
2) 早く揚げられたチーム。			
3) 10枚の連凧を揚げてみる(何枚まで揚げられるか?)。			
◆工夫したところ			
・ 丸ひごを予定したが十字部分の作成が難しいので平ひごを利用。			
・ 横骨を曲げるところ(曲げながら縛る)			
・ ひごにキリを使うところ。(竹ひごが割れやすいが、接着剤で止めれば、影響は少ない)			
* 注意点 校庭の広さを考えタコ糸の長さを調整する。 近隣の障害物を事前に確認。			
◆児童等の感想			
・ 自分の凧が揚がってうれしい。			
・ もうすこしきれいな絵にすれば良かった。			
・ 蛇のようだね、龍だよ。			
・ もっと遠くにまで飛ばしたいな。			
教室名	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室		

(夕巾型連凧)

別紙

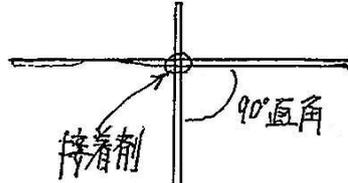
作り方

1.

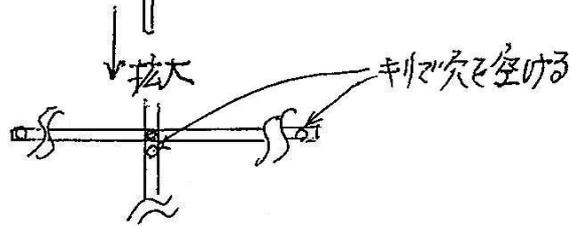


平竹ヒコ (2本)
(0.2cm x 0.4cm x 32cm)

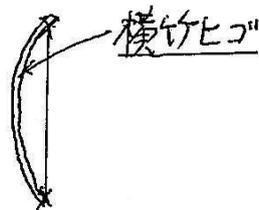
2.



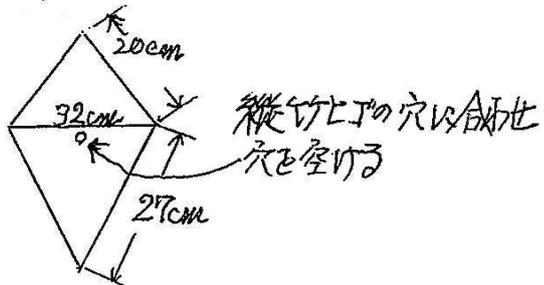
3.



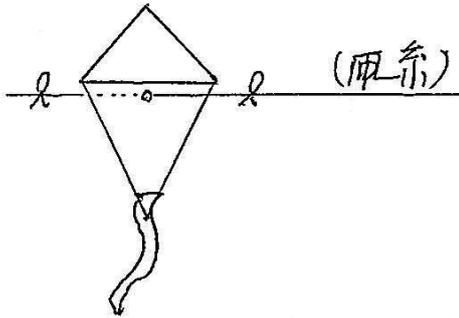
4.



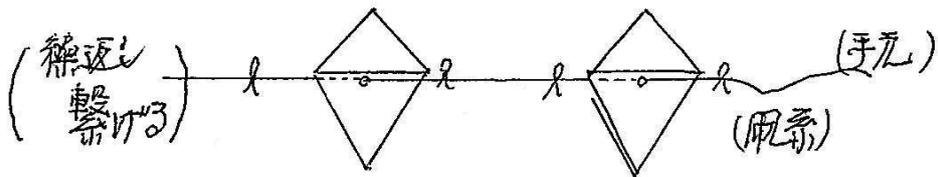
5.



6.



7.



		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	20分～30分
名称	竹の水鉄砲	所要人数	何人でも(1グループ10人以下)
活動場所	作業のできる室内及び校庭などの屋外		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でできる。 ・ 学年に関係なく遊べる。 ・ 昔遊び体験ができる。 		
準備するもの	竹(本体と押し出し棒)・スポンジ・布・両面テープ・輪ゴム・タコ糸・錐・家庭用プール・バケツ (竹は竹細工店などで購入も可@140程度)		

◆内容(作り方・遊び方)

- ① 竹の押し出し棒の方に幅3センチ程度に切ったスポンジを2回ほど巻く。
このときスポンジの裏に両面テープを貼っておくと楽である。
- ② この上から布を巻きタコ糸もしくは輪ゴムでしっかりと縛る。
- ③ 本体の竹の節の部分に錐を使って穴をあける。
- ④ ③の竹に②で作った棒を差し込み、思いっきり引きぬく。
このときスポンジと響くいい音がすれば合格。音が鈍い、またはゆるくて音がしない場合は布を解きさらにスポンジを巻いて、太さを調整する。
- ⑤ 出来上がった子は水遊び開始！
遊び方は、貯めておいた水は吸い上げて使うことを教えること。
上から水を入れてしまって錐で開けた穴から出てしまうことがあるので。
- ⑥ 途中でスポンジがとれてしまうことがあるので、その場合も①②を再度行います。
- ⑦ ペットボトルに点数などを貼りつけた的を作り、競争をするのも楽しいですよ。



◆注意点

- ・ 確実に洋服が濡れます。事前に保護者の方にはお手紙などでお知らせを出しておいた方がいいと思われる。
- ・ 学校側にも校庭で水を使うことを伝えておきましょう。



◆児童の感想

- ・ 竹で水鉄砲が作れるとは知らなかったのでびっくりした。皆に自慢する。
- ・ 錐を初めて使った。先がとがっているので緊張したけど、楽しかった。来年もやりたい。

◆スタッフの感想

- ・ 保護者から洋服が濡れるとクレームが来るかと心配したが、楽しく遊ぶ子供たちを見ていたらやってよかったと思った。
- ・ 手先が器用な子が少なくなったような気がする。

教室名	蕨市立中央東小学校区放課後子ども教室
-----	--------------------

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	竹の水鉄砲づくり	所要人数	特になし
活動場所等	室内、外		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの遊びを教えることができます。 ・学年(年齢)に関係なく楽しめます。 		
準備する物	先端が細く先に節がある太い竹(筒)、両端に節がある細い竹(柄)きり等の穴を開けられるもの、楊枝、輪ゴム、布、小さいビニール、空のペットボトル		

◆内容(作り方、遊び方等)

(作り方)

- ① 柄となる細い竹の先端(節より手前)に、きりで小さな穴を2箇所開け、貫通させる。
- ② ①で開けた2つの穴に楊枝を通し、穴から少し飛び出る程度の長さに楊枝をカットする。
- ③ ②の楊枝に布(スポンジでも代用可)を引っ掛けるようにきつく巻き、外筒の竹の太さに合うよう調整する。
- ④ 布を輪ゴムで簡単に留め、ビニールを被せたら、ビニールの口を輪ゴムできつく留める。
- ⑤ 外筒の節に水の放出口となる穴を開けたら完成。

(遊び方)

- ① 適量の水をいれたペットボトルを的にする。
- ② ペットボトルの水の量を増やすことで難易度を上げていく。
- ③ 的倒しが終わったら、みんなで打ち合いをする。

◆工夫したところ

- 布の上にビニールを被せることで、簡単に布を留め、筒の中の滑りをよくしました。
- 初めて竹の水鉄砲で遊ぶ子どもには、狙い通りに水を出すのが難しいようなので、簡単な的から難しい的までを用意した。そこから、徐々にコツを掴んでもらい、思うように水を飛ばして遊べるようにしました。
- 洗濯ばさみと糸を用いて、的をぶら下げることもできます。
- 大人が的になることで、子どもたちは夢中になって遊んでいました。

使用した竹と楊枝と布



先端に穴を開けた柄になる竹



布を巻いた柄になる竹



ビニールを被せる

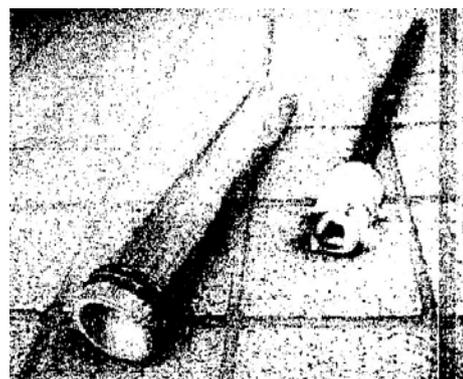


外筒の節に穴を開ける



教室名 上里町放課後子ども教室「のびっ子教室」

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	水鉄砲	所要人数	12名
活動場所等	空き教室(図工室)		
おすすめポイント	夏の遊び		
準備する物	竹2種(真竹、シノ竹)、ノコギリ、きり、小刀、ハサミ、ウレタンスポンジ、布きれ、紙ヤスリ、タコ糸、マスキングテープ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>竹の用意:限られた時間内での製作の為、予め地域内の協力者をお願いをし用意しておく。 竹の製材:真竹 直径5cm~6cm、長さ25cm~30cm シノ竹 直径1.5cm~1.8cm、長さ30cm~35cm</p> <p>水鉄砲の作成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 竹の切断面を紙ヤスリで整える。 2 シノ竹にウレタンスポンジ、次に布を巻く。つなぎにマスキングテープ使用。 3 タコ糸で布の上より強く巻き結ぶ。 4 真竹の先端の節の中心にキリで穴を開ける。 (3ミリぐらいが丁度良い。) <p>遊び方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 4人1組になり、バケツに水を用意。 2 柵の上に空き缶を並べ打ち落とす。 			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 限られた時間(60分)のため、竹の切り出し、寸法切り等は前もって準備。 ○ ノコギリ、キリ等の扱いは応援団にしてもらう。 ○ シノ竹にスポンジ、布まきは子供たちには難しく応援団にお願い。 なお、タコ糸まきではピストン動作中、抜けてしまい針金で補修する。 			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 紙ヤスリ掛けは簡単だったけど、スポンジ、布まき、糸巻きは難しくできなかった。 ○ 暑い日だったので、水のかけあいが楽しかった。 			
教室名	久喜市放課後子ども教室「おばやしゆうゆうプラザ」		



		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	90分
名称	割り箸鉄砲を作ろう	所要人数	20人～30人
活動場所等	図書室		
おすすめポイント	割り箸と輪ゴムだけで楽しい遊具が作れます。		
準備する物	割り箸、輪ゴム、画用紙(的)、はさみ		

◆内容(作り方、遊び方等)

割り箸鉄砲作り

① 割り箸を必要な大きさに切る。

長いままの割り箸 3本

2/3に切った割り箸 2本

1/3の割り箸 1本

② 長い割り箸1本の先に切り込みを入れて、真ん中にはさみ輪ゴムで止める。

③ 真ん中の割り箸を引き伸ばす。

④ 2/3の割り箸を持ち手に組んで輪ゴムで止める。

⑤ ゴムをかける部品をつける。(1/3のもの)

⑥ できあがり。



①



②



③



④



⑤



⑥

的あてゲーム

① 画用紙に得点を書いて並べる。

② 学年ごとに立ち位置を決め、当てっこをする。

③ 倒したカードの合計点で順位を競う。



<参考> 的づくり

(東松山市放課後子ども教室の取組)



- ・好きな絵を描かせ、中心辺りに○を書き、得点を書かせる。(1～10点まで、5点、10点おきも可)
- ・幅、長さは、適当に変えても可。

◆工夫したところ

① 真ん中のつきだした割り箸の先に切り込みを入れ、輪ゴムが掛かりやすくした。

② 3連発や5連発もできる方法を伝え興味を高めた。

◆児童等の感想

① 的に当たるとよい音がして、楽しかった。

② 輪ゴムを巻くのがむずかしかった。

教室名 横瀬町放課後子ども教室

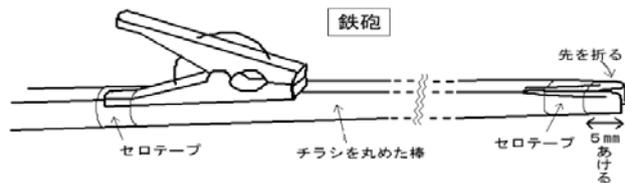
分類	ものづくり	所要時間	45分
名称	洗濯ばさみ鉄砲	所要人数	何人でも可
活動場所等	教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作りやすい。 ・ 子どもたちに人気 		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 折り込み広告(B4程度、2枚)…あまり軟らかいものはダメ ・ 洗濯ばさみ(2個)…先端が丸くないもの ・ 画用紙(5cm×6cm、1枚)、輪ゴム、ティッシュ、セロテープ ・ 油性ペン(各色)、はさみ 		

◆内容(作り方、遊び方等)

◆ 作り方

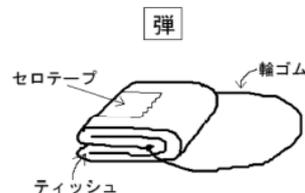
[鉄砲を作る]

- ① 折り込み広告を、角から斜めに巻いて、棒を作る。細く巻くように注意し、固めの棒にする。
- ② 片方の先端を3cmくらい折り曲げ、セロテープでとめる。同じものをもう1本作る。
- ③ 2本の棒を、折り曲げた側を内側にして重ね、セロテープでとめる。その際、先端より5mmくらい下げた位置にセロテープを巻く。(輪ゴムを引っかけるすき間を作るため)その他の位置2～3カ所にもセロテープを巻き、2本を一体化にする。
- ④ 先端から20cmぐらいのところを、洗濯ばさみの金の輪をはさむようにして、セロテープでとめる。この位置は、輪ゴムの伸び具合によって調節する。



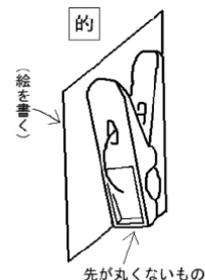
[弾を作る]

- ⑤ ティッシュペーパーを広げた状態から、縦3つ折りにし、さらに2つ折りする。次に横に4つ折りにする。
- ⑥ ティッシュの真ん中に輪ゴムを掛けてさらに2つ折りにし、セロテープでとめる。



[的を作る]

- ⑦ 画用紙の6cmがたてになるようにして、的になるための好きな絵を描く。
- ⑧ セロテープを丸めたもの(両面テープ状態)を作り、洗濯ばさみの回転の中心部分に貼り、その上に絵を描いた画用紙を押しつけて貼り付ける。その際、洗濯ばさみの先端が下になるようにし、画用紙の底辺と洗濯ばさみの先端が同じ位置にくるように貼る。(両方を机の上に立てて、スライドさせながら合体させるとうまくいく)



◆ 遊び方

- ① 鉄砲の洗濯ばさみに、ティッシュペーパーをはさむ。
- ② 輪ゴムを伸ばし、先端の2本の棒の間に引っかける。
- ③ 適当な距離に置いた「的」にねらいをつけて、洗濯ばさみを開くと、ティッシュの弾が飛んでいく。

出典: ホームページ「手作りおもちゃ～100円で作ろう」より

<http://www.aioi-care.net/6/28/000037.php>



◆ 児童等の感想

- 固めの棒を作るのは難しかったが、的に当たるのは楽しかった。
- 弾がティッシュペーパーなので安心して遊べた。

教室名 北本市放課後子ども教室

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	120分
名称	竹を伐って竹ポックリを作ろう	所要人数	20人～40人 1グループ5～6人
活動場所等	竹林等		
おすすめポイント	①実際に竹林の竹を伐り倒すダイナミックな体験が出来る ②結構太い竹を切るの達成感が味わえる ③少なくとも1人が3回以上切るので鋸の使い方を十分に体験できる ④共同作業が多くコミュニケーションが図れる。		
準備する物	竹伐りノコギリ、ビニール撚り紐(4mm) 3.5m/人 ワイヤレス電動ドリル&木工錐6mm1台		

◆内容(作り方、遊び方等)

1. 竹の伐り出し

- 1) ポックリを作れそうな太さの竹を選ぶ。
- 2) 切った時に倒れる方向(竹の上の方が曲がっている方向)を確認する。
- 3) 倒れる方向の根元を水平に直径の1/3くらい切り込む(受け口)。
- 4) 反対側の、受け口の上2cmくらいを水平に切り込み(追い口)
竹が倒れる様子確かめながら鋸をゆっくり引いていく。
- 5) 竹が倒れ始めたら切るのを止めて鋸を竹から引きぬいて離れる。
- 6) 倒れた竹の枝払いをして竹林から運び出す。



2. ポックリ作り

- 1) 竹の節から2cmくらいの位置にしるしを付けて切り落とす。
- 2) 最初に切り落とした切り口から10cmの位置にしるしを付けて切り落とす。
- 3) 1)、2)をもう一度くりかえし2つのポックリを伐り出す。
- 4) 穴を開ける4か所の位置に鋸でしるしを付ける。
- 5) 穴を開け、紐を通す。
- 6) 穴に通した紐を持ってポックリに乗り、持ち易い位置を確かめ紐の長さを調整してしっかり結ぶ。
- 7) ポックリの側面に名前を書いたり、絵や模様を描いたりしてマイポックリが完成
- 8) ポックリに乗って歩いてみる。



◆工夫したところ

- 1) 2つのポックリを伐り出す時に、鋸の切り込む方向が竹の軸方向に直角になるように鋸を慎重に伐り込むところ。曲がって伐り込むと修正が出来ない。
- 2) 鋸を使う時に、少し下に押しつけるようにして、ゆっくり出来るだけ長い距離を引くようにすると無駄な力を使わなくて、よく切れることを経験してもらおう。



◆児童等の感想

- 1) 竹を切り倒すのがどきどきした。
- 2) 竹を運ぶ時すごく重くて大変だった。
- 3) ポックリを切るとき腕が疲れて大変だった、途中大人の人に手伝ってもらった。
- 4) 最初うまく乗れなかったけど、練習して乗れるようになってうれしかった。

教室名 新座市 新座っ子ばわーあっぷくらぶ「森の子クラブ」

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	30分～40分
名称	手づくりジグソーパズル	所要人数	10人～20人
活動場所等	教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市販していないオリジナルのパズルなので飽きがこない。 ・ メインの活動が予定より早く終わってしまった時などにも楽しめる。 		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使い終わったカレンダーの絵・広告チラシ・写真等。 ・ はさみ・のり・厚紙・鉛筆・名前ペン・パーツを入れる袋。 		
◆内容(作り方、遊び方等)			
◆ 作り方			
<ol style="list-style-type: none"> ① 自分の家にあるカレンダーの絵・新聞広告チラシ(量販店・車・家等)・写真(花・風景等)を持ち寄る。 (大きさはB5～A3) ② 持ってきた物が薄い紙の場合は、裏側全体に厚紙を貼る。 ③ 厚紙の方(裏側)に鉛筆(名前ペン)で線(直線や曲線)を引きパーツを作る。 ④ 作ったパーツ全部に同じ番号を書かせる。(この時は何番を書くか事前に知らせておき、ダブらないようにする。) ⑤ 線の上を丁寧に切り取り、パーツと同じ番号を書いた袋の中に入れて保存する。 			
◆ 遊び方			
<ol style="list-style-type: none"> ① 個人または、グループ(2～4人)をつくり、机の上で行なう。 ② 友だちが作ったパズルと交換してやるのも楽しい。 ③ 完成した順に名前を記録しておき、全員が終了後にがんばり賞(しおり等)与えると夢中でやり盛り上がる。 ④ 宿題等のメインの活動が早く終わってしまった時など、やらせておくと他の児童の迷惑にならない。 			
カレンダーの絵		がんばり賞のしおり	
◆工夫したところ			
<ol style="list-style-type: none"> ① 家から持ってきた新聞広告のチラシ等薄くて破け易い物は、鉛筆でパーツを作る段階で厚紙(工作用紙等)に貼ると遊ぶとききれいにできる。 ② 遊ぶ学年にもよるが小学校低学年の場合は、パーツの数を多くしないほうがよい。 (時間がかかって途中で投げ出してしまう。) ③ 作った作品のパーツの裏側に①～等それぞれに番号を付けておくと床に落ちた時や友だちのと混ざってしまった時などすぐに見つかる。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 最初に何ができるのか知らされてなかったので完成するまで楽しみだった。 ○ 自分たちで作ったものなので完成するまで夢中でできた。 			
教室名	北本市放課後子ども教室		

分類	ものづくり	所要時間	20分
名称	牛乳パックのへび	所要人数	1人
活動場所等	教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単にできます。 ・ 飛ぶ姿を見ると大変喜びます。 		
準備する物	1リットルの牛乳パック1個、はさみ、マジック、輪ゴム、セロテープ、折り紙、のり		

◆内容(作り方・遊び方等)

- ① 牛乳パックに4等分になるよう印をつける。
- ② 牛乳パックの底と上の部分を切り落とす。
- ③ 線を付けたところをはさみで切り、4つに分ける。
- ④ 切ったものを折りたたみ、上下に5mmほどの切り込みを入れる。
- ⑤ 切り込みに輪ゴムをかける。
- ⑥ 切り込んでいないところをセロテープで止める。(表と裏)
- ⑦ 一番はじめのところに目や舌をつける。



これで完成。



◆作るときの注意点

- ① 切り込みはあまり深くしすぎないようにする。
- ② つなぐセロテープは裏表しっかり貼る。

◆遊び方

- ① 輪ゴムがのびるように折りたたむ。
- ② 手を離すと飛び上がる。



◆応用

- ① 切った部分をつなげないで、箱などに入れ、びっくり箱にして遊ぶ。
- ② 牛乳パックをもっとたくさんつなげ、長いへびをつくる。

◆工夫したところ

- ① 1Lの牛乳パックではなく、学校給食の牛乳パック200mlでもつくる事が出来た。
- ② へびを完成した子には、びっくり箱をつくるようにした。
開けたとたんにたくさんの箱が飛び出し楽しそうに遊んでいた。

◆児童等の感想

- ① 牛乳パックをきれいに切るのが大変だったけど、飛び上がったときはうれしかった。
- ② びっくり箱も作ることができてよかった。

教室名	小鹿野町立両神小学校いきいき教室		
-----	------------------	--	--

分類	ものづくり	所要時間	40分～60分
名称	カラフル変形コマ	所要人数	1人単位で20人程度
活動場所等	教室・図工室 等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色画用紙の切れ端で作れる。 ・ いろいろな形に変形することができる。 ・ 回っている姿がきれい。 		
準備する物	・色ちがいの色画用紙6～8枚 ・カッター ・はさみ ・木工用ボンド ・楊枝		

◆内容(作り方、遊び方等)

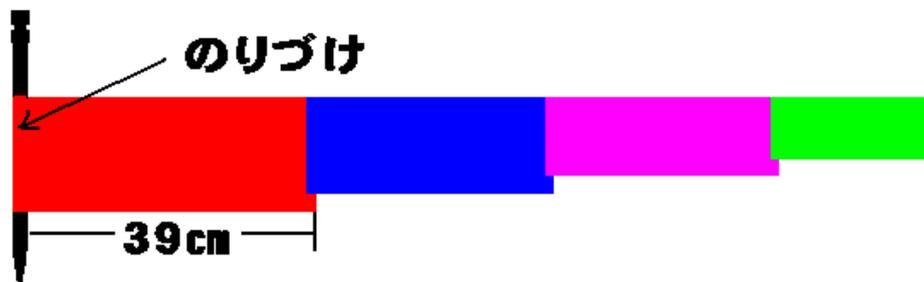
1 準備

- ・ 2.5mmずつ幅の狭い色違いの画用紙を用意し、段をつけながらつなげていく。
(※ 例・・2.5mm 2.25mm 2.0mm 1.75mm 1.5mm 1.25mm 1.0mm 0.75mm 0.5mm)
- ・ のりしろは3ミリ程度で、真っ直ぐになるようにつなげていく。
(対象学年によっては、ここまでは事前に準備しておく必要がある。)
- ・ 長さ約39cm(色画用紙の横幅)の用紙を8枚つなげると、直径2.5cmのコマができる。



2 作り方

- ① 楊枝の上下を間違えないようにして、色画用紙の幅の広い方から巻き付けていく。ボンドは始めと終わりの2カ所だけに付ける。
- ② なるべく色画用紙をギッシリと強く巻いていく。この作業がいい加減になってしまうと、出来上がったコマの中心がとれなく、回りにくくなったり、コマがほどけやすくなってしまう。
- ③ カッターで軸の下になる部分を適当な長さに切る。



3 遊び方

- ① 回し方の練習をする。
- ② 友だちと“コマ回し競争”をして遊ぶ。
- ③ コマを変形させて、回り方の違いや色具合を楽しむ。



↑ 1つのコマがこのように変身します

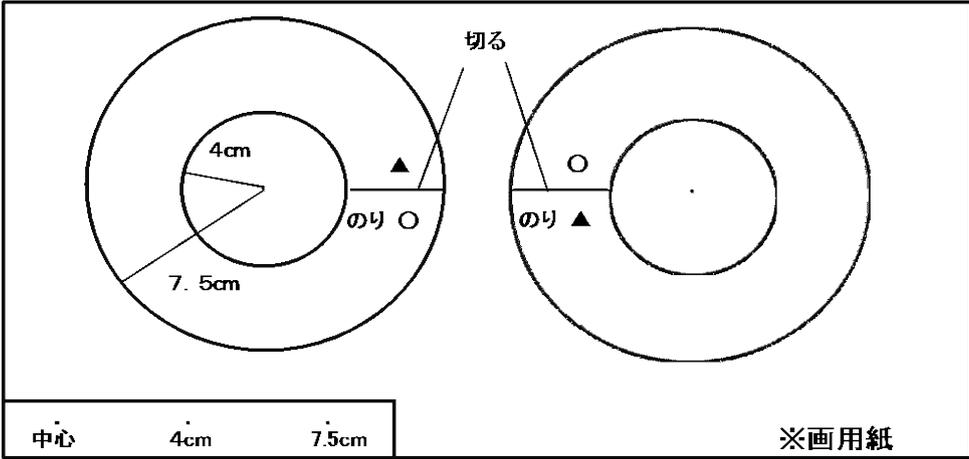
◆工夫したところ

- 学校では、色画用紙の切れ端がたくさんあり、それらを材料として再利用できる。
- 1つのコマが、いろいろな形に変身し、回り方がきれいなので心が観ていて癒される。

◆児童等の感想

巻き方が、難しかったけれど、きれいに回るコマが作れてうれしかった。

教室名	小鹿野町立長若小学校子どもいきいき教室
-----	---------------------

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	30分
名称	8の字かざぐるま	所要人数	20人
活動場所等	教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でできあがる。 ・ 円を書く勉強になる。 		
準備する物	画用紙、鉛筆、はさみ、定規、コンパス、のり、ようじ、ストロー		
◆内容(作り方、遊び方等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画用紙に半径7.5cm、半径4cmのドーナツ型の円を二つ書き、はさみで切る。 <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 円に切り込みを入れてのり ○、のり ▲に合わせてはり合わせる。 ・ のりしろ部分4枚を同時につまようじでとめる。 ・ つまようじをストローにさし、完成。 		
◆工夫したところ	コンパスを画用紙で作成した。		
教室名	深谷市 明戸小がんばル〜ム		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	10分
名称	釣堀	所要人数	1人～
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	短時間でどこでも学年に関係なく楽しめる。		
準備する物	折り紙・ストロー・画用紙半分(青)・キッチンペーパー		
◆内容(作り方、遊び方等)	<ol style="list-style-type: none"> ① 画用紙半分の左右上下を1cm立てて水槽とする。 ② 折り紙を8等分に切る。 ③ その後部に切り込みを入れて重ね合わせて魚とする。 ④ 魚を水槽に入れる。 ⑤ キッチンペーパーにストローをこすり付けて、静電気を起こして魚を釣り上げよう。 		
◆工夫したところ	静電気を起こすこと。		
◆児童等の感想	楽しかった。(低学年に好評)		
教室名	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	45分
名称	紙皿づくりと皿回し大会	所要人数	40～50人程度(1グループ5～6人)
活動場所等	多目的教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙皿づくりは短時間で出来ます。 ・ 紙皿大会は、個人・グループでも楽しめます。 		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙皿(2枚)・紙コップ(1個)・ボンド・ホッチキス・割り箸・はさみ・装飾用品(マジック、カラーテープ、色紙など) 		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p><紙皿作成></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 紙皿2枚を重ね、ホッチキスで周り6か所程度を留める。 ② 紙コップの底の部分5ミリくらいを切り、紙皿の中央にボンドで接着する(よく貼り付くまで待つ)。(安定するように、皿の裏側ではなく、表面に貼り、皿をひっくり返した状態で皿を回せるようにする) ③ 個々で好きな材料を使って、装飾をする。 <p>※ 紙皿づくりは、15分くらいで出来上がります。接着だけでできれば、問題ありません。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(準備するもの)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(①～②)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(③ 装飾)</p> </div> </div>			
<p><遊び方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 割り箸1本を紙皿中央の窪みに当てて、落とさないように、紙皿を回す。 ・ 皿や皿の飾りが自身や周りの児童に当たらないように、皿を回す際は、周りの人との距離をとり、注意する。 ・ 皿回し大会を行う場合 <ol style="list-style-type: none"> ① グループを5～6名で編成し、その中で誰が長く回せるかを競い合う。 ② 各チームの皿回し博士が代表として、他のチームと競い合い、皿回しの王様を決定する。 <p>※ その他、一人ひとりに「アイデア賞」「ステキで賞」「よく回るで賞」等を出すと、大会が盛り上がります。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙皿づくりをする時は、紙コップの底を5ミリ分切りとり、ボンドで接着する作業はスタッフが事前に準備しておくことで時間短縮になります(瞬間接着剤を使うと2～3分で接着しますが、指がくっついてしまう恐れがあるので、スタッフの手伝いが必要です)。 ・ 個々の紙皿回しの練習時間を取り、その間に他学年での教え合いが始まり、皿回しを楽しんだ。 ・ 皿回し大会は、グループ内でも、全体でも、やり方次第で楽しめます。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙皿づくりは、紙コップの底をボンドで接着する作業は大変だったけど、飾りがついたらステキな皿になり、良かった。その後皿回しの練習をしたが、なかなか上手くできなかつたけど、1回できるとスイスイできて楽しくなった。 ・ 皿回し大会は、グループでも6人で自分の紙皿を見せ合いながら回し、賞もあったので、うんと楽しかった。 			
教室名	さいたま市 向小チャレンジスクール「ひまわりっ子わくわく教室」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	5分以上(何分でも可能)
名称	ゆびあみ	所要人数	1人以上
活動場所等	図書館・空き教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女とも楽しくできること。 ・ 目に見えて完成する楽しさがあること。 		
準備する物	毛糸		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<ol style="list-style-type: none"> ① 毛糸の先端に輪を作り、親指に掛けておく。 ② 人指し指の前から、次の指の後、そして前、後と小指を回り、人指し指まで戻り、その糸を手の平の上に置き、人指し指から下の糸を指にかける。 ③ 小指で折り返し、手の平の上に糸を置き、小指から下の糸をかける。 ④ 終わりは先端の糸を指にかかっている輪に通し、指をはずし両端を引っ張って、出来上がり。 <p>※ 長さにより、マフラー・ヘアバンド・シュシュ等が作れる。</p>			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後に大きなものができるのが楽しい。 ・ 作っていると夢中になる。 ・ 何ができるのかワクワクする。 			
教室名	富士見市地域子ども教室「ふじみ野遊びーズ」		

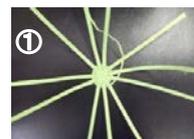
		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	エコバッグ作り	所要人数	~40人
活動場所等	教室等		
おすすめポイント	通学に使えるA4サイズのオリジナルバッグ作り。愛着のあるバッグが作れます。		
準備する物	無地のエコバッグ・布書き用クレヨン・布書き用ペン インクジェットアイロンプリントペーパー・アイロン		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>■準備■</p> <p>アイロンプリントを使用する場合は、あらかじめインクジェットプリンターでイラストを印刷しておく。</p> <p>■作り方■</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 無地のバッグに好きな絵や文字を書く。 ② アイロンプリントを使用する場合は、好きな場所に仮置きする。 ③ 布書きクレヨン・アイロンペーパーの部分をアイロンで定着させる。 			
◆工夫したところ			
<ol style="list-style-type: none"> ① 布書き用クレヨン・ペンを使用することで、洗濯もでき、長く愛用できます。 ② 絵をかくのが苦手な子には、アイロンプリントをワンポイントに使用し、そこからイメージを広げていく。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界にひとつだけの、自分だけのバッグが出来上がった！！いろいろな色を使って、好きな絵を書けて楽しかった。 ・ 友達と同じ絵を書いて、お揃いのバッグを作った。音楽の教科書を入れて使いたいと思います。 			
教室名	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		



		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	50分
名称	新聞でエコバックを作ろう	所要人数	何人でも可
活動場所等	教室		
おすすめポイント	手さげバックとして実用的で多目的に使えるバックです。強度もあるので収納にも使えます。新聞の柄を使う事でおしゃれなバックになります。		
準備する物	新聞紙1枚と半分、のり、はさみ、折り紙、ガムテープ(他リボンなど)		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>☆ 持ち手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚分をはんぶんにしたものを縦半分に切り、切った2枚合わせてある方から3回折りながら、細長い持ち手を2本作る。最後にのりを付けて貼る。 ※ 初めに縦に3回折り、折スジを付けておくとらく。  <p>☆ 本体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞を開き、日付の部分の余白を手前に折る。 ・ 手前に折った部分のをりで貼る。 ・ 細長くなった新聞紙を3つ折りにして、1/3の部分を重なった分だけ片側の袋状の中にする。 ・ 重なった部分が抜けないようにのりで貼る。 ・ 筒状になった新聞紙の底から5cm位折り上げる。 ・ 折り上げた部分を開きながら、両端を三角につぶしながら折る。 ・ 袋が抜けないうま折合わせる。  <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体と持ち手を付ける(内側に)。 ・ 手さげの表側に折り紙、又はリボンで作った物を貼り、飾りにする。 <p>☆ 注意するところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のり付けするときは、新聞の端まで指できちんとのりを伸ばして付けると、仕上がりがキレイです。 ・ 時間が少ない時は、持ち手のみ事前に作っておくとよい。 ・ 季節により乾きにくそうなときは、持ち手は内側をガムテープで貼る。 <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地味になりがちなので、新聞の柄をうまく取り入れたり、折り紙の作品などを貼りつける。 ・ 飾りとして、ポケットを付けた。 ・ 底の内側は、ガムテープで補強すると、重い物も入れることができる。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞を使って作ったから、お母さんが喜んでくれた。 ・ 新聞でおしゃれなバックができて良かった。 ・ 新聞のカラー広告をうまく使うときれい。柄をうまく出すのが難しかった。 			
教室名	東松山市放課後子ども教室「パステルKids」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	新聞紙で作る手さげバッグ	所要人数	30～40人(1グループ4人程度)
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家にある新聞紙が ビックリ大変身!! 家族で楽しめます。 ・ 失敗しても何回でもチャレンジできます。 		
準備する物	新聞紙、ボンド、はさみ、ものさし		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>新聞紙で作る手さげバッグの作り方</p> <p><バッグの本体をつくります></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 新聞紙(見開き)を広げて上の部分を3cm位折ります。(のりしろ) ② 新聞紙の下の部分を持ち上げてのりしろに貼ります(タテ25cm、ヨコ80cmの輪状になります)。 ③ 輪状を平らにして右側を20cm折り、左側を右の20cmの中いっばいに差し込みます(約30cmの筒状になります) <p><底の部分をつくります></p> <ol style="list-style-type: none"> ④ 筒状になったものを平らにして、下の部分を10cm折り上げます。 ⑤ 折ったところを戻して(立てて)開き、両側を内側へ三角に折ります(変形の6角形になります)。 ⑥ 6角形の下を7cm、上から7cm折り重ね、のりで貼ります(底の部分なのでしっかり貼ります)。 <p><持ち手をつくります></p> <ol style="list-style-type: none"> ⑦ 新聞紙を4分の1の大きさに切ります。(2枚) ⑧ さい箸のようなものを使って対角線上に巻き込みます。 ⑨ 半分に折って20cmの長さにそろえます。(2本つくります) ⑩ 袋の内側に持ち手を貼ります。 ⑪ 貼った持ち手の上から、補強のあて紙を貼ります(両側、タテ10cm、ヨコ20cm)。 ⑫ バッグを広げ、まちの部分など修正を加えます。 → 完成です。 <p>* 気に入ったデザインや模様の包装紙などを切って貼ると、より楽しめます。</p>			
			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きなデザインや色模様の新聞があったらとっておきましょう。 ・ 低学年の児童には、はさみが危険なのであらかじめ切ったものを用意しておきました。 ・ ちょっとした工夫でいろいろなものができます (チラシを巻いたり織ったりして小物づくり。トイレトペーパーの芯とチラシでつくる筆立て)。 			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しんぶんでバッグがつかれるとは思っていませんでした。こんどはおうちでつくりたいです。 ・ バッグはむずかしかったけれど役にたつと思うので、お母さんに教えてあげようかな?と思いました。 			
教室名	久喜市放課後子ども教室「栗くりゆうゆうプラザ」		

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	エコクラフトで編む『わこうっち』	所要人数	20名程度
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの学年でも作ることができる。(キットで調整がしやすい) ・ オリジナルのかごが出来る。(編み方で多少大きさがかわる) 		
準備する物	クラフト材料、フェルト、はさみ、ボンド、色鉛筆、洗濯ばさみ		
◆内容(作り方、遊び方等)			
I かごをつくる			
① クラフトテープの中心をボンドでとめセットしてあるものを、底面から順に編んでいく。			
② まるみをつけながら、テープの残り1mくらいまでカップ状に編む。			
③ 5本を残し、ほかの6本を 外、内、交互に折り、中へさしこみ始末する。			
④ 残した5本を、残した1mのテープで 中央に寄せながら、折り返して編む。			
⑤ 5本をボンドでとめ、余分なテープをカットする。			
II 顔(わこうっち)をつくる			
⑥ いちょう形に切っておいた黄色のフェルトを I のかごにボンドで貼る。			
⑦ 顔(白いクラフトで輪郭をつくってある)に、目、鼻、口となるクラフトをボンドで貼り、色鉛筆でほお紅を書く。			
⑧ ⑦を I のかごに貼る。			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> * 「わこうっち」は和光市イメージキャラクターであるため、目、鼻、など、あまりかけはなれたものにならないように、キットで用意した。 * もとの本数(底面)を奇数本にして1本のテープでかごの仕上がりまで編み続けられるようにした。 * 子どもたちが低学年だったり、開催時間が短いときは、作り方 II は、出来たものを配るように対応した。 * 色を変えることで、ハロウィン(オレンジ)、いぬ(茶色)など様々なかごを作ることができる。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> * かわいく出来た。 * 今度ははじめから作ってみたい。 * また作って兄弟にプレゼントする。 			
教室名	和光市放課後子ども教室		



		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	4回で1セット 1回約80分
名称	工作	所要人数	15名:対象全学年
活動場所等	図工室		
おすすめポイント	木工の基礎からはいり、出来るだけ個性ある作品作りを目指し、工作の楽しさを味わってもらうこと。		
準備する物	道具類(ノコギリ、ゲンノウ、カネジャク、ナイフ、ブルーガン)木工用ボンド、クギなどは、さくらっ子ゆうゆうプラザの備品を使用。材料費として300円徴収。端材などは、指導者負担。		
◆内容(作り方・遊び方等)			
1回目 9月10日(月)15時~16時20分 道具の使い方などの基礎講座			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平板(15mmX40mmX1000mm)に200mmごとにカネジャクを使って線を引き、ノコギリで5片に切る。この時、ノコギリの刃の立ち方の違い(たて引き・よこ引き)や、正しいひき方を教える。 ○ 200mm4片を組んで四角を作りクギを8本打つ。この時ゲンノウの頭は片方が平らでもう一方が丸味を持っていて使い方の違いや真上から頭の重みでたたくと曲がったりしないので打つことができる。 			
* 素直に聞いてくれる生徒ほど上達は速い。			
2回目 9月24日(月)15時~16時20分 レター差し			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 用意しておいたシナベニヤ200mmX400mmを400mmの方を300mmと100mmに切る。 ○ 角材(24mmX24mmX350mm)の350mmの方を100mmX2片と150mmに切る。 ○ シナベニヤの両上部分を30mmずつ切ってサンドペーパーで丸味を持たせ、写真のように木工用ボンドで貼りつける。フック用の穴は、事前に空けておく。ボンドが乾けば、裏面よりクギ(18mm)を6本打つ。 ○ 時間があれば、シールを張ったり、色鉛筆で絵を描きます。 			
* クギ打ちは小さいので指をたたいたり、ノコギリで指をひっかけてベソをかく生徒がいますが、バンソコウくらいの対応で、同じことを繰り返さないよう注意して続けています。			
3回目 10月15日(月)15時~16時20分 表札			
<ul style="list-style-type: none"> ○ シナベニヤ(200mmX200mm)に、角材(14mmX14mmX740mm)を185mmX4片に切り枠としてボンドで貼りつける。ボンドが乾けば、クギ(18mm)を8本打つ。 ○ 平板(14mmX40mmX約180mm)にデザインを施した名前を書き入れ好きな位置にボンドで貼付けます。 ○ 空いている空間に木で作った動物や貝殻やどんぐりなど自然の贈り物をブルーガンで貼付けます。 ○ 出来上がれば、ヒートン2個と麻紐か毛糸で壁掛けになるようにして完成です。 			
* 名入れや貼りつける材料と数で生徒の個性がよく現れます。			
4回目 10月22日(月)15時~16時20分 自由工作			
<ul style="list-style-type: none"> ○ シナベニヤ(200mmX300mm)の台に大きさまざまな端材を用意しておき、自分で切ったりサポーターに切ってもらったり、どんぐり類、松ぼっくり類、樺の実・殻、栃の実、コルク、貝殻なども使って作品を作ります。 ○ 自由な発想で作りますが、初めての生徒は取り掛かるまでに時間がかかりますので、早めのアドバイスが必要です。作品に名前をつけますが、「森の中の家」「自分だけの公園」「宇宙戦艦ヤマト」「ロケット」などそういうことを考えていたのかと、感心させられます。 			
* 今までの体験では、①人のまねをしがち、②何を作ればいいのかわからない、③めずらしい材料ばかりを集めるなど…時間の関係上、早めにサポーターのアドバイスが必要です。			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 木工の場合は、必ず道具の正しい使い方からはいります。基礎講座は、低学年の場合は、薄い板ですが高学年の場合は作品が大きくなるので材料に合わせて厚い板を用意します。 ◇ 高学年対象の椅子などに挑戦して、作品の出来栄え、仲間への配慮など素晴らしいと判断した場合、工作名人の称号を渡しています。(過去6年間で6名だけです。) ◇ サポーターは7名で、基礎講座や大きな作品の時には、多く集まっていたいただき心強いです。 			
◆児童等の感想			
最初むずかしかかったけど、がんばってできたので、うれしいです。大切に使っています。(2年女子)			
教室名	久喜市放課後子ども教室「さくらっ子ゆうゆうプラザ」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	スチロール工作	所要人数	特になし
活動場所等	室内		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工作を通して、ご当地キャラに愛着を持ってもらえます。 ・ 学年(年齢)に関係なく楽しむことができます。 		
準備する物	型紙、はさみ、のり、発泡スチロール、カッター、マジック、ボンド、木片等の台になるもの		

◆内容(作り方、遊び方等)

(作り方)

- ① 型紙を用意する。(手書きでもプリントしたものでOK)
- ② 型紙の余白を切り取る。
- ③ 型紙をスチロールの上に、貼り付ける。
- ④ 電熱線カッター等で型通りに切っていく。
- ⑤ 色塗りをする。
- ⑥ 木片等の台に乗せ、ボンドで貼り付ければ完成。

◆工夫したところ

- 子どもにも簡単にできるよう、電熱線カッターをボランティアの方に作製していただきました。
- 上里町のマスコットキャラクター「こむぎっち」に愛着をもってもらえるよう、印刷したものを使用して作りました。また、サンタクロースや干支等のデザインを使用し、その季節感にあったものを作りました。

電熱線カッターで、型紙を貼ったスチロールをカットする



色塗りをしたら完成



教室名 上里町放課後子ども教室「のびっ子教室」

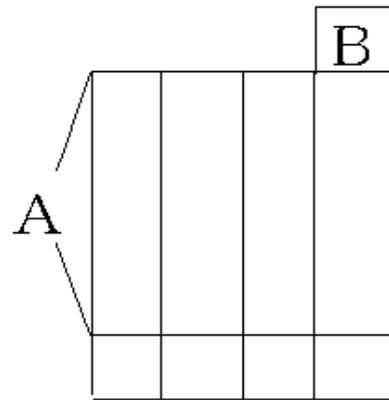
		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	90分(2日間で)
名称	壁掛け(オブジェ)	所要人数	20人(1グループ5人)
活動場所等	教室		
おすすめポイント	自然の物(木の実など)で、子どものアート感覚で飾り物が作れる。 リサイクルできる物(古切手など)で、飾り物ができる。		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> ベニヤ板、コルク栓、ヒモ、ボンド、色々な大きさや形の松ぼっくり、どんぐり、コーヒー豆、落ち葉 など 紙皿、ひも、ボンド、絵の具(黒)、古切手 		
◆内容(作り方、遊び方等)			
☆ 壁掛け1	<ul style="list-style-type: none"> ベニヤ板を茶色に塗装し、コルク栓を縦半分に切り、板の淵に沿って貼り付け、額を作る。額の角に2つ穴をあけ、ひもを通す。後でつるして壁掛けとなる。 上下の位置を確認し、松ぼっくりなどの素材を額の上に自由に並べ一つ一つボンドで貼りつける。 貼りつける素材の数や向き、並べ方等は、本人の自由、個々のセンスに任せる。 ボンドが乾き作品の素材が落ちないように、約1週間上向きにして置いておく。 壁に飾る。 		
☆ 壁掛け2	<ul style="list-style-type: none"> 紙皿を2枚重ねて(貼り合わせて)丈夫にして、黒い塗装を施す。 紙皿の端の方に2つ穴をあけ、ひもを通す(後でつるす) 使用済み切手を紙皿の上に自由に並べて、1枚ずつ貼る。 色、柄、大きさの違う切手を、それぞれ、向き、枚数、デザイン等、自由にボンドで貼っていく。 乾くまで上向きに置く、後で壁に飾る。 		
 			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ボンドの付け方によっては、素材がすぐ落ちてしまうので、ボンドは多めに使用する。 本人のセンスに任せる。 素材選びは、ある程度平等に行きわたるように配慮した。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> 自由に作れて楽しかった。 完成して飾付けができて、良かった。 			
教室名	東松山市放課後子ども教室「わくわくbluebird」		

分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	牛乳パックキュービック	所要人数	30人程度
活動場所等	空き教室(図工室)等		
おすすめポイント	小学校低学年でも楽しく作れる。費用がかからない。		
準備する物	牛乳パック、油性マジック、はさみ、セロテープ		

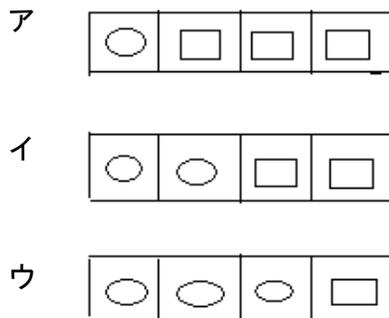
◆内容(作り方、遊び方等)

(キュービック作成)

- ① 牛乳パックを開く。
- ② Aの部分を横に3等分に切る。→6.5cm



- ③ パーツに絵を描く。



2種類の絵を図のように描く



【見本】

- ④ ア、イ、ウの順にテープでつなぐ。
※ イを真ん中にアとウを両はしにつける。



【つなげたところ】



【完成したキュービック】

◆工夫したところ

- ・ 牛乳パックは、事前に準備しておく。
- ・ 絵を間違った場所に描く子があるので、牛乳パックは余分に用意する。

◆児童等の感想

- ・ 2つの絵をパックにかくのが楽しかった。
- ・ 作ったあと、キュービックの絵をそろえるのがむずかしかった。
- ・ ともだちと交換して遊んで楽しかった。

教室名	行田市北小わくわくクラブ
-----	--------------

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	折込チラシでつくる蝶のかざり	所要人数	30～40人(1グループ4人程度)
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家にあるチラシ、包装紙が ビックリ大変身!! 家族で楽しめます。 ・ 失敗しても何回でもチャレンジできます。 		
準備する物	折込チラシ、ワイヤー入りビニールひも、枯れ枝、はさみ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>チラシでつくる蝶のかざりの作り方</p> <p>(上の羽、下の羽、角(触角)の3点をつくります。)</p> <p><上の羽をつくります></p> <ol style="list-style-type: none"> ① チラシを8cmの正方形に切ります。 ② 三角形に折ります。 ③ 広げて中心から上・下それぞれ5mm位のアコーディオン折りにします(10cm位の棒状になります。) <p><下の羽をつくります></p> <ol style="list-style-type: none"> ④ チラシを8cmの正方形に切ります。 ⑤ 正方形を四つ折りにします。(4分の1の大きさ) ⑥ 右上をカーブ(丸み)をつけて切ります。(切り方はあまりこだわりません) ⑦ 広げて中心から上下それぞれ5mm位のアコーディオン折りにします。(③よりも短くなるように) <p><角(触角)をつくります></p> <ol style="list-style-type: none"> ⑧ 細長い長形状に切ります。(幅5mm、長さ8cm位) ⑨ 指でこすって角らしさをだします。 <p><仕上げの作業です></p> <ol style="list-style-type: none"> ⑩ 一番上が角・次に上の羽・下の羽・の順に重ね、半分に折って紐で止め、さらにねじって止めます。 → 完成です。 			
			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きなデザインや色模様の包装紙があったらとっておきましょう。 ・ 低学年の児童には、はさみが危険なのであらかじめ切ったものを用意しておきました。 ・ ちょっとした工夫でいろいろなものができます (チラシを巻いたり織ったりして小物づくり。トイレトペーパーの芯とチラシでつくる筆立て)。 			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チラシで蝶のかざりがつくれて楽しかったです。 ・ 何回もやり直しができてよかったです。 			
教室名	久喜市放課後子ども教室「栗くりゆうゆうプラザ」		

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	120分
名称	世界で一匹オリジナル タオルで作る犬のぬいぐるみ人形	所要人数	何名でも可能、人数に応じて準備します。
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	学年(年齢)に関係なく楽しめます。		
準備する物	浴用タオル、フェルト又は布地、リボン、目玉シート、はさみ、ボンド		

◆内容(作り方、遊び方等)



① 端を左右から中心に合わせて折る。



② 合わせ目をテープで止めておくとずれません。



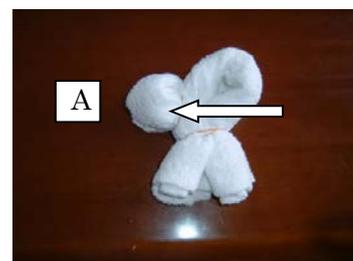
③ 左右から中心に向かって硬く巻いていきます。



④ 巻き終わったら巻いた側が外側になるよう半分に折ります。(写真は内側になっています。)



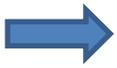
⑤ 下から3分の1ところを糸でしばります。輪ゴムで仮止めをしておくとやりやすいです。



⑥ Aの部分の約半分を前方につまみ出し、付け根を輪ゴムでしっかりしばります。



⑦ 形を整えたらフェルトで目、耳、鼻、口、リボン等を作りボンドで接着



完成

◆工夫したところ

- ・ タオルの厚さ、薄さがあるので、タオルに応じた巻き方を工夫してほしい。(粘着テープの利用は、うまくいかないときに利用してほしい。)
- ・ 薄いタオルの場合は三つ折りにして横に巻いてみる。

◆児童等の感想

可愛い犬のぬいぐるみ、もう一匹お母さんと作りたい。

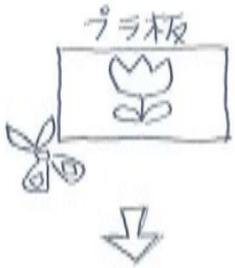
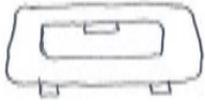
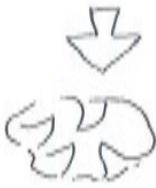
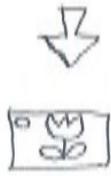
教室名	新座市 新座っ子ぱわーあつぶくらぶ「遊びのたからばこ」
-----	-----------------------------

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	90分×12回
名称	折り紙教室	所要人数	23年度は36名(1名でも可)
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	児童2～3人に対し、指導者が1人の割合で係られるので、細かい指導や児童の発想も大切にできる。折り紙で親子共通の話題ができる。		
準備する物	教育折り紙(15cm*15cm)、糊(ボンド)、はさみ、黒マジックペン、ボール箱(展示に使う、縦横30cm程、高さ7cm程) 作品を入れるファイルまたは箱		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>① 年間12回実施(年度当初、実施日等を知らせておく。)</p> <p>② 参加学年、人数:(1～6年生) 1年(男3・女8) 2年(男2・女5) 3年(男3・女6) 4年(男1・女4) 5年(男0・女2) 6年(男0・女2) 合計36名</p> <p>③ 各回ごとに折る作品名を設定(1回毎に2～3作品):難易度を考慮して。</p> <p>④ 作品の設定は行事、四季による風景の違い(足のある動物・花・魚・鳥・昆虫他)を考慮してきめていく。</p> <p>⑤ 年間の作品名(23年度) 1回①チューリップ②花立て台③富士山と山々 7回さるの親子・かに 2回ことり・家と教会・背の高い木・古い木 8回お月見うさぎ・クリスマスツリーの葉・幹 3回モーターボート・子ども・白鳥 9回ツリーの飾り・①ハート②キャンドル③靴下④サンタ 4回やっこさん・風ぐるま・だまし舟・紙ふうせん 10回プレゼントサンタさん 5回いぬの親子・しゅりけん 11回トナカイ・ソリ 6回ピョンピョンがえる・おたまじゃくし・魚 12回飾り付けの準備・不足の物を折り足す。</p> <p>⑥ 座机に2人程、ほぼ学年単位になるが自由な座席である。</p> <p>⑦ チューリップや花立て台の時に基本の折り方の1つ(山折り、谷折り)を折り図を見ながらゆっくり折る。</p> <p>⑧ ピョンピョンがえるは跳ぶ距離で競うので、作成後の児童の工夫や反省が見られて面白い。</p> <p>⑨ 年間30種類程の作品の中からいくつかを使って自分の好きな風景を表現していく。</p> <p>⑩ 表現方法は飛ぶもの、木に登るもの、浮かぶものもあるが、またボール箱(大地)の上に立体的に倒れないよう工夫することも大切だと三角の支柱(点)の作り方も教えている。</p> <p>⑪ 年1回奈良文化展(2月末)に1人1作品展示することをめやすに各自でつくりあげた作品の中から好きな風景を思い描き完成させていく。</p> <p>⑫ 奈良文化展後奈良小学校の廊下に2週間程度展示し全校児童の目に触れることも大変嬉しいようである。</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 何年も折り紙教室に入っている児童も5～6名はいるので学習済みの場合もあるが、各自折り紙の色、大きさ、ひと折の変化、また解らない所を優しく教えられる立場であってほしい旨注意深く指導している。 ◆ 急がば廻れ、いくつかの基本折り、ベース折り等はできるだけ個人指導する。 ◆ 三角柱(錐)などは倒れにくいことを活用して作品が立てられることもサンプルを配って実験する。 <p>◆児童等の感想</p> <p>感想を聞く時間がなかったので感じたことのおもなことを列記する。</p> <p>① 自分で折った作品が一番だという出来上がった時の笑顔が何ともいえない。</p> <p>② 折り紙の大好きな児童ばかり集まっているせいかみんな一生懸命。</p>			
教室名	熊谷市放課後子ども教室「奈良っ子ふれあいメイト」		



		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	折り紙教室	所要人数	20人程度
活動場所等	空き教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でできる。 ・ いろいろな形のものをつくることができる。 		
準備する物	はさみ、のり（費用:30円）		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導する方が、みんなが何を作りたいかを聞いて作るものを決める。 (初回は、指導者が作るものを決める) ↓ ○ 指導を受けながら、作品を完成させる。 <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 異年齢の子ども達が参加しているので、小さい子でも作れそうなものをセレクトした。 ○ 作品は文化祭等で展示できるようにした。(来年度以降の予定) <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 普段、折ることのないような物が折れてうれしかった。 ○ 折ったひこうきが遠くまで飛んでうれしかった。 			
教室名	幸手市放課後子ども教室		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	5分
名称	折り紙ブローチ	所要人数	1人～
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	好きな折り紙で折った物をブローチにできる。		
準備する物	折り紙・安全ピン・リボン・ホチキス		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 折り紙を使って犬・猫・星・やっこさん等の完成品を作る。 ② リボンを好みの長さに切り、半分の所で折り返す。 ③ 折り紙完成品の背中側をホチキスで止める。 ④ リボンの折り返した間に安全ピンを通し、服に止める。 <p>◆工夫したところ</p> <p>動物に顔を描いたり星に線を引いたりしたこと。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色々なブローチができて楽しかった。 ・ たくさんできた。 			
教室名	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	10分
名称	プラ板	所要人数	1人～
活動場所等	小学校の空き教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下絵を描いて(写して)くるとアニメキャラクターなどが上手に描けること。 ・ 焼く時は電子レンジではなくトースターでやること。 		
準備する物	油性マジック・プラ板・パンチ		
◆内容(作り方、遊び方等)			
		<p>① プラ板に絵を描き、好きな形に切り取ってもよい。 ※ この時点でパンチで穴を開けておくと後でひもを通してキーホルダーの様にできます。</p>	
		<p>② トースターで焼く(900Wのものだと約50秒くらい) ※ 焼くのは電子レンジではなく、一気に温度が上がるトースターが良い。</p>	
		<p>最初のうちはクシャツとなりますが、待っていると戻ります。</p>	
		<p>③ できあがり。</p>	
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵を描く前に見本を貼っておき、焼く前・焼いた後にどれだけ縮むかを見てもらい、絵は大きめに描いてもらうようにしました。 ・ 下絵を描いてきて写すとキャラクターのもの等、上手に描くことができます。 			
◆児童等の感想			
<p>自分のお気に入りの絵が描けてキーホルダーとして持てるのがうれしい。</p>			
教室名	富士見市地域子ども教室「レインボーキッズ針ヶ谷」		

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	30分
名称	プラ板アクセサリ	所要人数	何人でも
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でできます。 ・ 学年(年齢)に関係なく楽しめます。 		
準備する物	お弁当のふた、油性マジック、はさみ、穴開けパンチ、ひも(リリアン)、板、金属製のお菓子容器のふた、軍手、オーブントースター、アルミホイル		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>(作り方)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① お弁当のふた(『PS』や♻マークの入っているもの)に好きな絵を油性ペンで描いたり、写したりします。 ② 周りを好きな形に切り取ります。 ③ 穴開けパンチで、穴を開けます。 ④ オーブントースターの受け皿にアルミホイルを敷き、描いたプラ板を載せ、1～2分焼く。(熱を加えるとクネクネして、4分の1位に縮んで平になった時に取り出すめやす。) ⑤ 板の上に置き温かいうちにお菓子容器のふたで軽く押さえる。 ⑥ ひもを通して、完成です。 <p>※ お弁当のふたは、きれいに洗い、貼ってあるシールなどもきれいにはがしておく。</p> <p>※ 絵を描くときは、黒でふちどり、裏から色を塗ると線が消えずにきれいにできる。</p>			
<p>◆工夫したところ</p> <p>お金をかけず、お弁当のふたをリサイクルしたところ。</p>			
<p>◆児童等の感想</p> <p>自分の名前をいれたり、家族の名まで作ったりと、喜んで何枚も作っていた。</p>			
教室名	ふじみ野市放課後子ども教室		

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	40分
名称	ペットボトルキャップの飾り付け	所要人数	5人～40人程度(1グループ5人前後)
活動場所等	テーブルを設置できる空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さなものを扱うので、指先が器用になります。 ・ 飾り付ける方法次第で、色々なものをつくることができます。 		
準備する物	ペットボトルキャップ(2個で1組)、接着剤(瞬間・普通)、楊枝、紐、紙、鈴、ビーズ、リボン、ペン		

◆内容(作り方、遊び方等)



① キャップの1つに紐を通す穴を開けます。(前準備となります。)

※ 飾り方によっては、キャップとキャップの間に挟むように紐を使うことも可能です。
(下記応用編)

② 紐に穴よりも大きめのビーズを通し、抜けないように内側から外に出します。

※ 紐が抜けないようにするためですから、ビーズでなく止め結びをしても大丈夫です。

③ 紐が出たところにもビーズを通すと、穴が見えなくなってよりかわいく仕上がります。

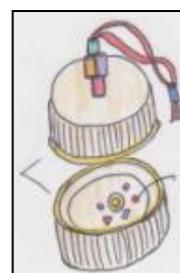
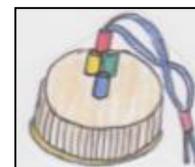
④ もう一つのキャップに鈴やビーズを入れ、瞬間接着剤で付けます。

※ 瞬間接着剤は、子ども達には扱わせないでください。

※ くつつくまで横にしないでください。

⑤ 着いたら、キャップの継ぎ目を隠すように紙を巻きます。

※ 上からリボンを巻く時に付けやすく、補強にもなります。



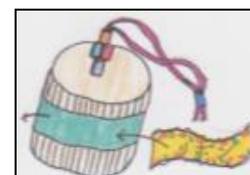
つける

鈴・ビーズ
など音が
出るもの

<仕上がり品>



⑤
継ぎ目に紙



応用編:①の穴を開けずに挟んだときの作り方(※最後の側面縁どりにはビニールテープがベストです。)

① 30cmの紐を半分に折り、輪の方から7cmのところに結び目をつくる。

② 2本になった紐にビーズを通し、飾り棒(※1)を挟んで再びビーズを通す。

③ 鈴を通して結び目をつくる。

④ 飾り棒の接着部分は抜けないように、上から紐に接着剤をつける。

⑤ ③の結び目を中に挟み入れてキャップの縁を接着剤でつける。

⑥ 丸い部分には白い紙を貼り「川口初午太鼓」と書きました。

⑦ 側面には紙を貼りますが、最初の2cmまでは真ん中に切り目を入れて、紐の箇所を挟み込んで接着剤でつけます。

⑧ 最後は側面の縁どりに再び紙をまきつけ補強します。



(※1)飾り棒の作り方
竹ひごまたは楊枝に
白紙を巻き付け5mm幅
の赤い紐か、赤の色紙
をカットして斜めに巻い
ていきます。
それを、太鼓の幅より
少し小さめに切りました。

◆工夫したところ

- 普段なにげなく捨てていた紙や布や紐が、まだ使えることをわかってもらうようにした。
- ペットボトルキャップで、リサイクルする大切さをわかってもらうようにした。
- 紐を通す穴は、時間の都合上と危険度を考慮して事前準備としました。
- 飾り付けに使うリボンの一、二年生用には、事前準備しておきました。
- 川口初午太鼓は郷土の伝統文化を知ってもらいます。

◆児童等の感想

- かわいいからいっぱい作りたいです。
- お出かけ用のバッグにつけて、大切にします。
- これからは、何でも捨てないで使えるものはちゃんと使います。

教室名 川口市放課後子ども教室「戸塚南どれみふぁ広場」

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	75分
名称	スイーツデコ教室	所要人数	20人
活動場所等	活動室		
おすすめポイント	食べちゃいたくなるデコスイーツストラップが作れます。		
準備する物	紙ネンド・ビーズ・シリコーン・ホイップの絞りだしロ・リボン・ゼリーカップ・お菓子の箱・ハサミ・のり		
◆内容(作り方、遊び方等)			
① 挨拶			
② 材料確認			
③ 1テーブル5人ずつ座らせ紙粘土で作ったクッキー生地の片方に順番にホイップしてはさむ。 クッキーサンド完成。			
④ ゼリーカップに3色の粘土を1つずつ押し込み3色の層を作る。			
⑤ ④の上にシリコーンをホイップする。			
⑥ ⑤の上にビーズやトッピングの飾りをのせて乾かして出来上がり。			
⑦ 持ち帰り用のお菓子の箱に入れてテーブルを片付ける。			
			
			
◆工夫したところ			
誰でも簡単にできるように前もって土台のクッキー生地とパイ生地、トッピングの飾りは作っておく。			
◆児童等の感想			
○ ホイップが楽しかった。またやりたい。			
○ ホイップをしたり、飾りをのせたりケーキやさんになったみたいで楽しかった。			
教室名	杉戸町立杉戸第二小学校放課後子ども教室		

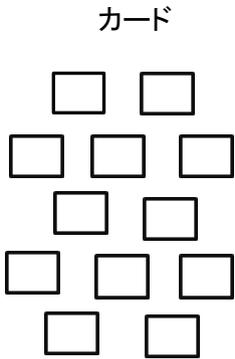
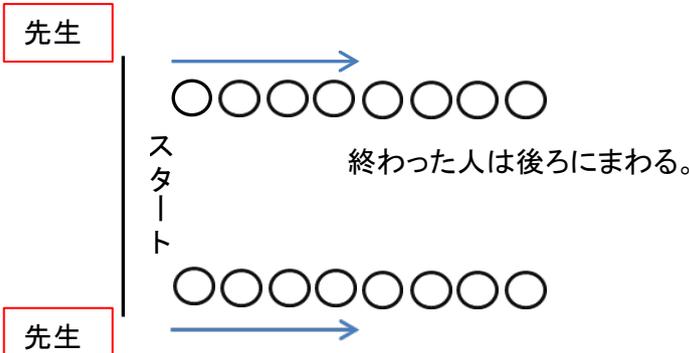
		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	20～30分
名称	ビーズアクセサリ作り	所要人数	講師数に応じて
活動場所等	机を使用できる室内		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女の子も男の子も夢中になります。 ・ 学年に係らず、児童同士が教えあう姿も見られます。 		
準備する物	ビーズ(数種類)・テグス(または糸)・ゴム・ハサミ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>大きめのカラフルビーズや小さな丸小ビーズをテグスに通したり、交差させたりしてヘアゴムやストラップ、ブレスレットを作ります。</p> <p>【ヘアゴム・ストラップ用 ビーズボール作り】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① テグスに好きな色のビーズを3粒通す。 ② 両側のテグスが交差するように、両側のテグスをまとめて1粒のビーズに通す。(ビーズは現在4粒目) ③ 両側のテグスそれぞれに、1粒ずつビーズを通す。 ④ さらに、両側のテグスが交差するように、両側のテグスを1粒のビーズにまとめて通す(ビーズは現在7粒目)。 ⑤ ④をもう一度行う(ビーズは現在10粒目) ⑥ 両側のテグスそれぞれに、1粒ずつビーズを通し、ビーズの列全体が1つの球体になるように折り丸めつつ、一番初めの先頭のビーズへ、右手にあるテグスのみ通す。 ⑦ 両側のテグスを固結びし、両側のテグスの余った部分は切る。片方のテグスを引っ張り、結び目をテグスの中に隠す。 ⑧ ビーズとビーズの隙間に、ゴムを通し、さらに大きめのビーズを通してから結ぶ。結び目を最後に通したビーズの中に通せば、ヘアゴムの完成。 (ゴムでなく、紐などを通して、ストラップにも出来ます。) <p>※ 上記の要領で、ビーズボールやビーズをつなげたものを手首につけて、ブレスレットにすることも可能</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男の子も楽しめるよう、青色や緑色などのビーズも用意し、ヘアゴム・ブレスレット以外にストラップも作れるように準備しました。 ・ 細かい作業なのでボランティアの人数を多めにし、ビーズをテグスに通す手順を用紙に書き、コピーして数箇所に見本と一緒に置いて、わかりやすくしました。 ・ テグスに自由にビーズを通すブレスレットに変更したり、と時間数や児童の好みに合わせた作品作りを行えます。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可愛いアクセサリができて嬉しい。また作りたい。 ・ 難しかったけど、隣の席の子やスタッフの人に教えてもらって、上手に作れた。 			
教室名	さいたま市 大谷口小学校「大谷口けやきっ子クラブ」		



遊び・スポーツ



区分	番号	名称	教室名	応援団での活用	ページ
競争・リレー系	1	競争(どっちが早いかな?)	深谷市 岡部小がんばル〜ム	○	38
	2	コーン乗せ競争(ウォーミングアップ)	久喜市放課後子ども教室「かやまっ子ゆうゆうプラザ」	○	39
	3	カードがえし	行田市北河原小わくわくクラブ	○	40
	4	ヒューマンサッカー	新座市 新座っ子パワーあっぷくらぶ「遊びのたからばこ」	○	41
	5	キャタビラリレー	蕨市立北小学校区放課後子ども教室	○	42
	6	「あ」をさがせ	毛呂山町放課後子ども教室「木曜のあそびクラブ」		43
ボール・風船遊び系	7	シートターゲットゲーム	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室	○	44
	8	ミッキーにストライク	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室	○	46
	9	ミニバスケット	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室	○	48
	10	風船バレーボール	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室	○	50
	11	爆弾バレー	蕨市立塚越小学校区放課後子ども教室	○	52
	12	キンボールで遊ぼう	横瀬町放課後子ども教室		53
	13	野球教室	杉戸町立杉戸第二小学校放課後子ども教室	○	54
クイズ・探索系	14	スタンプラリー	蕨市立塚越小学校区放課後子ども教室	○	55
	15	クイズ式スタンプラリー遊び	蕨市立東小学校区放課後子ども教室		56
	16	なでし子クエスト	久喜市放課後子ども教室「なでし子ゆうゆうプラザ」		57
	17	内牧小クイズ	春日部市内牧小学校放課後子ども教室「わくわくクラブ」		58
その他	18	フラットほりっこ(昔遊び等)	狭山市週末子ども教室「ほりっこ」	○	60
	19	昔遊び	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第三小学校)	○	61
	20	レクリエーション吹矢	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第二小学校)		61
	21	ジャグリング	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第五小学校)		62
	22	手品	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第二小学校)		62
	23	楽しいマジック教室	幸手市放課後子ども教室	○	63
	24	ペットボトルシャワー	秩父市 尾田蒔小学校ふれあい学校		63
	25	君も名人ー将棋に親しむ	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」	○	64
	26	新聞じゃんけん	川口市放課後子ども教室「安行東ときめきひろば」	○	65
	27	一緒にジャンプ	さいたま市 大谷小学校「いきいきニョッキーズ」		66
	28	シャボン玉あそび	東松山市放課後子ども教室「パステルKids」	○	67
	29	ジャンボしゃぼん玉	横瀬町放課後子ども教室		68
	30	宿題をやろう! 終わったら外で遊ぼう	和光市放課後子ども教室	○	69

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	20分
名称	競争(どっちが早いかな?)	所要人数	50人程度(その時の人数で)
活動場所等	わくわくルーム(学校のプレールーム)		
おすすめポイント	かなり盛り上がります。		
準備する物	クイズを書く紙、それに使う物		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生から6年生までたて割に2つのグループに分けます。 ・ カードに クイズ(色々ななぞなぞ)、漢字さがし、掛け算九九、なわとび、借り物ゲーム、うでたて、歌 などできそうな事をなるべくたくさん書いておきます。 ・ 2つのグループで前にばらまいたカードを一人が1枚ずつとり、わからない問題は、チームで協力して答えていく。全員がやり終わったチームの勝ち。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>カード</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>先生</p>  <p>先生</p> </div> </div> <p>※先生は答えがあっているかチェックする。 やり終わったカードをあずかる。</p>			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カードに何が書いてあるかわからないので、子どもたちはかなり盛り上がります。 ・ 何人か先生にも参加してもらいます。 			
<p>◆先生の感想</p> <p>このゲームを何回もやりたがり、かなり楽しめました。</p>			
教室名	深谷市 岡部小がんばル～ム		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	15～20分
名称	コーン乗せ競争(ウォーミングアップ)	所要人数	10～50人
活動場所等	体育館またはグラウンド		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 5人～10人で組み分けをすれば、大人数でも実施できる。 ● レベルを変えれば、1年生～6年生まで同時に競争ができる。 		
準備する物	工事用コーン(上部が切れている短めのタイプ)、サッカーボール、マーカー		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<ul style="list-style-type: none"> ● 同じ程度の学年の場合 <ul style="list-style-type: none"> * 5～10人程度で組み分けをする(人数を合わせる)。 * スタートラインから10m程度離れた位置にコーンを置く。 * 1人目がボールを持ってコーンの上に置いて帰ってくる。 * 2人目はタッチをしたらスタート、コーンのボールを取ってくる。 * 3人目はボールをもらったらスタート、上記を繰り返す。 			
<ul style="list-style-type: none"> ● 違う学年が混合の場合 <ul style="list-style-type: none"> * 1・2・3年生対4・5・6年生(均等に) * スタートラインから5m程度離れた位置にコーンを置く(走力で差がつかないように)。 * 1人目がボールを持ってコーンの上に置いて帰ってくる。 * 2人目はタッチをしたらスタート、コーンのボールを取ってくる。 * 3人目はボールをもらったらスタート、上記を繰り返す。 * 1・2・3年生は、コーンの上にボールを置く代わりに、スタッフにボールを投げる。または受ける。 			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> * 走力だけでは差がつかない。 * ボールを置くレベルの差をつけることにより、全学年が一斉に楽しめる。 * 競争することにより、楽しみながらウォーミングアップができる。 * 大人数でも、比較的短時間でメニューを消化できる。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・ リレーみたいで楽しかった。 ・ 高学年がボールを落としてしまったので、低学年が勝ちました。とても楽しかったです。 			
教室名	久喜市放課後子ども教室「かやまっ子ゆうゆうプラザ」		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	5分
名称	カードがえし	所要人数	20～30人
活動場所等	校庭・体育館		
おすすめポイント	小学校低学年でも楽しく遊べる。		
準備する物	四角く切ったダンボール30～40枚(表と裏に違った色を塗っておく)		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>(カードの作成)</p> <p>① ダンボールを正方形に切る。(一辺25～30cm)</p> <p>② 表と裏にペンキで着色する。(2色)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(遊び方)</p> <p>① 地面(フロア)にカードをランダムにちらばらせる。</p> <p>② 子どもを2チームに分ける。(カードの色で分ける)</p> <p>③ 合図で、自分のチームの色が表になるようにカードをひっくり返す。</p> <p>④ 終了時に、色別にカードの数を数え、多いほうの勝ちとなる。</p> <p>※ 全員一斉に行ってもよいし、リレー方式でやってもよい。 ルールは自分たちで決めさせるとよい。</p> <p>※ 広い範囲にカードをちらばせる。(危険防止)</p> <p>◆工夫したところ ダンボールをリサイクルした。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でもよい運動になる。 ・ チームで作戦を立てると、おもしろい。 ・ チームが勝つとすごくうれしい。 			
教室名	行田市北河原小わくわくクラブ		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	120分
名称	ヒューマンサッカー	所要人数	30人～40人
活動場所等	体育館、空き教室等		
おすすめポイント	集団ゲームで夢中になって遊べる。		
準備する物	特になし。		
<p>◆内容(作り方、遊び方等) (遊び方)</p> <p>① 攻撃チームと守備チームの2チームに分かれる。</p> <p>② 守備チームは上記のように並ぶ。攻撃チームはスタート地点から出発し、まず一列目の一人とジャンケンする。</p> <p>③ ジャンケンに勝ったら二列目の人とジャンケンをし、勝ったら三列目、四列目…と進む。</p> <p>④ ジャンケンに負けたらスタート地点に戻り、一列目からやり直す。</p> <p>⑤ 制限時間を設け、最後の五列目の人に何人が勝ったかで勝敗を決める。</p> <p>⑥ 時間が経ったら、攻撃チームと守備チームを交換する。</p> <p>◆工夫したところ イスを用意すると分かりやすい。</p> <p>◆児童等の感想 親子で分かれて勝負し、とても楽しかった。</p>			
教室名	新座市 新座っ子ぱわーあつぶくらぶ「遊びのたからばこ」		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	60分～90分
名称	キャタビラ リレー	所要人数	60～70人(1グループ3～4人)
活動場所等	体育館(最適)・空教室・校庭		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で出来ます。 ・学年(年齢)に関係なく楽しめます。 		
準備する物	ダンボール箱・ガムテープ・ビニール紐・カッターナイフ・マジック・千枚通し		

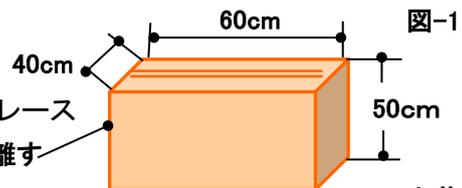
◆内容(作り方、遊び方等)

(キャタビラの作り方)

- ① ダンボール箱(60cm×40cm×50cm) 3個 / 1レース

図-1

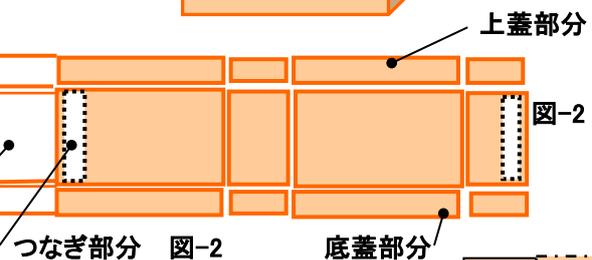
切断切り離す



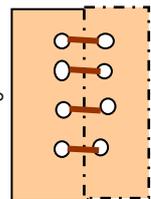
- ② ダンボール箱のコーナーを
カッターナイフで切断して切り離します。

- ③ 切り離しをしたダンボール全体を扱げます。
両端巾約20cm位を2個目のつなぎ部分
にします。

2個目



- ④ つなぎ部分はビニールの紐で、しっかりと結びその上をガムテープを貼り付けます。
同じ方法で4個のダンボールを順次連結し写真のような状態になります。



つなぎ部分
重ね合わせ

(遊び方)

- ① 3人程度を1グループにし3グループを編成して
リレー方式でレースを展開します。
コースから外れたらスタッフが声をかけますが、
無軌道レースは歓声の渦のなかで進行していきます。



◆工夫したところ

- グループは高学年を3グループに人員を同じ構成にし、
中・低学年は各組単位で編成をした。
- コースの修正やゴールなどの合図はスタッフが声かけ
をして進めていく。
- 異学年のレースで1年生の体力差を考慮し、最後部に
に配置する。



◆児童等の感想

- コースがよく分らなかったが、みんなと一緒にやれて
楽しかった。
- 4年生とやれてうれしかった。



教室名	蕨市立北小学校区放課後子ども教室		
-----	------------------	--	--

		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	20分～60分
名称	「あ」をさがせ	所要人数	2人1組で少数から40人位
活動場所等	室内・机とイス		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年に関係なくできる。 ・ やり方により、時間調整ができる。 		
準備する物	雑誌・新聞紙・色鉛筆		
<p>◆内容(遊び方等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人の真ん中に新聞紙等を置きます。 ・ 色の違う色鉛筆を用意します。 ・ スタートの合図で「あ」という文字を見つけ○をつけます。カタカナ・ローマ字・漢字などもよいことにしても楽しいです。 ・ 印刷物の中から「あ」という文字をたくさん見つけ出すゲームです。 <p>(勝敗)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2分間でより多くの「あ」を見つけた人の勝ちです。「あ」の外にもう1つ増やしてもよいでしょう。 <p>(反則)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手でかくしたりしないように。 ・ 3回の対戦。 <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集中力によい。 <p>◆工夫したところ</p> <p>小学低学年(1年生)の参加が多いため、始めは字を見つけるのに時間がかかったが、回数を重ねる事に早く見つける事ができ集中力が身についている。高学年は集中して取組んでいる。組み合わせに工夫をしている。</p> <p>◆児童等の感想</p> <p>参加している児童皆が楽しく取組んでいる。</p>			
教室名	毛呂山町放課後子ども教室「木曜のあそびクラブ」		

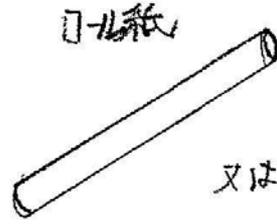
		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	30分／1シート
名称	シートターゲットゲーム	所要人数	スタッフ2名 生徒3名／1シート
活動場所等	教室、廊下		
おすすめポイント	狭隘のスペースで可。少ない予算で可。		
準備する物	ロール紙、又は模造紙2枚(1シート分)、カラーマジックペン、セロテープ、お手玉		
◆内容(作り方、遊び方等)			
作り方		(別紙 イラスト参照)	
1) ロール紙、又は模造紙で1m～1.2mの正方形用紙を作る(模造紙は2枚を繋げ張り合わせる)。			
2) 紙面に適当な点数エリアを作る。 点数エリアは適当なキャラクターの絵や、丸、三角、四角を書き入れ各々点数を決める。 キャラクターは、耳、口、目などを点数エリアとし点数を決める。 色々なカラーペンで色分けしても楽しい。			
3) 仕上がったシートを床面に貼り付ける(シートターゲットの出来上がり)。			
遊び方			
1) シートターゲットの点数エリアを狙い、お手玉を投げて、点数エリアに止まれば(入れば)得点となる。			
2) 低学年、高学年に分け、投げる場所(距離)を変える。			
3) 点数エリアの線上にかかった場合、もち球(投げる回数)を何球にするかなどは、ルールを決めておく。 団体戦、個人戦、遠距離戦などいろいろ考えられます。			
◆工夫したところ			
・ 点数エリアの設定(高得点エリアは難しく)			
* シートターゲットの用紙は丸めて持ち運びが容易(場所の変更等)			
* シートターゲットは3～4枚準備すると良い。			
◆児童等の感想			
・ 投げる力加減が難しい。			
・ 遠くなると点数(狙う目標)が見にくい。			
・ 簡単に楽しく出来る。			
教室名	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室		

(シートターゲットゲーム)

別紙

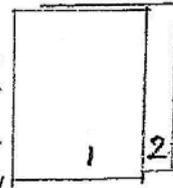
(作材)

1)

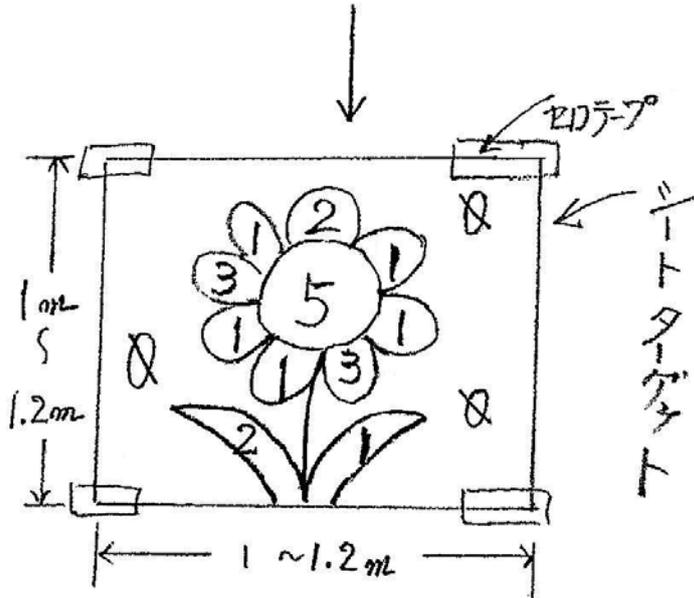


又は

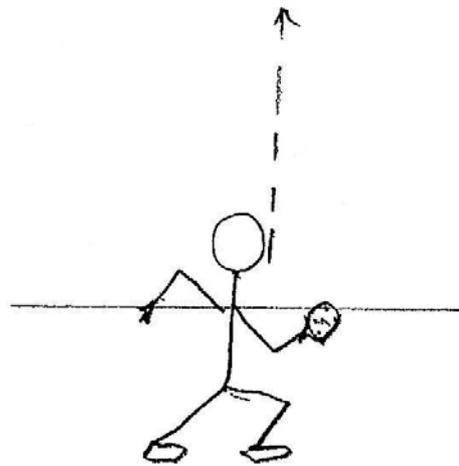
横造紙



2). 3)



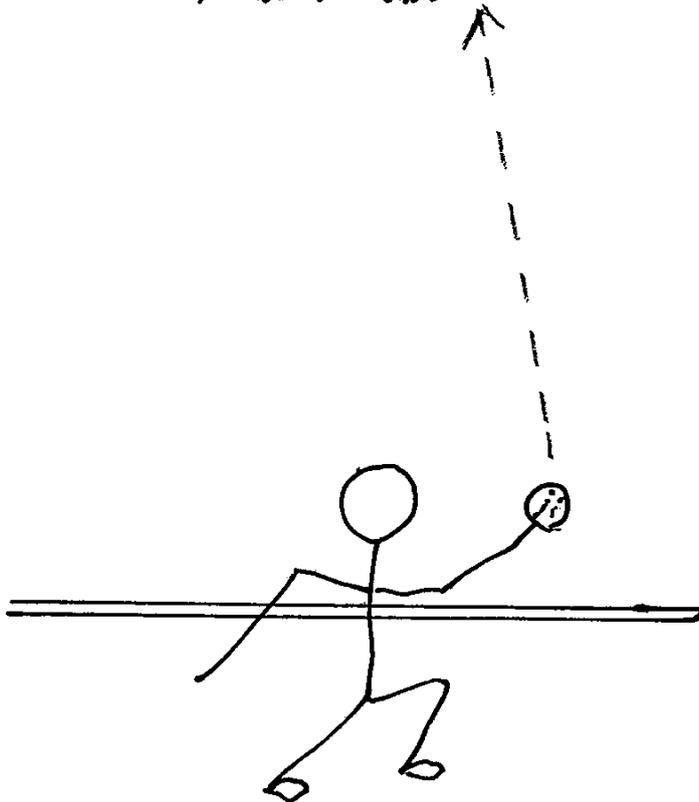
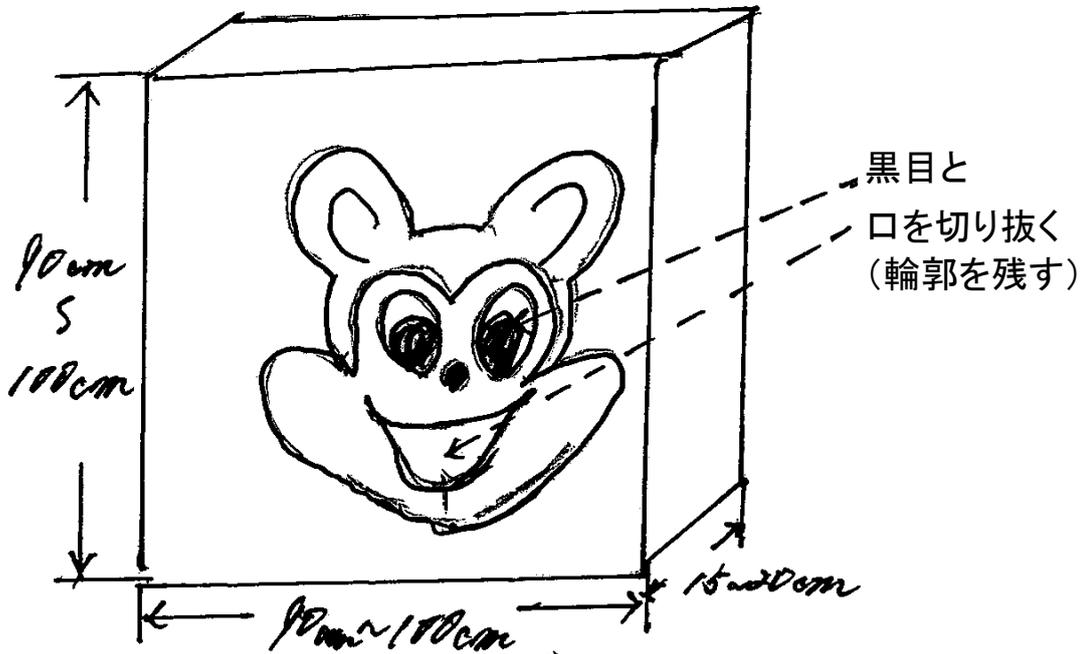
(遊仕方)



		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	30～40分
名称	ミッキーにストライク	所要人数	スタッフ1名 生徒2名
活動場所等	教室、廊下など		
おすすめポイント	場所をとらず室内ゲームとして最適。予算0円 既存事務用品利用		
準備する物	段ボール箱(幅15cm、縦横1m程度のもの)、カッター、折り紙、マジックペン、セロテープ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>1. 作り方 (別紙イラスト 参照)</p> <p>1) 段ボールにミッキーマウスの似顔絵を描く。目と口はやや大きめに。(ミッキーでなくても良い)</p> <p>2) 両目と口をカッターで切り抜く(ボールの入る穴となる)。</p> <p>3) 内側から目と口に折り紙などで(やや丈夫な素材がベター)上部をとめアナをふさぐ。 (ボールがアナにあたったら、折り紙が扉のように開くようにする。)</p> <p>4) 目や口に得点を表示する。</p> <p>2. 遊び方</p> <p>1) 完成した段ボール箱を倒れないような場所に立てかける。</p> <p>2) 低学年、高学年ごとに投げる場所(距離)に差をつける。 (例えば低学年3m、高学年6m 適宜調整)</p> <p>3) 団体戦、学年組対抗、個人戦、最長距離戦 等と遊びながら競技。</p> <p>◆工夫したところ</p> <p>内側からアナをふさぐ素材(意外とボールの勢いが良いので破けることが多い。)</p> <p>* 注意点 的(段ボール)の近くに子ども達を近づけない。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おもいきり投げるのでストレス発散になる。 ・ 下から投げると入り易い。 ・ 入らなくても段ボールの音が気持ちよい。 			
教室名	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室		

(ミッキーにストライク)

別紙

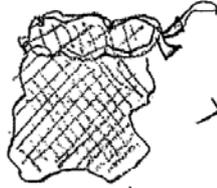


		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	60分
名称	ミニバスケ玉入れ	所要人数	スタッフ2名、生徒5名
活動場所等	空き教室や廊下。狭隘のスペースで可。		
おすすめポイント	場所をとらず雨天時の室内ゲームとして最適。少ない予算で可。		
準備する物	①球根などを収納する網袋、または玉網。②針金③網を取付ける板(ベニヤ板又は壁でもよい。)		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>1. ゴールネットの作り方 (別紙イラスト 参照)</p> <p>1) 編み袋の上部に針金を通す。 針金はネットが垂れ下がらないようにやや太いものを利用(直径4~5mm)</p> <p>2) 通した針金(網上部が輪になる)の両端をかぎ状に曲げる(玉網を作る要領)。 玉網を利用すれば 1)の作業は必要なし、但し針金が細いようでしたら取り替える。</p> <p>3) ゴールネットをベニヤ板又はそれに替わる壁に取付ける。(注) 大、中、小のゴールネットあればゲームが盛り上がる(大中小ごとに得点を決める)。</p> <p>(注)当校では二つ折りできる卓球台を壁代わりに利用</p> <p>2. 遊び方</p> <p>1) シュートするボールは、お手玉、テニスボール、などを利用</p> <p>2) ゴールネットまでの距離を低学年用、高学年用として距離を調整する。</p> <p>3) 団体戦、同学年組対抗、同学年得点別順位 等のゲーム方法はいろいろ考えられます。</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴールネットに何をを使うか? 玉網を利用するのは簡単ですが、大中小を作成するには無駄があり、校内手洗い場に石鹸を入れた網をみて参考とした。 ・ 網の大きさはどの程度? 直径30cm、20cm、15cmとし、難易度は距離で調整 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> * 当教室は12月に恒例としているゲームスポーツ大会の一つの遊びです。 ・ なかなか入らなくて難しかった。 ・ 面白いが網が小さすぎる。 ・ お手玉の方が入れ易い。 			
教室名	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室		

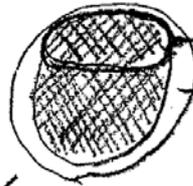
(ミニバスケット)

別紙

球根や野菜の網袋

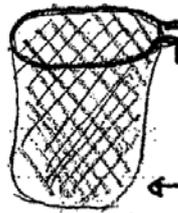


又は



この部分を用い
(針金を縫い合わせる
取替える)

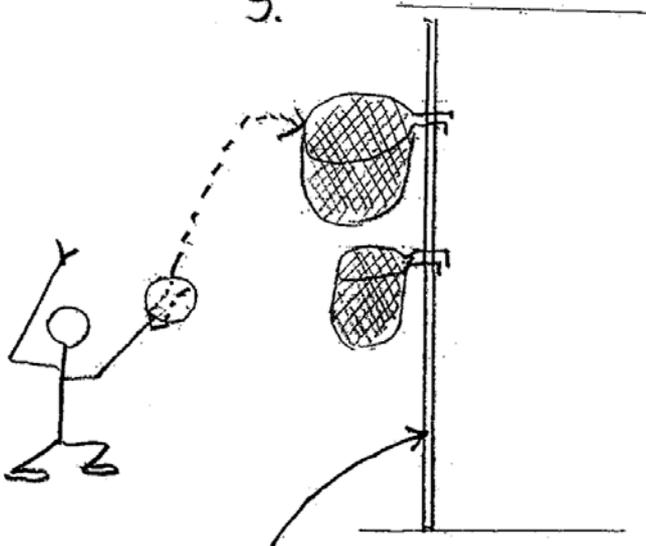
(作り方)
1.2



木製部分から下の網ははいりこ

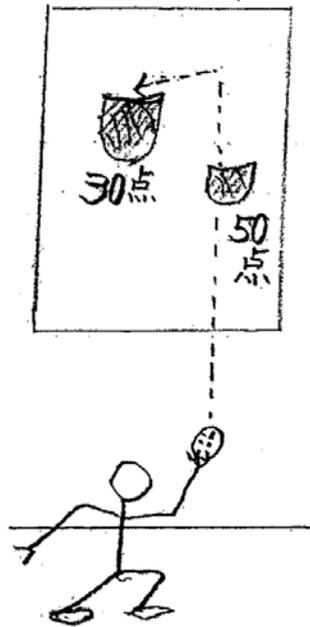
← ホールの落ちる部分に良いか入るか確か
判別してください

3.



ペニヤ板か登りかたて
でしるしをいれる

(遊び方)

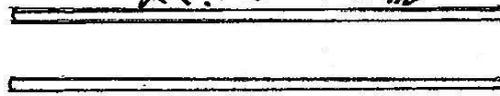


		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	30分
名称	風船バレーボール	所要人数	スタッフ1、生徒4名
活動場所等	教室前廊下、狭隘スペース(6平米程度)		
おすすめポイント	場所をとらず雨天時の室内ゲームとして最適。少ない予算で可。		
準備する物	丸風船、菜園用ポール、菜園ネット(1.8m×0.9m)、ポール立て(重石)		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>ネットの作り方 (別紙イラスト 参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2本の菜園ポールに菜園ネットの両端を取付ける(本格バレーのネットを真似たもの)。 2) 2本のポールをポール立てに取り付け(倒れないように重石に取付け)。 3) ネットの上部が1.5m～1.8m程度の高さに調整する。 4) コートを作る(白の粘着ビニールテープでラインを引く)。 <p>遊び方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 本格バレーのルールを適用又は簡便ルールを決める。 2) 選手は3名対3名(計6名)――コートの広さに応じ人数を調整する。 3) 団体戦、学年組対抗、個人勝ち抜き戦、等考えられます。 <p>◆工夫したところ</p> <p>重石に足をぶつける危険があり、段ボール等でガードすること。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風船をおもいきり叩けるので面白い。 ・ 風船の動きが予想できず難しい。 ・ 男女対抗が出来て面白い(男子チームを負かしたゾー)。 			
教室名	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室		

(風船バレーボール)

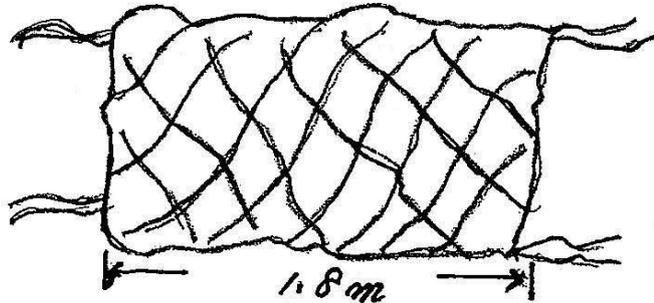
別紙

長さ 1.8 ~ 2.8 m



茶園用ボール
(2本)

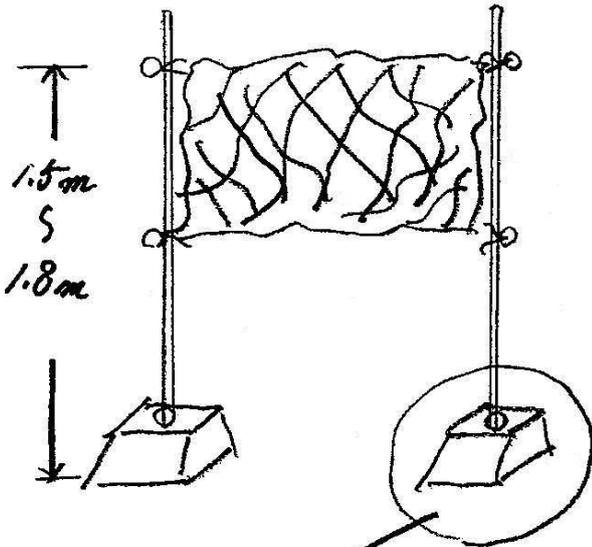
↑
0.9 m
↓



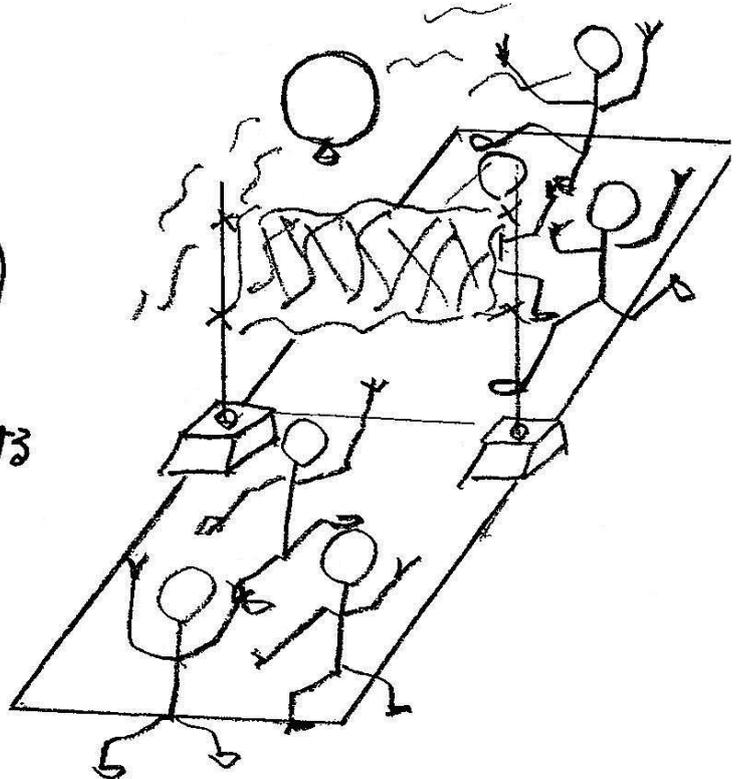
「ネット
(1.8 m ~ 0.9 m)



ボールを立てる重石 (2個)



ボールはここにカマする



		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	60分
名称	キンボールで遊ぼう	所要人数	20～30名
活動場所等	体育館		
おすすめポイント	大きく重いボールを扱うことに興味がわき、楽しく活動できる。		
準備する物	キンボール		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>① 準備体操 手首や腕の準備体操を特に念入りに行う。</p> <p>② キンボールの扱い方の諸注意 重いので、必ず両手で止めたり、押ししたりする。</p> <p>③ 慣れの遊び 輪になって、止めたり押し出したりしてみる。 ボールの感触を確かめる。</p> <p>④ ゲーム</p> <p>○ 押し合いゲーム 3対3で真ん中に置いたボールを押し合う。 引いた方が負け</p> <p>○ じゃんけんボール取り ・ 2チームに分かれ、体育館の両端に陣取る。 ・ 中央にボールを置き、両チーム1人出てくる。 ・ ジャンケンをして勝った方がボールを転がして自分の陣地を目指す。 ・ 負けたチームは、2番手がボールを追いかけてタッチする。 ・ また、ジャンケンをして勝った方が持ち帰る。 ・ 陣地までボールを運んだチームに1点が入る。 ・ 得点合計で勝敗を決定する。</p> <p>○ 手つなぎドッジボール ・ 二人組をつくる。 ・ 逃げるときは、手を離さない。ボールを転がすときは、2人で協力して押し出す。</p>			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二人、三人組のチームで活動させることでけがを防止した。 ・ 空気の量を少し弱めにし、あまり弾みすぎないようにした。 ・ いろいろな遊びを取り入れることで、多くの子がボールにさわられるようにした。 			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジャンボボールは結構重かった。 ・ ジャンボボールはゆっくり転がるので逃げやすかった。 ・ いろいろな遊びができて楽しかった。 			
教室名	横瀬町放課後子ども教室		



		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	120分
名称	野球教室	所要人数	10～15人
活動場所等	校庭		
おすすめポイント	初心者でもテニスボールを使って楽しくコーチが野球を教えてください。		
準備する物	グローブ・テニスボール・ラインカー		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>① 挨拶</p> <p>② ウォーミングアップ・ストレッチ・ランニング</p> <p>③ 休憩・給水</p> <p>④ キャッチボール&守備練習 テニスボールを使用・野球経験のあるこどもはバディにてC球を使用</p> <p>⑤ 休憩&給水</p> <p>⑥ 打撃練習 トスマシーン(テニスボール)にて、1人3アウトで交代</p> <p>⑦ 閉校式</p>			
			
			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休みに実施した為休憩や水分を取ることに、熱中症に注意した。 ○ 初心者でも投げやすいようテニスボールを使用した。 ○ 少年団のコーチにお願いして指導してもらった。 			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボールを投げたり、バッティングができて楽しかった。 ○ キャッチボールを初めてして難しかったけどまた練習して上手になりたいです。 			
教室名	杉戸町立杉戸第二小学校放課後子ども教室		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	40分
名称	スタンプラリー	所要人数	1グループ6人程度で何組でもOK!
活動場所等	学校内の使ってもよい部屋など		
おすすめポイント	グループの中で協力し合いながら、ひとつひとつ問題をクリアしながらスタンプラリーを制覇していくので、協調性や仲間とのコミュニケーション力や知力、体力などを使って楽しみながらすすめることができる。		
準備する物	スタンプ・スタンプ用紙・校内地図・その他必要な備品		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>○ 当日までの準備 校内で何箇所にスタンプポイントを作るかを定める。そこで何をクリアすればスタンプをもらえるかを定める。スタンプポイントの数と同じスタンプとスタンプを押せる用紙を準備。</p> <p>(スタンプポイントの例)</p> <p>* 【じゃんけん戦士カツンジャー】 カツンジャーとじゃんけんして、グループの人数全員がジャンケンジャーと勝つまでじゃんけんする。その際、じゃんけんで勝った場合は、次の人も続けてジャンケンできるが、負けた場合は、並んでいる次のグループの後ろに並びなおさなければいけない(そのポイントのルールや説明は、あらかじめ張り紙しておく。)</p> <p>* 【なぞなぞ博士?!】 なぞなぞ、とんちをしてチームで答える。3問正解したらスタンプを押す。なぞなぞは、部屋にばら撒かれた紙に書かれていて、時々ハズレの紙があるので、その場合はもう一度紙を拾いに行かなければいけない。</p> <p>* 【ターゲットを狙え!】 点数マットで、チームで5個投げて規定の点数以上になれば、スタンプ。ならなければ、再度並び直して、やり直し。他、ストラックアウトなどでも対応可能。</p> <p>* 【寺子屋】 算数の計算問題(プリント)を解く。全問正解でスタンプ。</p> <p>* 【運命の選択クイズ】 学校クイズ 校内でいつもみているけど、探さないとよくわからない問題を作る。それを探して見つけて答える。例えば、『平成18年卒業制作にあるふうせんで赤い色は何個でしょう?』とか、『図書室前にある今月のおすすめ図書は何と何?』みたいな感じ。</p> <p>○ 当日は各部屋でそれぞれの準備をし、子どもたちが来たら対応する。スタート地点と最終ゴールは同じ場所に設定。</p> <p>○ ルールを守りながら、またチームで協力してスタンプをゲットできるように、楽しく活動する。</p> <p>◆工夫したところ</p> <p>○ 地図はいつもの校内だけど、侵入禁止区域やどの部屋に何があるかわからないように、秘密の地図の様に作成。</p> <p>○ スタンプ用紙には、チーム全員の名前を記入させ、仲間意識を持たせるようにしたこと。そして、スタンプポイントに名前をつけてロールプレイングゲームのような感じに仕上げた。そして、スタンプポイントにいるスタッフにも仮装させ、雰囲気盛り上げた。</p> <p>○ チーム戦にしたところ、みんなお互い協力し合い、必死になってクリアするように応援したり、あっちこっちとお互いに知恵を出し合ったりして、楽しそうに活動していた。</p> <p>◆児童等の感想</p> <p>またやりたいと、大変好評だった。ただ、なぞなぞや寺子屋での問題が簡単すぎて、こちらが思っていたより早くクリアしたので、もう少し難しい問題でも良かったとのこと。</p>			
教室名	蕨市立塚越小学校区放課後子ども教室		

		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	1時間くらいが目安
名称	クイズ式スタンプラリー遊び	所要人数	15人～100人(例10人グループ10組)
活動場所等	屋内、屋外どこでも		
おすすめポイント	人数が多い時、縦割りグループを作った方が、子ども達が団結しやすい。スタンプの設置場所のクイズは、場所によって、決められた学年が行う。子ども達が楽しく考え、協力しあえる。		
準備する物	クイズ15問位、一輪車、縄跳び、(ダンスを踊るのでCDデッキ) 机、いす (グループ色分けシール)スタンプシール		

◆内容(作り方、遊び方等)

① あらかじめ、子ども達のグループを作ります。(高学年がリーダーになれるように、また、難しいクイズの時は相談しあえるように)縦割りのグループを作ります。(この時に高学年のリーダーを決めておく。スタンプカードを持ってみんなを誘導させて、各スタンプ設置場所を回るようにする。)

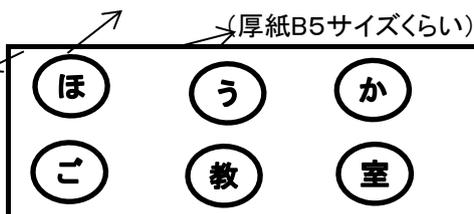
② スタンプのクイズを考えます。この時は、6箇所スタンプ場を設置し、そのうち3箇所は体を動かす運動を入れました。
(1年生)音楽に合わせてダンス*(マルマルモリモリダンス)をする。(2年生)一輪車を乗るまたは押して決められた場所まで移動。(3年生)二重跳び3回以上か、平飛び100回。3箇所のクイズは、なぞなぞクイズや理科の実験クイズ、また、その時の流行りものを取り入れたクイズがあると子ども達は喜びます。

【クイズ例】

☆スポーツ選手ではない人は、だれでしょう？
スポーツ選手や芸能人の写真を6～8人くらい並べて、スポーツ選手ではない人を当てるクイズ。低学年の子どもたちも知っている、有名人を提示することを心がける。

各設置場所でクイズまたは運動ができれば
○の中に一文字を書いてもらう。

スタンプ
カード



集めたスタンプが最後のクイズです。

③ 場所を考えます。屋外、屋内 自由に使います。ただ、最後の問題(ゴール)は帰りの支度がスムーズに運ぶように保護者が、迎えに来る場所にしたいほうがいいと思います。また、運動はできるなら運動場など外で行う方がいいと思います。

④ スタンプの設置場所では決められた学年がメインで答えます。指導員が「ここでは1年生のクイズなので、1年生が答えて下さい。」と言うように(他の学年は答えてはいけません。その代わりにクイズをグループで相談して、答えるのは1年生であればOKです。答えがあてれば指導員からスタンプカードの○の中に文字を1つ書いてもらいます。他の子ども達はスタンプシールを服、または、名札に貼って、回った証明シールになります。6箇所全部集めると、最後の問題がわかります。最後の場所では、グループのスタンプカード、証明シールを確認して、できていたら問題を伝えます。この時の問題は**ほうかご教室のこともたちは全部で何人いるでしょう??**でした。耳打ちで答えをそっと伝えます。正解したグループの順番でメダルを渡します。(1位～3位まで)

◆工夫したところ

- * 学年別でクイズや運動を取り入れたので、他の学年が応援したり、協力しあえて、団結力がついた。
- * メダルを手作りにした。
- * 簡単に見つけられる場所と、見つけにくい場所に分けた。見つけられない時は、高学年の子が小高い所に上がり「あったよ。みんなついておいで。」と誘導して低学年の子たちは「やった～」と言ってついていった。

◆児童等の感想

- ☆ 遊んだことがない4年生と一緒に遊べた。(1年生より)
- ☆ リーダーになって誘導して最後のクイズに答えられてすごくうれしかった。また、やりたい。(4年生より)



教室名	蕨市立東小学校区放課後子ども教室		
-----	------------------	--	--

		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	80分
名称	内牧小クイズ	所要人数	特になし
活動場所等	学校内		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異学年でも一緒にできます。 ・ 普段の学校生活では知る機会の少ない学校の歴史など、楽しみながら学ぶことができます。 		
準備する物	回答用紙、筆記具など		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>(クイズ問題作成)</p> <p>① 学校の了承を得たうえで、事前に大人(スタッフ)が学校行事や学校内にある施設、設備、掲示物などから、事前にクイズの問題を作成する。</p> <p>(遊び方)</p> <p>① 5～6人程度にチーム分けし、その中からリーダーを決める。</p> <p>② グループに1～2人程度の大人(見守りスタッフ)がつく。</p> <p>③ 制限時間(30分位)内で、指定された校舎内においてグループごとに行動し回答書を作成する。</p> <p>④ 指定の時間に集合し、正解を発表する。</p> <p>⑤ 正答率の順にチームの順位を発表し、上位チームの栄誉をたたえる。</p>			
			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り等の大人は、クイズの内容に極力触れないなど共通のルールを決めて公平性を保つようにする。 ○ チームごとにリーダーを決めさせると異学年であってもまとまりができる。 ○ 「廊下を走らない」「校舎から外に出ない」などのルールを決め、守れたチームに加点するなど、ルールを守らせるための工夫をした。 			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 6年も学校に通っていますが、知らないこともたくさんあったし、調べようと思ったこともないクイズもたくさんあったので、とても勉強になりました。(6年生) ○ 学校の中で正解を探すのがおもしろかったです。(3年生) 			
教室名	春日部市内牧小学校放課後子ども教室「わくわくクラブ」		

内牧小クイズ 解答

- Q.1 中庭にある白い箱は、なんというでしょう？ A. 百葉箱
- Q.2 給食を「残さず食べたら パロリン賞」では、「きれいに片付けたら」何賞？ A. ピカリン賞
- Q.3 内牧小にある公衆電話は、何色でしょう？ A. 緑（黄緑）色
- Q.4 内牧小のクラスは、全部で何クラスでしょう？ A. 20クラス
- Q.5 内牧小オリジナル なしチャパン！パンの中に入っている物は？ A. なしジャム（なし）
- Q.6 内牧小は開校何年になるでしょう？ A. 138年
- Q.7 校門（正門）の両側にある木は何？ ヒント：樹木マップ！ A. マキ
- Q.8 吉山校長先生は、何代目の校長先生でしょう？ A. 37代目
- Q.9 体育館の天井に照明はいくつ？ A. 24個
- Q.10 次の内牧小校歌には間違いが3カ所あります。間違っているところに○をつけて、正しく直しましょう。
1. 春日はかすむ 春日部の 2. 日照りの夏も さわやかに
 この美しい 丘の上 里のらの秋 みのりよく
 なつかしの道 呼びかわし つぶらな瞳 かかやかし
 (明日も)元気に 通うのだ いつも愉快に (遊ぶ)のだ
 ああ楽し楽し 内牧の子われら ああ楽し楽し 内牧の子われら
3. こがらしすさぶ 冬の日も
 冷たい雨も (気持ちよく)
 われをきたえて すこやかな
 少年少女と 育つのだ
 ああ楽し楽し 内牧の子われら

- Q.11 楽しかった運動会！児童全員で力を合わせた一番最後の競技は？
 A. (全校)大玉送り
- Q.12 明日の給食は？
 ①中華丼 ②五目ご飯 ③内牧小お弁当 A. ②
- Q.13 保健室と会議室の間に掛けてある絵の少女が持っている物は？
 A. パイオリン
- Q.14 内牧小は明治何年何月何日に開校したでしょう？ A. 明治6年7月18日
 (1873年)
- Q.15 6月7日に内牧小で開かれた春日部市陸上競技大会で、内牧小は総合何位？
 A. 3位
- Q.16 図書室の廊下側の高い窓についている絵を廊下から見てください。
 左から4番目のお話は何でしょう？ A. ゴンぎつね
- Q.17 1階昇降口の掛け時計、スイカの太鼓は何時？ A. 5時
- Q.18 内牧小学校区を囲み流れる3本の川は「ふるとね川」と「ふるすみだ川」と
 さてもう一つは？ ヒント・内牧マップ A. はやとほり川
- Q.19 体の調子を整える食品は次のうち、どれ？
 ①牛乳 ②みかん ③うどん A. ②番
- Q.20 埼玉県郷土かるた ” な ” は「長い花房 ○○の藤」
 ○○に入る漢字は？ A. 牛島
- Q.21 ひまわり2組の入り口（後）に貼ってある花は何でしょう？
 A. さくら
- Q.22 ボクシングの内山選手が来校したのは何年何月何日でしょう？
 A. 2010年11月5日
- Q.23 内牧小の校歌を作曲した人は？ A. 花村 大
- Q.24 内牧小の児童数は？ A. 601人
- Q.25 体育館にバスケットゴールはいくつあるでしょう？ A. 6基
- Q.26 もうすぐハロウィン♪ 図書室廊下の壁に黒猫は何匹？
 A. 4匹

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	自由
名称	フラットほりっこ(昔遊び等)	所要人数	自由
活動場所等	空き教室、公民館等どこでも可		
おすすめポイント	中高年の方がいれば、いつでもどこでも遊べます。		
準備する物	昔遊び:①メンコ、お手玉、けん玉、将棋、囲碁、かるた、折り紙、 ②ベーゴマ(できればバケツ、レジャーシート、紐) その他:③風船、ドミノ、トランプ、オセロ、 ④プラ板(トスター、はさみ、油性マジック、必要に応じ穴あけパンチ)		
◆内容(作り方、遊び方等)			
①、③ 遊び方については、大人がよく知っていると思いますので、説明は不要でしょう。			
② バケツ、シート、紐があれば遊戯台を作って対戦しますが、無い場合もエリアを決めてその中で最後まで回せたら勝ちという遊び方もあります。			
④ プラ板を好きな大きさに切って、油性マジックでいろいろな絵を描きます。下絵は表に描き、色は裏に塗るときれいにできあがります。穴あけパンチで一つ穴をあけておくと、できあがった時にひもを通してペンダントになります。トスターで加熱処理した後に、雑誌などに挟んだまま冷やすと、平らに仕上がります。			
◆工夫したところ			
① 子ども達は、最初それぞれの遊び方や楽しさが分からないのですぐに飽きてしまうかもしれません。事前に大人が練習をして、ある程度できるようになっていると面白さがわかるかもしれません。子ども達の競争心をあおるために、同レベルの子と競争するのもいいかもしれません。			
「ほりっこ」通貨『リッコ』を活用しています。 けん玉、お手玉等をみんなで競争し、上位者はリッコが稼げます。下級生も上手になってリッコがほしいので、よく練習をします。 また、フラットほりっこ中に、お手伝いや人に親切にすると、ボーナスがもらえます。中には、6年生の最後、卒業する際に、稼いだリッコを低学年に分け与えていく子もいます。			
全般	「ほりっこ」のお約束: <u>3つの「あ」→あいさつ・あんぜん・あとかたづけ</u>		
	・ <u>あいさつ</u> 朝、みんなに会ったら「おはよう」のあいさつをしましょう。 お友達を手伝ってくれた時、せんぱいが教えてくれた時は「ありがとう」をいみましょう。 ケンカや失敗をしてしまったら「ごめんなさい」をいみましょう。 帰る時は元気に「さようなら」のあいさつをしましょう。		
	・ <u>あんぜん</u> はさみやカッターを使うときは、手を切らないように気を付けましょう。 まわりのお友達にも気を付けましょう。 スポーツの時は、ふざけないでルールを守ってプレイしましょう。 (教室により異なりますが)あぶない場所には行かないようにしましょう。		
	・ <u>あとかたづけ</u> 遊んだあとは、遊び道具をかたづけましょう。 ゴミが出たときは、みんなでそうじをしましょう。 整理整頓をして、遊びは始める前よりもきれいにしましょう。		
◆児童等の感想			
子どもによって好みがあり、毎回お決まりの遊びを延々続けています。			
教室名	狭山市週末子ども教室「ほりっこ」		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	120分
名称	昔遊び	所要人数	25人程度
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	学年年齢に関係なく楽しむことができる。		
準備する物	けん玉、コマ、折り紙等		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校応援団に指導と見守りをお願いした。 ○ 基本は、参加児童が各々やりたい遊びを自由に行ってもらった。 ○ 2、3回に1回程度、参加児童がまとまって紙芝居の鑑賞や、工作を行う回をもうけた。 <p>◆工夫したところ</p> <p>工作では、風車やビーズアクセサリ、時期の手作り飾りを作成して、参加児童に好評を得た。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コマとけん玉が面白かった。(参加児童より) ○ 折り紙でいろいろなものを作れて楽しかった。(参加児童より) ○ クリスマスやお雛様など手作り飾りを持ち帰り、ありがたいことでした。沢山のことを教えていただきとても良い経験になりました。(参加児童の親より) 			
教室名	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第三小学校)		

		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	120分
名称	レクリエーション吹矢	所要人数	25人程度
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年年齢に関係なく楽しめる。 ・ 上達を感じて、成長を楽しむことができる。 		
準備する物	吹矢筒、矢、的等		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導は、埼玉県吹矢レクリエーション協会の方に依頼した。 ○ 矢は危険が少ないよう吸盤のものを使用した。 ○ 吹矢を飛ばす前に、必ず呼吸を整えてから行い、集中力を高めるよう指導を行った。 <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 慣れてくると新鮮味がなくなり飽きてしまうので、点数的を使ってすごろくをしたところ、夢中になって遊んでいた。 ○ 最後の教室の際に検定試験を行うことで、子どものやる気を底上げすることができた。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 吹矢はやったことも見たこともなかったので、楽しかったです。また来年もやりたいと思いました。(参加児童より) ○ 吹矢の検定状をととても喜んでいました。(参加児童の親より) 			
教室名	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第二小学校)		

		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	120分
名称	ジャグリング	所要人数	25人程度
活動場所等	校舎内広場等の天井の高めの場所		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年年齢に関係なく楽しめる。 ・ 上達を感じて、成長を楽しむことができる。 		
準備する物	ゴムボール(1人3個)、ペレット(詰め物)、カッター、カラーテープ、はかり		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに、自分の使用するボール作りから始めた。 ○ ボールの一部にカッターで1, 2cmの切れ込みを入れて、中にペレットを詰め込んでいく。3個のボールの重さが同じになるように注意する。詰め終わったら切れ込み部分が開かないようカラーテープでふさぐ。 ○ 自分でボールを作ることで、経費削減になると、愛着を持って使用してもらえた。 ○ ボールでのジャグリングに慣れるまで、ティッシュを使って感覚をつかんでもらう等順序を追って実施した。 <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市にゆかりのあるプロの方に講師を依頼でき、指導や進め方等はお任せした。 ○ ジャグリングだけではなく、顔や手にペイントを行うなど趣向を凝らして教室を盛り上げた。 ○ 最後の教室の際に、発表会を行うことで、子どものやる気を底上げすることができた。 ○ また、発表会には保護者にも参加してもらい、成果を発表することができ、参加者児童にも保護者にも好評を得た。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎回とても楽しそうに参加していて、練習した内容なども楽しそうに報告して、充実した体験をさせて頂いていると感じられとてもよかったです。(参加児童の親より) ○ とても楽しくできて、やさしく教えてもらえ、やりたいことがすぐにできるから何回もやりたくなった。(参加児童より) 			
教室名	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第五小学校)		

		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	120分
名称	手品	所要人数	25人程度
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	上達を感じて、成長を楽しむことができる。		
準備する物	トランプ、その他手品のタネ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>市内のマジックサークルに指導を依頼して、マジックの内容や指導等についてはお任せした。</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ メインの講師が子どもの前に立ち、全体指導してもらう他に、ついて来れない子どもを補佐するために常に数人の講師に会場を見てもらい、皆で進めるように進行した。 ○ トランプマジックを中心に、あまり費用のかからないマジックを講師に選んでもらい、経費を削減した。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ とても楽しかったそうです。トランプの手品を家でも一生懸命練習していました。(参加児童の親より) ○ 子どもにとって手品は、楽しくとても魅力的だったようです。(参加児童の親より) 			
教室名	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第二小学校)		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	60分
名称	楽しいマジック教室	所要人数	20人程度
活動場所等	空き教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でできる。 ・ 身近な生活用品を使ったマジックをマスターできる。 		
準備する物	輪ゴム、ティッシュ、ハンカチ（費用：無料）		
<p>◆内容（作り方、遊び方等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市の奇術愛好会の方にご指導をお願いした。 <li style="padding-left: 20px;">↓ ○ マジックショー（子ども達は見学） <li style="padding-left: 20px;">↓ ○ 子ども達にマジック指導 <li style="padding-left: 20px;">↓ ○ その場で実践 <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども達に興味を持ってもらうために、最初の10分くらいを使ってマジックショーを行った。 ○ 家へ帰って家族にも披露できるような、マジックを選んだ。（生活用品を使う） <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目の前でマジックを見て、とてもビックリした。 ○ マジックができるようになってうれしかった。 			
教室名	幸手市放課後子ども教室		

		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	10分
名称	ペットボトルシャワー	所要人数	10～20人
活動場所等	外		
おすすめポイント	夏の暑い時期に水のかけっこが出来る。		
準備する物	ペットボトル、袋		
<p>◆内容（作り方、遊び方等）</p> <p>【シャワー作成】</p> <p>空のペットボトル、又は袋に数箇所穴を開ける。 中に水を入れ、穴から出るようにする。</p> <p>【遊び方】</p> <p>水にぬれてもよい服装に着替える。 皆で水のかけっこをする。 鬼ごっこをして、水に当たったら交代する。</p> <p>◆工夫したところ</p> <p>単に水をかけ合うだけでなく、鬼ごっこをすることにより児童たちも盛り上がった。</p> <p>◆児童等の感想</p> <p>夏の暑い時期に水のかけ合いが出来てよかった。</p>			
教室名	秩父市 尾田蒔小学校ふれあい学校		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	60分～75分
名称	君も名人ー将棋に親しむ	所要人数	2人以上、何人でも
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	礼儀作法から入る。将棋の楽しさとともに、学年を超えた対戦により、講座名人の認定。		
準備する物	将棋盤・駒(2人で1セット)、参加者の星取表、テーブル・いす		
<p>◆講座運営の方法=平成23年度のケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座参加者38名、うち初心者(駒の配置もわからない)5名、指導者2名 ・ 放課後、講座教室集合 ・ 全員がそろうまで、テーブル・いす・将棋盤等を出し、勝手に対戦相手を探して練習試合 ・ 全員そろったところで、その場で姿勢を正して「よろしくお願ひします」 ・ 全員が対戦し、その勝敗が一覧できるように「星取表」を作成し、その日の対戦結果を書き込んでいく。 ・ 初心者にはまず駒の動かし方から教え、初心者同士から対戦 ・ その日の終わりには全員で対戦相手に対して「ありがとうございました」 ・ テーブル・いす・将棋盤等は全員で片付ける。 ・ リーグ戦の上位16名を選抜、講座最終日に決勝戦ができるよう3回前からトーナメントを開始 ・ トーナメント表を作成するときに、上級者はシード選手として緒戦に当たらないよう配慮 ・ トーナメント戦と並行して、他の選手はそれぞれで相手を見つけて対戦 ・ 講座最終日の決勝戦は、対戦者以外の全員が観客として盤の周りに集まり観戦 ・ 観戦時に注意すること(声を出さない、手を出さない) ・ 制限時間30分1本勝負 ・ 勝者には「けやきっ子将棋名人」を認定 ・ 閉校式で全講座参加者の中で「認定状」と副賞進呈 			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めと終わりの挨拶、対戦中の姿勢などを注意 ・ 将棋という遊びのなかでも「勝負」意識を植え付ける(待ったなし)。 ・ なぜ勝ったか、なぜ負けたかを対戦相手で行う「感想戦」 ・ 初心者にはまず駒の動かし方から、徐々に初心者同士の対戦にもっていく。 ・ 講座活動日の中盤まで、負けがこんでいる(勝てない)児童には同レベルの児童との対戦に誘導 ・ 「将棋は勝てないから面白くない」という児童がない様に、時々全員で「詰め将棋」を検討するなどの工夫を ・ 将棋の駒を使ったゲームを取り入れる。 			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の学年の人と将棋をやって楽しめた。(6年) ・ 将棋をやっているうちに友だちがいっぱい増えた。(3年) ・ 2年生に負けたのはくやしかった。(3年) ・ 先生がやさしく教えてくれるから、わかりやすくておもしろい。(2年) ・ もっともっと上手になって、強いおじいちゃんをぬきたい。(3年) ・ まえは将棋で負けっぱなしだったけど、やってたら勝てるようになってきました。うれしいです。(1年) ・ 将棋をやって、色々なルールが学べて、友達とも仲良くできたのでよかったです。(4年) ・ 学校の友達と楽しめるから、ゆうゆうプラザがあるとうれしくなります。これからも続けます。(1年) ・ 最初はイマイチわからなかったけど、うまくなりました。(5年) ・ たくさん将棋をすることで、以前より興味を持ち、以前より少し強くなれたと思います。(6年) ・ 違う学年と将棋ができて楽しいです。(2年) 			
教室名	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」		



		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	10分～数十分
名称	新聞じゃんけん	所要人数	2人～
活動場所等	体育館、余裕教室など		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞を利用するので、材料費がかかりません。 ・ 異年齢、どの学年の児童でも遊べます。 		
準備する物	新聞紙		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1人につき1枚、新聞紙を配る。 ② じゃんけんをする代表者(じゃんけんマスター)を決める。 スタッフの方でもよい。 ③ 新聞紙の中央に立つ。 ④ 参加者はじゃんけんマスターとじゃんけんをする。 ⑤ じゃんけんマスターに負けた児童は、新聞紙を半分に折る。 ⑥ 以降、③からの繰り返し ⑦ 新聞紙(陣地)が小さくなり、その上に乗っていることができなくなって、床に足が着いた時点で負けです。 ⑧ 最後まで残った児童の勝ちです。 <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 材料費がかからない。 ○ ルールが簡単で誰にでも理解できる。 ○ 短時間でも遊べる。 ○ バランス感覚も大切 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ルールが簡単だった。 ○ 陣地が小さくなると立っているのが難しかった。 			
教室名	川口市放課後子ども教室「安行東ときめきひろば」		

		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	15分
名称	一緒にジャンプ	所要人数	3人以上
活動場所等	体育館、校庭		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備運動を兼ねて行え、脳トレにもなる。 ・ 事前準備不要で、短時間のみでも行えるので、活動時間の中で半端に時間が余った際に行える。 ・ 児童に一体感が生まれる。 		
準備する物	なし		
◆内容(作り方、遊び方等)			
① それぞれ他の児童と少し距離をとる。			
② スタッフが「右・左・前・後ろ」の中から、様々な組み合わせで掛け声をかけ、そのままスタッフの手を叩くりズムと掛け声に合わせて、その通りの方向へジャンプする。 (例:スタッフが「前・後ろ・右。ハイッ!」と掛け声をしたら、児童は前・後ろ・右へスタッフの手拍子に合わせてジャンプ) 児童もジャンプする時に、ジャンプする方向を声に出す。			
③ 数回繰り返して、慣れてきたら、近くにいる他の児童と2人組になり、一列に並んで、後ろに並んだ児童が前の児童の肩に両手を置く。 その状態で、②と同様に、スタッフの掛け声に合わせて、2人一緒にジャンプする。			
④ 児童達が飛ぶ方向を間違えなくなり、ジャンプのタイミングがあってきたら、今度は2人組同士でペアになって合計4人で一列になる。			
⑤ ②～④の繰り返しをし、参加児童全員が一列に繋がるまで、続ける。			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャンプする方向は、2～3方向から始めて、慣れてきたら、方向を増やしていく。 ・ 慣れてきたら「右斜め前・左斜め後ろ」なども取り入れると盛り上がる。 			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具を使わずに、事前準備の必要なく手軽に行えるようにした。 ・ 児童同士の連帯感・一体感を育めるようにした。 ・ 低学年だと咄嗟に右左が分からなくなる児童もいるので、声に出し、動くことで体で覚えていくことができる。 ・ 運動の苦手な児童でも楽しみながら参加できるようにした。 ・ 低学年だと、暗記が難しいので、ゆっくり掛け声をかけてあげるようにした。 ・ 安全への配慮から、ジャンプの際に転んで前方の児童が押しつぶされないように配列に注意をし、前に並ぶ児童とも腕で距離を取るよう注意した。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャンプする方向が違っていたり、タイミングがずれるとききれいに飛べなくて悔しいけど、可笑しい。 ・ みんなで一緒になって、体を動かす遊びが出来て楽しい。 			
教室名	さいたま市 大谷小学校「いきいきニョッキーズ」		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	50分
名称	シャボン玉あそび	所要人数	何人でも可
活動場所等	庭(校庭)		
おすすめポイント	液の配合は簡単なので、子どもたちにもできる。 丈夫なシャボン玉用液なので、長い時間見ることができる。		
準備する物	台所用洗剤、洗濯用のり、水、ソフトワイヤー、モール、割りばし、たこ糸、棒(又は園芸用支柱)、虫捕り網、園芸用ネット、ビニール袋		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>☆ フレーム作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ソフトワイヤー(又は園芸用菊の花用ワイヤー)で輪を作り、モールを巻きつけていく。 持ち手として割りばしを付け、ビニールテープで固定する。 <div data-bbox="970 651 1185 864" data-label="Image"> </div> <p>☆ シャボン玉液作り</p> <p>基本は、水8：洗濯用のり5：台所用洗剤 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに洗剤とのりを先に入れさせ、水は加減させるとおもしろい。 その他、色々な道具を使い、遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> 支柱2本とたこ糸2本を結ぶ。 虫捕り網 園芸用ネット プリンカップやカップラーメンの底を抜いた物 <div data-bbox="903 1055 1158 1339" data-label="Image"> </div> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 液の配合をさせてみる。 フレームは園芸用の菊の花用ワイヤーを使うと簡単 フレームに巻くのは、モール以外に毛糸がヒモ、糸など色々な物を巻き付けると面白い。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きなシャボン玉ができて嬉しかった。 シャボン玉がなかなか壊れないで飛んでいった。 			
教室名	東松山市放課後子ども教室「パステルKids」		

		応援団での活用	
分類	遊び・スポーツ	所要時間	90分
名称	ジャンボしゃぼん玉	所要人数	20人～30人
活動場所等	図書室→校庭		
おすすめポイント	ジャンボしゃぼん玉は、満足感がいっぱい味わえます。		
準備する物	台所用合成洗剤、合成せんたくのり(PVA)、水、輪にした針金にタオルを巻いた道具、計量カップ、はさみ、ストロー、紙コップ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>準備の留意点</p> <p>台所用合成洗剤は、界面活性剤の%が大きいものを用意する。 合成せんたくのりはPVAが入っているものを用意する。</p> <p>しゃぼん玉液作り</p> <p>台所用合成せんざい・合成せんたくのり・水を1対5対8の割合で作る。 混ぜるとき、泡が出ないように静かに混ぜる。</p> <p>しゃぼん玉遊び1</p> <p>紙コップにしゃぼん玉液を入れる。 前もって手作りしておいたストローで遊ぶ。</p> <p>しゃぼん玉遊び2</p> <p>大きな器にしゃぼん玉液を入れる。 手作りわっかに液をしみこませる。 ハの字に回したり、走って長いしゃぼん玉を作ったりする。</p>			
		 <p>しゃぼん玉1 手作りストローで</p>	
		 <p>しゃぼん玉2 ジャンボしゃぼん玉</p>	
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> 先を切り開いたストローを3つ4つと合わせることで、しゃぼん玉がたくさん飛んだ。 せんたくのりの代わりにグラニュー糖でもできることを伝え、家での遊びにつなげた。 			
<p>◆児童等の感想</p> <p>大きなしゃぼん玉ができてうれしかった。</p>			
教室名	横瀬町放課後子ども教室		

		応援団での活用	○
分類	遊び・スポーツ	所要時間	60～90分
名称	宿題をやろう！終わったら外で遊ぼう	所要人数	～30名程度
活動場所等	空き教室と運動場または体育館		
おすすめポイント	自由参加で異学年交流が学習面と運動面で出来る子どもの居場所の原点		
準備する物・人	学習指導者、サッカー指導者、地域のボランティア(子ども好きな中高年)		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p><流れ></p> <p>受付 → 宿題・自主学習 → 自主選択 → サッカー / サッカー以外の外遊び / 室内遊び / 引き続き学習</p>			
<ul style="list-style-type: none"> * 子ども教室の受付を済ませた子どもは、順次宿題や自主学習をする。必要時には学習指導員がアドバイス。指導員は学習プリント等も用意している。 * 30分経過したあたりから、学習の進行具合を見つつ… 【サッカーをしたい子】、【他の外遊びをしたい子】に声をかけ、運動場又は体育館へ移動する。 【室内遊び】を希望する子どもは、そのまま残る。(室内遊びは用意しておく) ● サッカー指導員は学年別でチームを考え、試合を行う。雨天や各校の都合で体育館になる時は、ドッジボールに変更する。 ● サッカー以外の外遊びの子どもは、おじさんとボール遊びや“だるまさんがころんだ”などの昔遊びをする。子ども達に提案させると良い。 			
<注意点>			
<ul style="list-style-type: none"> ● サッカー、外遊び、室内遊びへの移行は自由だが、必ず安全管理員にその旨を伝えてからという約束をスタート前に子どもとする。 ● 運動場では、他の子どもも下校後遊んでいるので、「仲間に入れて」という子どもには、子ども教室であることを伝えて、混合しない様にする。子どもにきちんと説明し、子ども教室の登録用紙を見せたり、渡したりすると低学年でも理解する。 ● 放課後子ども教室の参加者であるマークとして、ビブスを着用させる。 (サッカーと外遊びとで色を替えると人数を把握しやすい) 			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ● サッカー指導員は、現役のサッカーチームの研修生でサッカーのテクニックは子どもたちにとって憧れの存在となり、真剣にやっていた。【憧れの存在との触れ合い】 ● 地域のボランティアの方は、子ども好きのおじさんで自由に緩やかな遊びをしてくれるため低学年に人気がある。【親しみやすい存在】 ● 3ヶ所(外遊び2ヶ所、室内1ヶ所)の見守りをする人員確保と配置。※安全管理員を増員した。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ● サッカー選手のお兄さんと一緒に出来て楽しかった。 ● 学校で宿題が終わって良かった。 ● また遊びたい。 			
教室名	和光市放課後子ども教室		



体験・学習



区分	番号	名称	教室名	応援団での活用	ページ
体験・交流系	1	七夕 まこも馬	熊谷市放課後子ども教室「星の子ふれあいビレッジ」	○	72
	2	お茶の世界を体験しよう	和光市放課後子ども教室		73
	3	茶道、着付け教室	幸手市放課後子ども教室	○	74
	4	筆と墨で遊ぼう	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第十小学校)		74
	5	能楽教室	川口市放課後子ども教室「飯仲いきいきひろば」		75
	6	流しそうめん大会	三郷市放課後子ども教室「わくわく皆みずぬま」		76
	7	焼き芋パーティー	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		77
	8	大根作り	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		78
学習系	9	数字パズル(やさしい数独)	深谷市桜ヶ丘小学校がんばル〜ム	○	79
	10	おもしろ数字	横瀬町放課後子ども教室		80
	11	そろばん教室	幸手市放課後子ども教室	○	80
	12	ミュージックベル教室	熊谷市放課後子ども教室「別府ふれあいスクール」	○	81
	13	楽しい音楽<クレッシェンド>	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」	○	82
	14	英語で遊ぼう	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」	○	83
	15	モールヘビを踊らせる	久喜市放課後子ども教室「あおげっ子ゆうゆうプラザ」		84
	16	アラゴの円板	久喜市放課後子ども教室「三箇ゆうゆうプラザ」		85
	17	ハンドパワーボトル(浮沈子)	蕨市立南小学校区放課後子ども教室		86
	18	日光写真	鴻巣市立鴻巣北小学校放課後子ども教室	○	87
	19	ダンゴムシの迷路脱出	鴻巣市立鴻巣東小学校放課後子ども教室		88

分類	体験・学習	所要時間	90分
名称	七夕 まこも馬	所要人数	25人程度(指導者10人程度)
活動場所等	多目的教室		
おすすめポイント	地域に伝わる伝統の七夕飾り「まこも馬」が体験でき、指導者を長寿会の方をお願いしているので、世代間交流ができます。		
準備する物	まこも・編んだ縄・はさみ		

◆内容(作り方、遊び方等)

『まこも馬』の作り方

① まこもとは、水田の用水や沼地に生えている葦科の植物です。刈り取ったら天日で1週間ほど青く干し上げます。

①



② まこもを2本ほど束にし、中心から半分に折り曲げ頭と前足を作ります。馬首にまこもの茎を利用して、たて髪をからげていきます。たて髪は7本強く巻きつけ下部は前足となります。

②



③ 前足の付け根を縄で結び足を開きひざの部分、ひづめの部分にも縄を結びつけます。

③

まこも2本を半分に折り左右の前足にそれぞれ挟んで胴体とします。



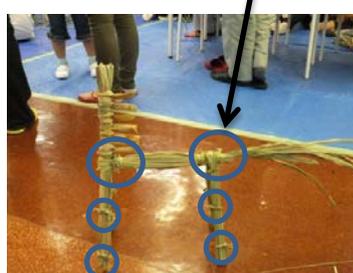
④ 後ろ足を2本作ります。まこもを2本半分に折り左右の胴体に挟みひざの部分、ひづめの部分に縄を結びつけます。後ろ足の付け根に縄を結びます。

④



はさみで足の長さ、尾の長さを整えて完成です。

縄で結ぶ



まこも馬とは、七夕のお飾りです。

雄と雌を作り縄でつなぐのは、ひこぼし様とおり姫様が会えますようにと願いが込められているそうです。

◆工夫したところ

児童が飽きないように4・5人のグループに2人の指導者についてもらい声かけを大切にしました。代用するなら、まこもは稲わら、編んだ縄は造園用のシュロ縄等を使用するとよいと思います。

◆児童等の感想

たて髪をつけるのが難しかったけど、おばあちゃんに手伝ってもらって上手に出来ました。まこものいいにおいがしました。

教室名	熊谷市放課後子ども教室「星の子ふれあいビレッジ」
-----	--------------------------

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	60～90分
名称	お茶の世界を体験しよう	所要人数	18名程度
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	本格的茶道を五感で体験できる。静の世界を学べる。		
準備する物・人	茶道具一式、8畳分のござ、人数分の金平糖(ようかん等でも良い)、茶道指導者		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>＜初めて開催する茶道教室＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 茶道の流派、茶道用語、先生の名前を黒板・ホワイトボード等に、分かりやすく書いておく。 ② 先生の紹介後、少し茶道の話をしてもらい、お手本をみせてもらう。 ③ 円陣になり、先生の点てたお茶を飲む。(作法と抹茶を体験) その時には、サポートする指導者2名が飲む時の簡単な作法を指導する。 ④ もう一度、体験したい子(ほとんど全員が手を挙げる)が再度体験する。 ⑤ 足をくずし、リラックスしながら先生への質問や感想を述べる。 ⑥ 礼儀正しく挨拶をし、先生方へ感謝の言葉を伝える。 			
			
<p>＜2回目に開催する茶道教室(自分でお茶を点ててみよう)＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 前回同様に、茶道の流派、茶道用語、先生の名前を黒板・ホワイトボード等を書く。 ② 先生のお手本を見た後、3つのグループに分かれる(各グループに指導者がつく) ③ 一人一人茶碗に抹茶を入れ、茶せんで立て、自分で立てたお茶を飲むか、隣の人に立ててあげるかグループごとに進めていく。普通はひとり2回体験する(自由選択) ④ リラックスして、各指導者とお茶の会話を楽しむ。 ⑤ グループを解除し、円陣になり、先生方へ感想・質問をする。 ⑥ きちんと礼儀正しく挨拶をして、感謝の言葉を伝える。 			
			
<p>【重要】</p> <p>茶道の先生に子どもを対象に体験させたい意向を伝え、基本は大人と同じで細かい作法をどう進めていくかを十分に話し合い、相互理解を深めておく。</p> <p>日本の伝統文化を小学生に伝承していこうという体験学習の意向を同じくする。</p>			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ● 抹茶は苦いので(先生が高級な抹茶を使用しているので、さほど苦くはないが)、飲む前に甘いものを口に入れなければならない。衛生上、個別包装の金平糖を選んだ。 ● グループに分ける際、学年と性別を考慮して事前に分けておいた。 ● 長時間の正座と沈黙は、子どもにとって苦痛となりかねないので、途中で足を伸ばさせる等のリラックスタイムをとった。 ● 抹茶は子どもにとって濃いので、水(ミネラルウォーター)を用意した。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ● 抹茶が甘かった。 ● 難しいと思ったけど、楽しかった。 ● 苦いと思っていたけどおいしかった。 ● また、やりたいと思った。 			
			
教室名	和光市放課後子ども教室		

		応援団での活用	○
分類	体験・学習	所要時間	60分
名称	茶道、着付け教室	所要人数	20人程度
活動場所等	空き教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀、作法を教わることができる。 ・ お茶を立てたり、お菓子を楽しむことができる。 		
準備する物	浴衣、帯（費用：300円）		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 空き教室内をお茶会のできる空間にする。 ② 着付けの先生の指導を受け、子ども達は浴衣に着替える。 ③ お茶の礼儀、作法(おじぎのしかた、あいさつなど)を教わる。 ④ お茶、お菓子のいただき方を教わる。(実際に飲食を行う) ⑤ お茶の立て方を教わる。(体験) <p>◆工夫したところ</p> <p>お湯は本来、炭を使って沸かすが、教室内では炭は使えないので、あらかじめお湯を電子ポットで持ち込み、茶釜にお湯を入れた後は、釜のお湯が冷めないよう、炭の代わりに電熱器を使った。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浴衣を着ることができてうれしかった。 ○ お茶を立てるのがおもしろかった。 ○ あいさつの大切さがわかった。 			
教室名	幸手市放課後子ども教室		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	120分
名称	筆と墨で遊ぼう	所要人数	25人程度
活動場所等	空き教室等(水道が使える場所がふさわしい)		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年年齢に関係なく楽しめる。 ・ 上達を感じて、成長を楽しむことができる。 		
準備する物	大字用の紙、筆、下敷き等		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>講師の指導の下、習字の上達よりも、字を書くことを楽しんでもらえるよう取り組んだ。</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市内の書道教室を運営している方に講師を依頼し、指導や進め方はお任せした。 ○ ただの書道になってしまわないよう、木の板に字を書いたり、大字に挑戦する等様々な趣向を凝らして行った。 ○ 最後の教室の際に、保護者にも参加してもらい、大字に挑戦してもらった。参加者児童にも保護者にも好評を得た。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 字を丁寧に書くように心がけられるようになってよかったです。大きな紙に書けて楽しかったようです。(参加児童の親より) ○ 墨で絵を書いたり、大きな筆を持たせていただいたり、毎回本当に楽しそうでした。(参加児童の親より) ○ 板や大きな紙に書く、学校ではあまりできない事をやって楽しかったです。(参加児童より) 			
教室名	朝霞市放課後子ども教室(朝霞第十小学校)		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	80分
名称	能楽教室	所要人数	109名(児童参加人数)
活動場所等	体育館		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや、親に传统文化のすばらしさを伝えられる。 「飯仲いきいきひろば」の保護者の方にも参加して頂き、「飯仲いきいきひろば」の事業の意義や必要性を知って頂き、ボランティアの登録をして頂くきっかけづくりの場 		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> 講師の打合せ 講師着替え室・長いテーブル1脚 		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>(趣旨)</p> <p>私達の国の長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた传统文化を、子どもたちが歴史・伝統・文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育てて頂ければと思い、企画いたしました。</p> <p>(講師)</p> <p>金春流能楽師 山井 綱雄(やまい つなお)先生</p> <p>(プロフィール)</p> <p>1973年(昭和48年)生まれ。 横浜市出身。 シテ方金春(こんぱる)流※能楽師。 故梅村平史朗(シテ方金春流能楽師)の孫。 ※「山井綱雄」先生は、能のシテ方(主役の事)には5つの流儀があり、そのうちの一つの流派である「金春流(こんぱるりゅう)」の能楽師です。 「金春流」79世宗家・金春信高、80世宗家・金春安明に師事。 「金春流」は、聖徳太子の時代から現在まで1400年以上継承されている最も古い流派。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 能の説明 ○ 能の実演 ○ 能面・太鼓の実演、体験 ○ 着物の体験 			
<p>◆工夫したところ</p> <p>「飯仲いきいきひろば」登録児童の保護者の方にも参加して頂き、「飯仲いきいきひろば」の事業の意義や必要性を知って頂き、ボランティアの登録をして頂くきっかけづくりをしたこと。</p>			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に能面をつけたり、着物を着たり出来てよかった。 ○ 能を生で見られて良かった。 			
教室名	川口市放課後子ども教室「飯仲いきいきひろば」		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	90分
名称	流しそうめん大会	所要人数	50名くらい
活動場所等	調理室、広場		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年からでも簡単にできます。 ・ 親子で参加することにより親子の絆も深まります。 		
準備するもの	鍋、お椀、ざる、脚立、机、雨どい(プラスチック)、そうめん、キュウリ、ゼリー、めんつゆ、大葉、うどん		
◆内容(作り方)			
(そうめん・うどんの麺づくり)			
① 簡単に作れるようあらかじめ、ゆでるのみの麺を用意する。			
② ゆでた麺は、すぐに冷やしボールなど持ち運びしやすい容器に移しておく。			
③ キュウリ、大葉などの薬味を切ってお皿に用意しておく。			
(会場づくり)			
※ ①、②、③の行程と同時進行で、青少年ボランティアのスタッフと会場説明を行う。			
① プラスチック製の雨どいを、複数つなげて補強をする。			
② きれいに流れるよう、高台から斜めに土台を作り、雨どいを固定する。			
(流しそうめん体験)			
① 会場設営と材料作りが完成したら、順番並びに遊び心を持って体験する。			
② 児童の自主性を重視し、特に順番を決めず、譲り合って行うようにした。			
◆工夫したところ			
○ 高校生や大学生の青少年ボランティアに協力してもらいお兄さんお姉さんと一緒に体験したり、一緒に遊んで、夏の暑さにも負けない雰囲気作りを心掛けた。			
○ 参加者が思いやりを持って体験できるよう、とくに順番や制限を決めず譲り合って体験した。			
○ そうめんやうどんだけでなく、一口ゼリーを流して、さらに楽しんでもらうようにした。			
◆児童等の感想			
○ はじめて体験したけど、とても楽しかった。			
○ 普段できないことなので、またみんなでぜひやりたいです。			
○ そうめんがそんなに好きではなかったけど、今日で好きになりました。			
○ 前からやりたいと思っていたけど、実現できてよかった。スタッフの人もやさしくて楽しかった。			
教室名	三郷市放課後子ども教室「わくわく岩みずぬま」		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	120分
名称	焼き芋パーティー	所要人数	～40人
活動場所等	学校近くの田んぼ		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校庭の枯葉・枯れ枝を拾うことで、校内美化につながる。 ・ 火の大切さ、有難さを学びます。 		
準備する物	さつまいも・キッチンペーパー・アルミホイル		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>■ 作業の手順</p> <p>① さつまいもを洗う。</p> <p>② キッチンペーパーを水で濡らし、さつまいもを包む。</p> <p>③ アルミホイルでさつまいもが見えなくなるよう、しっかりと包む。</p> <p>④ 校庭の枯れ枝・枯葉を集める。 ※ ドングリは火に入れると弾けるので入れない。</p> <p>⑤ さつまいもを並べ、落ち葉をかぶせて焼く。</p>			
			
			
			
◆工夫したところ 校内美化を兼ねて、校庭の落ち葉拾いをしました。			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・ さつまいもがホクホクして美味しかったです。 煙が目に入って涙がたくさん出ました。 ・ 火の近くに行くと、顔まで熱くなりました。 さつまいもは甘くておいしかったから、またやりたいです。 			
教室名	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	3か月間
名称	大根作り	所要人数	～40人
活動場所等	学校農園ほか		
おすすめポイント	食育について学びます。		
準備する物	大根の種・肥料等		
◆内容(作り方、遊び方等)			
① 畑づくり	畑を耕し、肥料をまきます。 畝を作り、種をまきます(1つの穴に3個の種)		
② 間引き	芽が出てきたら、間引きをします。		
③ 水やり	毎日、高学年が当番で水やりをします。		
④ 追肥・草むしり	活動時間内にみんなで行います。		
⑤ 収穫	約3か月後・・・みんなで収穫します。		
⑥ 収穫後は	豚汁を作りました。 おでんを作りました。 お土産に家庭に持ち帰りました。 学校行事で使用しました。		
			
			
			
◆工夫したところ			
①	畑づくり・栽培・収穫と一連の作業を皆で行います。		
②	収穫後は調理をして、皆でいただきます。		
③	地域の農家の方との指導・協力をお願いしました。		
④	収穫後、さまざまな活動(料理)に使用しました。		
◆児童等の感想			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種を植えて3か月で大きな大根に育った。 みんなで食べたおでんはとてもおいしかった。 ・ 大根を収穫しました。 僕の足よりもずーっと太い大きな大根でした。 		
			
教室名	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		

		応援団での活用	○																																									
分類	体験・学習	所要時間	1題1分から10分くらい																																									
名称	数字パズル(やさしい数独)	所要人数	何人でも可																																									
活動場所等	教室等																																											
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間でできる。 ・ 覚えるルールが簡単 ・ 年齢に応じて問題が作成できる。 																																											
準備する物	鉛筆、消しゴム																																											
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>(問題作成)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ソースネクスト社で販売しているパソコンソフト「数字パズル」で問題を作成しています。 ② 新聞の日曜版等に掲載されている数独(1～9)のやさしい問題です。 ③ 本校で実施している問題は、(1～4)【入門・初級】、(1～6)【入門・初級】が多いですが、時には(1～8)【入門・初級】も出題することがあります。 <p>(ルール・遊び方等)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ルールは、縦・横及び四角の中の数字が、異なる数字で重ならないように配置します。 ただし、斜めは重なっても可。 ② 数字の配置を考えさせるために、良いトレーニングだと思います。アメリカでは認知症のリハビリに利用しているとも聞いています。 ③ 問題の作成ソフトは、無限に近い問題ができるので、在学中に同一問題になることはないと思います。 ④ (1～4)の入門問題の解答例です。 <p>(問)</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td></td><td></td><td>3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>4</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>4</td><td></td></tr> </table> <p>(答)</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>4</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学期の最初と最後に実施しており、開始してから数年になります。 ・ 数字パズル以外に、迷路や図形パズル(タングラムに類似したやさしい問題)等も時々実施しています。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高学年は、とても簡単・簡単すぎるとのことだった。 ・ 子供たちは、それなりに問題の解答を楽しんでいたようです。 <p>教室名</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>深谷市桜ヶ丘小学校がんばんルーム</td> </tr> </table>						3			4			3				4		1				4			2	3	1	1		4	1	3	2		3	4	2	1		1	2	4	3	深谷市桜ヶ丘小学校がんばんルーム
		3																																										
4			3																																									
		4		1																																								
			4																																									
	2	3	1	1																																								
	4	1	3	2																																								
	3	4	2	1																																								
	1	2	4	3																																								
深谷市桜ヶ丘小学校がんばんルーム																																												

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	60分
名称	おもしろ数字	所要人数	20～30名
活動場所等	図書室		
おすすめポイント	数の不思議な世界に触れることで、算数が苦手な子も興味がわく効果あり。		
準備する物	プリント、12桁の計算機をグループに1台		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>おもしろ数字1</p> <p>① 12345679×9 ② 12345679×18 ③ 12345679×27 以下36、45、54など9の倍数をかける。 ①は答えが11111111となる。</p>		<p>おもしろ数字2</p> <p>① 12345679×3 ② 12345679×6 ③ 12345679×12 以下15、21など9の倍数ではない、3の倍数をかける。 ①は37037037と規則正しく数字が並ぶ。</p>	
<p>おもしろ数字3</p> <p>① 987654321×9 ② 987654321×18 ③ 987654321×27 以下36、45、54など9の倍数をかける。 ②は1777777778、③は2666666667のようにかける数が両端に現れる。</p>			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> 大きな用紙も用意し、速くできたグループに答えを書かせ答え合わせをした。 計算機の扱いが初めての子もいるので、扱い方について前もってよく注意した。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> 数字のマジックみたいだった。 計算機が使えて楽しかった。 			
教室名	横瀬町放課後子ども教室		

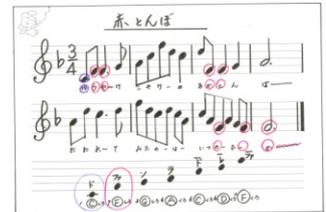
		応援団での活用	○
分類	体験・学習	所要時間	60分
名称	そろばん教室	所要人数	20人程度(4～6年生)
活動場所等	空き教室		
おすすめポイント	計算ができるようになる。		
準備する物	そろばん (費用:無料)		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<ul style="list-style-type: none"> そろばんの使い方(たまのはじきかた)の指導 ↓ 実際に問題を計算してみる。 			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の授業でそろばんの経験のある4～6年生を対象とした。 ○ そろばんの使い方には個人差があるので、複数の指導者が携わることによって、ついていけない子ども達がでないように配慮した。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ○ はじくのが難しかったが、楽しかった。 ○ 計算した答えがあっという間であってうれしかった。 			
教室名	幸手市放課後子ども教室		

		応援団での活用	○
分類	体験・学習	所要時間	120分×2回～5回
名称	ミュージックベル教室	所要人数	5～50人程度(1グループ5～8人程度)
活動場所等	空き教室、公民館等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノ等を習っていない子でも誰でもできます。 ・ 学年(年齢)に関係なく音楽作りを楽しむことができ協調性が生まれます。 		
準備する物	楽譜、鉛筆、色鉛筆		

◆内容(作り方、遊び方等)

《楽譜作り》

- ① 初心者や低学年は、なじみのある曲(赤とんぼ、キラキラ星)等の歌詞付きの楽譜を用意する。また、その曲に音がいくつあるかを調べておく。
高学年はミュージックベル専用楽譜で和音のあるものも可。
- ② 1曲の音の数を5人～8人程度で音が出せるように分け、その数だけ楽譜をコピーする。
低学年は一人一個ずつベルを持つようにしたり、中学年以上は両手にベルを持てるよう音分けをしたりすると良いと思う。
- ③ 分けた音をミュージックベルの記号に直し、楽譜1枚ずつに記入しておく。(人数分)
- ④ 子供たちに楽譜を配る。
- ⑤ 配られた楽譜を見て自分の鳴らす音に鉛筆で○を書かせる。
- ⑥ 上手に○が付けられたかどうかの確認。さらに演奏しやすいように色鉛筆で○をしっかりと書かせる。



《演奏練習》

- ① 子供たち一人一人にどの音でも良いから、ベルを持たせる。
- ② ベルの持ち方、音の出し方、止め方、音の長さを教える。
- ③ 曲ごとのグループに分かれ、ベルを持たずに歌を歌いながら、自分の音がきたら手を動かしてベルを鳴らせるよう練習する。
- ④ グループのみんなが「できる」と実感できたところから、ベルを持って音を出す練習を繰り返す。
- ⑤ ある程度、曲に合わせてベルが鳴らせるようになったら、ミニ発表会形式にして、自分たち以外の演奏を見たり聴いたりさせる。



《演奏発表》

- ミュージックベル・・・「赤とんぼ」「キラキラ星」「小さな世界」「星に願いを」「ミッキーマウスマーチ」「星の世界」
- 全員合唱・・・「校歌」「語り合おう」「マル・マル・モリ・モリ」「雨ニモマケズ」



◆工夫したところ

- 地域で行われるキャンドルナイトや七つのお祝いなどに出演できるように交渉して、多くの人に演奏を聴いてもらえるようにした。またそのイベントが中止の場合でも学校の体育館を借りて発表会をするなどし練習の成果を保護者に見てもらえるようにした。
- ミュージックベルだけでなく合唱の練習を取り入れた。
- キャンドルナイトのイベントに参加する時は、子供たちにペットボトルを使ったエコを意識した灯ろう作りをした。



◆児童等の感想

- 普通の音階をミュージックベルの記号にした楽譜に○をつけたり、自分のベルを探すのが少し難しかったけど、講師の先生に教えてもらって、上手に演奏できて楽しかった。
- ベルの音はとってもきれいだった。高学年になったら、和音の難しい曲にチャレンジしたい。

教室名 熊谷市放課後子ども教室 「別府ふれあいスクール」

分類	体験・学習	所要時間	60分～75分
名称	楽しい音楽<クレッシェンド>	所要人数	何人でも
活動場所等	音楽室		
おすすめポイント	大きな声で歌うことにより、元気になり、笑顔いっぱいになれる。		
準備する物	ピアノ等(ない場合はテープでも)		

◆夏祭りのステージ発表に向けて

夏祭りのステージは野外なので、パフォーマンスを重視し、「ドレミのうた」、「南の島のハメハメハ大王」、「笑顔がかさなれば」を選曲し練習を重ねています。

① ドレミのうた♪

何度か歌い慣れてきたら、子どもたちと話し合いながら簡単な振りをつけてみる。

② 南の島のハメハメハ大王♪

- ・ 調子の良い曲なので夏にはピッタリ。
- ・ 1番から4番まで、4枚の絵を子どもたちに描いてもらい、掲げながら歌う。



③ 笑顔がかさなれば♪

- ・ 有名な曲ではないが、フレーズが覚えやすく元気いっぱいの曲。
- ・ 後半は手拍子や手をつないだりする振りがあり、喜ばれる。
- ・ 初めての子どもたちがいることや、1年生から6年生までの子どもたちが交流し、活動していくうえで、とりかかりにふさわしい。



「糸車」

講座の最後にこれを歌い踊って終了する。

参加児童が39名いるので、3重の円を作る。

1重目が右に進むと2重目は左に、3重目は右に進む。

音楽に合わせて移動し、小さく寄ったり、大きく開いたりしながらギャロップのステップで終わる。

子どもたちはこの曲が大好きで、毎回リクエストが出るほど。



◆工夫したところ

- ・ 1年生から6年生と年齢が離れているため、選曲に工夫を凝らしている。
- ・ 低学年にあわせながら、慣れてきたら2部にしたり、振りをつけたりと1曲の幅を広げるように努めている。
- ・ 上手な歌をめざすのではなく、歌いたくなる環境づくりを理想としている。
- ・ 歌うことで、ワクワクする気持ちや大きな声で歌う喜びを感じられるように、そのうえで協調性が育つように常に指導を心がけている。

◆児童等の感想

- ・ クレッシェンドをやって歌が好きになりました。家でも歌を歌って楽しく毎日が過ごせます。(4年)
- ・ みんなで歌を歌うのが楽しいです。これからも新しい歌をおぼえたいです。(1年)
- ・ クレッシェンドに入っている歌えたりステージ発表をしたり、とっても楽しいです。月曜日が大好きです。(4年)
- ・ 歌やパーカッションを教えていただいてありがとうございます。みんなで歌うと楽しいです。(1年)
- ・ わたしは歌が大好きで、歌うと踊りたくなって楽しい。(1年)
- ・ 知らない歌や新しい歌を教えてもらって、みんなと歌うことが楽しいです。(1年)

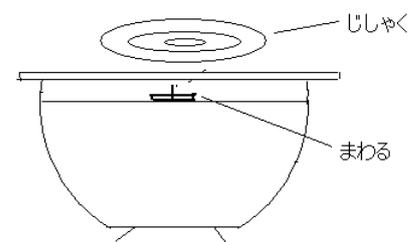
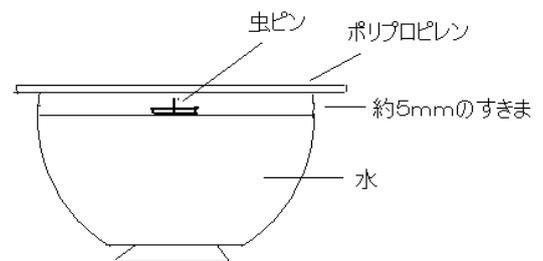
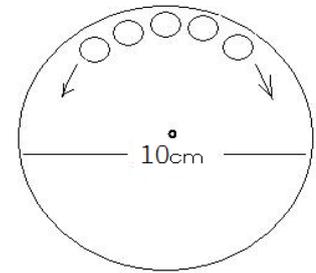
教室名	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」
-----	---------------------------

		応援団での活用	○
分類	体験・学習	所要時間	60分～75分
名称	英語で遊ぼう	所要人数	10人程度
活動場所等	余裕教室等		
おすすめポイント	初めて英語に触れる小学生に、英語に親しみ、楽しんでもらうところからスタート。		
準備する物	参考教材(「CD-ROMブック英語絵カード集400」=アルクキッズ英語編集部編) ホワイトボードとマーカー		
<p>◆講座のねらい</p> <p>初めて習う外国語は、最初の印象が大事と考えます。 そこでホワイトボードを使用し、アルファベットの読み書きを反復練習し、その後、絵カード(動物&アルファベット、食べ物・飲み物・数字・おもちゃ・文具など)を使用し、遊びながら英語に慣れ親しんでもらうことを目的にしています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>◆遊び方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ホワイトボードにアルファベットを書き、講師の発声に従って児童も発声する。 2 講師が指す文字を発声する。 3 児童が、ホワイトボードに発声しながら文字(アルファベットの大文字・小文字)を書く。 4 児童に集中力がなくなったら、絵カードを使って遊ぶ。 			
<p>◆工夫したところ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 週1回(時には2週間に1回)の講座なので、毎回講座の最初はアルファベットの発声及び書き方の反復練習を行っている。 2 絵カードを使って遊ぶ場合、参考教材の遊び方ガイドを利用している。 			
<p>◆児童等の感想(児童の感想原文の一部を漢字に直しています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語ですごろくがとても楽しかったです。パズルもとても楽しかったです。英語が楽しいです。(1年) ・ 英語が覚えられて良かったです。パズルをやっておもしろかったです。たくさんあるといいなあ。(1年) ・ はじめは、はずかしくて手をあげられなかったけど、なれてきたから、たくさんあげられるようになりました。(1年) ・ ちがう学年とおともだちになれて、とても楽しくならうことができました。(1年) ・ ゆうゆうの英語はとても楽しいです。やっている、学校ですぐに思い出せるのでいいと思いました。(2年) ・ ぼくはゆうゆうプラザの英語をいつも楽しみにしています。(2年) ・ 英語がとっても楽しいです。英語を書くのが楽しいです。英語をもっとがんばりたいです。(2年) ・ ゆうゆうの英語のかるたが楽しかったです。(2年) ・ ゆうゆうプラザの英語で遊んだことや学んだことをこれから一生懸命いかしていきます。(3年) 			
教室名	久喜市放課後子ども教室「けやきっ子ゆうゆうプラザ」		

		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	75分
名称	モールヘビを踊らせる	所要人数	20人～30人
活動場所	理科室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短時間で出来て低学年でも遊べる。 ・ 「おもしろ理科実験」の講座の中で、「声と振動」を学ぶ。 		
準備するもの	紙コップ(210mm用)、モール、カレンダー用紙、のり、エンピツ、ハサミ、板目厚紙、セロテープ		
<p>◆内容</p> <p>1. 作り方</p> <p>☆ 紙コップ踊り場を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙コップの側面に、長さ4cmの切込みを十文字に入れ、外側に折り返して四角い窓をつくる。 ・ 別に、使用済みカレンダー用紙を使って、直径3cm、長さ10cmの紙筒を作り、この窓に差し込みセロテープで固定する。 ⇒ 紙筒は5mm程度差し込み、すき間があっても影響は無い。 ・ この紙筒から「あ～」と声をかけると、紙コップの底が振動する。 ・ 声を効率的にカップの底に伝えるために、板目厚紙で直径73mmの円板を作り、紙コップの口部にセロテープで貼る。 ・ 紙コップの側面に好みのシールを貼ると個性が出せる。(右上図) <p>☆ モールでヘビを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モールを長さ7cmに切り、指やエンピツに巻いて円形を作りその上に「トグロを巻いたヘビ」を作る。(右中図) ・ 円形の部分は出来るだけ平らにした方が安定する。 ・ ヘビを紙コップの底に置き、筒から「あ～」と声出すとヘビが踊る。 ・ モールで円形を作るとき、巻き方を反対にすると、回転する方向が逆になるのが面白い。 <p>2. 遊ぶ</p> <p>☆ 1人で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘビを1匹載せて、出来るだけ速く踊らせる。 ・ ヘビを2匹以上載せて、相撲を取らせる。 <p>☆ 2人以上で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちはマイ紙カップ、マイヘビを作り、練習した後ホーム&アウエー方式で、お互いの紙コップ踊り場で、お互いが作ったヘビを持ち寄って相撲を取らせる。 ・ 勝敗はヘビの回転が速いか、長い時間回っていた方を勝ちとする。 ・ 星取表を作ると、数人で遊ぶことが出来る。 ・ ヘビの回転方向が異なる対戦では、面白い戦いとなるので、事前の作戦を立てることも有効である。 <p>※ 参考：おもしろ実験・ものづくり事典 左巻健男 内村浩（東京書籍）</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ヘビをただ廻すだけでは子どもたちはすぐに飽きてしまうので、ヘビを対戦させた。 ○ 自分の踊り場と自分のヘビを作ることにより、対戦して勝てるヘビや声の出し方が工夫される。 ○ 対戦用のヘビは、底辺の円周：15～20mm以内、高さ：25mm以上の条件を設けた。 ○ 紙コップを270mmと大きくしたり、ヘビの条件を変えることで、よりエキサイティングな戦いが出来る。 <p>◆注意すること</p> <p>続けて声を出すと酸欠状態になるので、連続して声を出す時間は5秒(5つ数える)以内とした。</p>			
教室名	久喜市放課後子ども教室「あおげっ子ゆうゆうプラザ」		



		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	30分
名称	アラゴの円板	所要人数	1～2人
活動場所等	空き教室		
おすすめポイント	だれでも作れます。 そして、すぐ動く円板		
準備する物	1円玉 10～15枚、ファイルケース(ポリプロピレン)、接着剤、ラーメンどんぶり、はさみ、虫ピン		
◆内容(作り方、遊び方等)			
① 直径10cmのポリプロピレンの板(ファイルケース)に1円玉をすきまなく接着剤を使用し接着する。円板の中心にキリで穴をあける。			
② ラーメンどんぶりに水を一ぱい入れる。			
③ どんぶりの水の上に円板をしずかにのせる(表面張力でうく)。			
④ どんぶりの上にポリプロピレンの板をのせる(中心に虫ピンを接着剤でつける)。			
⑤ 虫ピンと円板の中心の穴と合わせどんぶりの上のにのせる。			
⑥ どんぶりの中の水の動きがなくなったら			
⑦ どんぶりの上(ファイルケース)から1円玉の上をじしゃくで回す。			
⑧ じしゃくの強弱で回転する早さがちがう。			
◆工夫したところ 軽い円板を作ること。 接着剤などなるべく少なく。			
◆児童等の感想 一円玉はじしゃくにつかないのになぜ回転するのか。 家族(祖父、祖母、父、母)にみせてあげたい。 好奇心を持ち、物言を観察する力を身につけた。			
教室名	久喜市放課後子ども教室「三箇ゆうゆうプラザ」		

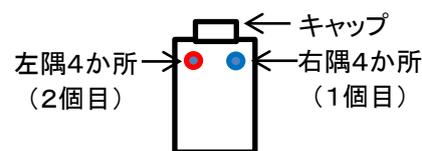


		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	45分
名称	ハンドパワーボトル(浮沈子)	所要人数	20人～30人(1グループ5～6名)
活動場所等	図工室		
おすすめポイント	ペットボトルの中の空気が外から押されると内圧が高くなりたれビンが沈んだり回転したりする。		
準備する物	ペットボトルキャップ付(透明でくびれの無い物)1本、角小たれビン2ヶ、カラーゼムクリップ8ヶ、ヒートン2ヶ、		

◆内容(作り方、遊び方等)

(浮沈たれビン作成)

- ① たれビンのキャップ2ヶの中心部を錐にて穴をあける。
- ② 開けた箇所に、ヒートンを底までねじ込む。
- ③ ヒートンのカールした部分に、カラーゼムクリップを、各4ヶ吊る。
- ④ たれビン一個目の右上隅4か所に錐にて穴をあける。
- ⑤ たれビン二個目の左上隅4か所に錐にて穴をあける。
- ⑥ たれビンに水を入れ浮力の調整をする。



<たれビン>

(動きの確認)

- ① ペットボトルに水を入れ浮沈たれビンを2ヶ入れる。
- ② 沈まず、浮きすぎず、キャップを閉め空気を調整しながら動きの確認をする。
- ③ 正常な動きは、ペットボトルの中間部を手で押すとたれビンが2ヶ沈み、沈んだ状態で押したり緩めたりすると、左右の隅にあけた穴の関係でそれぞれが左右に回転する。
- ④ 浮き、沈みの調整は、たれビン内の水と空気とクリップの重さ、ペットボトルの形状等の関係で一定の決まりはなく調整を繰り返すことが必要です。



◆工夫したところ

- ① たれビン左右4隅の穴あけ位置を間違える生徒が多く、事前に目印を付けた。
- ② 1. 2年生は、ペットボトルの種類によっては押しきれず指導員が動きの確認をした。

◆児童等の感想

制作当日は、事前に各自ペットボトルを持参し未知の工作に各教室は盛り上がっていたようです。浮沈たれビンの動きは、一回で正常に動く子や何度も調整をしゃっと動いた子も多かったが、皆一応に「やった～」の歓声をあげていました。

教室名	蕨市立南小学校区放課後子ども教室
-----	------------------

		応援団での活用	○
分類	体験・学習	所要時間	90分
名称	日光写真	所要人数	20人～30人
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	カメラやコピー機がなくても、自分で描いた絵やイラストなどが簡単に写せる、不思議で楽しい遊びができる。		
準備する物	ハサミ、定規、セロテープ、段ボール、工作用紙、ガムテープ、マジック、透明シート、トレーシングペーパー又は上質紙、ブルネオジアゾ感光紙、ラミネーター、ネガ用イラスト		
<p>◆内容（作り方、遊び方等）</p> <p>（フレームの作成）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 15cm×17cmに切った段ボール、工作用紙、透明ファイル（透明シート）を用意する。 2. 工作用紙の周囲2cmを残して、中を四角く切り取る。 3. 切り取った工作用紙の枠を、段ボールに重ねて、工作用紙の枠の内側の四隅を段ボール上にマークする。 4. マークに合わせて、切り取った四角い工作用紙を貼り付ける。 5. 工作用紙の枠に透明シートをセロテープか両面テープで貼る。 6. 工作用紙の枠に装飾をする。 7. ガムテープで、段ボールに装飾した枠を取り付ける。（1辺は全面を固定し、その反対側は開閉できるようにガムテープを貼る。 <p>（ネガの作成）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トレーシングペーパーや上質紙に好きな絵を描く。（黒のネームペンなどがよい。）子どもが好きなようなイラストなどを印刷しておくのもよい。 2. 模様の印刷された包装紙を切ったものを並べたり、植物の葉を並べたりしてデザインしても面白い。 <p>（遊び方）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フレームの中に感光紙を置き、その上にネガを重ね、透明シートのカバーをして、感光紙とネガをずれないようにする。 2. 日光のあたる場所にフレームを置き、感光紙が白っぽくなるのを待つ。（フレームを開けて確認する場合は、ネガと感光紙がずれないように注意する。） 3. ラミネーターに感光紙を通して定着させる。（天気によって感光の時間が異なるので、何回か繰り返しながらちょうど良い時間を見つける。） <p>（留意点）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日没が早い時期は、放課後子ども教室の活動には適さない。（電気の光で行うこともできる。） 2. 感光紙は、机上に放置すると感光して使えなくなるので、光に当てないよう子どもに指導する。 3. 家庭で行う場合は、ラミネーターの代わりにアイロンで定着させる。（火災ややけどの恐れがあるので、子どもだけで行わないよう指導する。） <p>◆工夫したところ</p> <p>感光紙以外は身近な素材を使い、低学年の児童でも1時間30分の放課後子ども教室で簡単に作って遊べるようにした。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 別の紙（感光紙）に絵が写るのが不思議だった。最初は、薄くしか写らなかったけど、何回かやったら濃い紫のができてうれしかった。 ○ 家でもやってみたいけど感光紙はどこで売っていますか。家にラミネーターがないけどどうしたらいいですか。 			
教室名	鴻巣市立鴻巣北小学校放課後子ども教室		



		応援団での活用	
分類	体験・学習	所要時間	100分
名称	ダンゴムシの迷路脱出	所要人数	20人～40人程度(1グループ6人程)
活動場所等	空き教室(理科室等)		
おすすめポイント	学年に関係なく楽しめます。(ダンゴムシの習性にびっくり)		
準備する物	工作用紙、鉛筆、はさみ、木工ボンド、ダンゴムシ(元気なもの3ひき程度)		

◆ 内容(作り方)

(迷路作り)

- ① 工作用紙に、迷路を描く。迷路の幅は、1cmする。
- ② 1cm幅に切り取った工作用紙で、迷路の壁を作る。
木工ボンドで丁寧に貼り付ける。
下地の工作用紙にダンボールなどで補強をするとよい。



◆ 遊び方

- ③ → の入り口に元気なダンゴムシを置き、●の出口までのタイムで競う。又は、リーグ戦でタイムを競うのも面白いです。
ダンゴムシは、庭の鉢などの下にいます。



◆ 工夫したところ

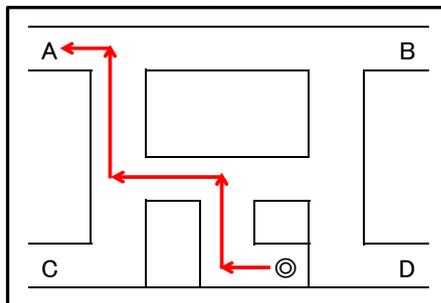
- 迷路が複雑なため、壁を作るとき内側から貼っていくと貼りやすいです。
- 接着面が少ないため、慎重に作業を行い数秒間手で固定するとよい。

◆ 児童等の感想

- 迷路の壁を作るのが少し難しかったけど、低学年は指導員さんが手伝ってくれたので上手にできました。
- 何時も電子ゲームで遊んでいるので、自分で作った物で遊べて嬉しかった。

◆ 先生の感想

- ダンゴムシは丁字路で最初に右に曲がった場合は、次は左に、最初に左に曲がった場合は、次は右に曲がる習性があります。



- 実際にダンゴムシ6匹に各個体3回ずつ歩かせたところ、途中で止まったり壁を登った場合を除けば、約9割の確率でゴールにたどり着きました。
- このようなジグザグ走行は、ダンゴムシが生息する落ち葉の下や石の裏など障害物の多い環境で、効率よく移動する事を可能にすると考えられています。

教室名	鴻巣市立鴻巣東小学校放課後子ども教室
-----	--------------------



料理

区分	番号	名称	教室名	応援団での活用	ページ
料理系	1	カップ寿司	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		90
	2	お米くらべ	小鹿野町立小鹿野小学校放課後子ども教室「土曜お楽しみ会」		91
	3	うどんづくり	三郷市放課後子ども教室「わくわく砦たかす」		92
	4	手打ちうどん・飯餅	熊谷市放課後子ども教室「奈良っ子ふれあいメイト」	○	93
	5	ミニミニピッツア	鴻巣市立鴻巣東小学校放課後子ども教室		94
	6	ぎょうざづくり	川口市放課後子ども教室「朝日東ホッと大夢」	○	95
おやつ系	7	白玉団子	蕨市立塚越小学校区放課後子ども教室	○	96
	8	月見団子づくり	嵐山町放課後子ども教室「スイミー」	○	96
	9	ホットケーキミックスを使った蒸しパン	嵐山町放課後子ども教室「スイミー」	○	97
	10	おまんじゅう作り	横瀬町放課後子ども教室		98

		応援団での活用	
分類	料理	所要時間	60分
名称	カップ寿司	所要人数	～40人程度
活動場所等	調理室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年による分担作業で自主性を養います。 ・ 料理の楽しさを学びます。 		
準備する物	容器(紙コップ等)・割りばし 米・寿司酢・具材(ハム・卵・人参・蓮根・貝割れ大根・油揚げ・チーズ・のり・でんぶなど)		
◆内容(作り方、遊び方等)			
■準備■ 高学年 米を研ぎ、炊飯する。 野菜の下ゆで ハム・卵・チーズの片抜き 低学年 野菜の片抜き(下ゆでする野菜のみ)			
			
■作り方■ ① 紙コップに酢飯を6分目ほど入れる。 ② 好きな具材を、彩りを意識しながら盛り付ける。			
			
◆工夫したところ			
① 高学年・低学年の作業を分担することで、効率よく、無理なく作業を行う事が出来る。 ② 野菜が苦手な子どもたちも、自分たちで片抜きしたり、盛り付けたりすることで食べる事ができたようだ。 ③ 日本の伝統的な行事(桃の節句)を皆で祝い、慣習を学んだ。			
◆児童等の感想			
○ 春らしく、きれいに盛り付けすることが出来ました。 とてもおいしかったので、家に帰ってお母さんと一緒に作ってみたいと思います。			
○ 野菜の片抜きが面白かった。 いろいろな色の野菜やチーズを飾るのが楽しかった。			
教室名	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		

		応援団での活用	
分類	料理	所要時間	90分
名称	お米くらべ	所要人数	1グループ 6～8人
活動場所等	調理室		
おすすめポイント	学年に応じた作業ができる。楽しく学べて、あとで食べられます。		
準備する物	うるち米、もち米、炊飯器、ボウル、すりこぎ、ラップ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>準備</p> <p>うるち米、もち米をそれぞれ1グループあたり3～4合ずつ配布できるように研いでかけておく。炊き始めてもよい。</p> <p>① うるち米、もち米を手にとって色や形を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炊きあがるまでの時間は、比較し気付いたことを発表しあったり、きりたんぼ等を食べたことがある児童の話の聞いたりする。 <p>② 炊きあがった米を見た目、匂い等、比較する。</p> <p>③ 冷えないうちに、すりこぎでつくようにこねる。(グループ内で交代しながら)</p> <p>④ うるち米をついたものともち米をついたものを比較する。</p> <p>⑤ 児童にラップを2枚ずつ用意し、うるち米ともち米をついたものを分ける。さわったり、食べてみたりさせる。</p> <p>⑥ まとめとして、うるち米をついた五平餅やきりたんぼの話などをし、児童も食べたり、ついた感想等を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間が余れば、割り箸を用意して、うるち米をついたものをきりたんぼのように、割り箸につけてもよい。 <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もちつきを行おうと思ったが、みんなで作り上げる方法をと考え、すりこぎでつく方法にした。 ・ あまり少量だと、さめるのが早く固まってしまうので、注意が必要です。うるち米ともち米とを比較しその違いを実感する。 <p>◆児童等の感想</p> <p>お正月に食べる餅と同じようにできてうれしい。家族と後で焼いて食べるのが楽しみだ。</p>			
教室名	小鹿野町立小鹿野小学校放課後子ども教室「土曜お楽しみ会」		

		応援団での活用	
分類	料理	所要時間	120分
名称	うどんづくり	所要人数	30名くらい
活動場所等	調理室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年からでも簡単にできます。 ・ グループで協力して活動できます。 		
準備するもの	どんぶり、中力粉、塩、めんつゆの素、小松菜、なると、ビニール袋(A4サイズくらい)、超厚手のビニール袋(A3サイズくらい)、割り箸		
<p>◆内容(作り方)</p> <p>(うどんの麺づくり)</p> <p>① 中力粉100グラムと水50cc、塩をA4のビニール袋に入れ、ビニール袋の外側からよくこねる。</p> <p>② ①をビニール袋から出し、超厚手のビニール袋に入れて足で踏む。</p> <p>③ 馴染んできたら、超厚手のビニール袋いっぱいにはやくのばす。</p> <p>※ ①、②、③の行程は、調理室だと狭いので別の部屋で行う。</p> <p>④ 調理室のまな板の上で、うどんを切る。</p> <p>⑤ うどんをゆで、うどんを洗う。※ この行程は危険なのでスタッフが行う。</p> <p>⑥ どんぶりにうどんをよそい、つゆとトッピングをして、班ごとに食べる。</p>			
			
			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループでの活動を重視し、班分けも異なる学校や学年、男女混合で組んだ。 ○ 自分たちで作る喜びを感じてもらうため、スタッフはなるべく口出ししないよう心がけた。 ○ うどんを寝かせる時間帯では、班ごとにレクリエーションをして交流を図った。 			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おいしくできて良かった。家に帰っても作りたい。 ○ みんなで作ったので、より楽しめた。またみんなで何か美味しいものを作りたい。 ○ うどんを上手に切れず迷惑をかけたので、次回はしっかりできるように頑張りたい。 			
教室名	三郷市放課後子ども教室「わくわく碧たかす」		

		応援団での活用	○
分類	料理	所要時間	3時間
名称	手打ちうどん・飯餅	所要人数	40人(1グループ8人)
活動場所等	調理のできる施設		
おすすめポイント	学校の調理実習では経験できない料理ができる。		
材料	手打ちうどん 小麦粉1kg 塩少々 水350cc～380cc 飯餅 冷や飯(茶碗4杯) 小麦粉50g 卵1個 油少々 醤油半カップ 砂糖半カップ		
用意する物	手打ちうどん 麺鉢(大きなボール等) 麺棒 包丁 大きめのビニール袋 飯餅 フライパン		

◆内容(作り方、遊び方等)

手打ちうどん

- ① 麺鉢に粉を入れ手の平に乗るくらい打ち粉用に取り除きます。
- ② 塩を少々入れ水を一度に入れず様子を見ながら回し入れます。
- ③ 指を広げ粉に水を吸わせるようにかき混ぜます。
- ④ 手前に寄せ集め1つにまとめます。(まだ粉っぽい状態) 全体重をかけ上から手の平で押さえつけるようにまとめます。まだ全体的に粉っぽくボロボロと塊が落ちますが、何とか1つになる状態です。
- ⑤ 1つにまとまったらビニール袋に入れます。
- ⑥ 袋にいれたら、かかとを使いながら伸ばしていきます。2つに折りたたみ、また踏んで伸ばします。これを10回程繰り返します。
- ⑦ 踏んで丸めたものを、最初温かい場所(27℃)30分間寝かす。次に寒い場所(冷蔵庫の野菜室など)10分間寝かす。
- ⑧ 踏んで伸ばした物をきれいなテーブルの上に粉をひき、その上に乗せ打ち粉を使いながら麺棒で伸ばします。伸ばすときに始めは縦に伸ばし、次に横に伸ばし折りたたんでまた伸ばし、厚さ2～3ミリ程度の四角または長方形に伸ばします。
- ⑨ 打ち粉を使い3つに折りたたんで、包丁で均等に切ります。
- ⑩ 大きな鍋にお湯を沸騰させます。
- ⑪ 麺を入れます。箸でくっつかないようにほぐしながら、細めんなら2分、太麺なら5分茹でます。
- ⑫ 茹で上がったらすばやく冷水に取り、ぬめりを取り除くようにもみ洗いしてざるに取る。



飯餅

- ① 冷や飯をレンジで温める。熱いうちに卵、小麦粉を加えて良くこねる。
- ② 厚さ1cmの丸型、小判型に丸める。
- ③ フライパンに油を敷き、両面にこげ色が付く程度にゆっくり焼く。
- ④ たれ(醤油半カップ、砂糖半カップ)を煮立てて、その中に焼きあがった③を入れて出す。

◆工夫したところ

手打ちうどん

- ・ 季節によって水の加減をする。

飯餅

- ・ 味噌、すりごま、青海苔、きな粉を入れても美味しいです。

◆児童等の感想

- ・ 粉からうどんができる事が不思議だった。
- ・ ご飯が残っても工夫次第では美味しく食べることが出来た。

教室名	熊谷市放課後子ども教室「奈良っ子ふれあいメイト」
-----	--------------------------

		応援団での活用	
分類	料理	所要時間	120分
名称	ミニミニピッツア	所要人数	50人程度(1グループ6人程)
活動場所等	家庭科室		
おすすめポイント	餃子の皮を2枚重ねて、簡単に生地作りが出来ます。		
準備する物	餃子の皮、ピーマン、玉ネギ、ウインナーソーセージ、コーン、とろけるチーズ、ピザソース		
<p>◆ 内容(作り方)</p> <p>(生地作り)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 餃子の皮の外側に、手で水をつけ2枚重ねる。 ② 野菜は薄くスライスし、ウインナーソーセージは薄い輪切りにする。 ③ 生地に、ピザソースを全体に塗り野菜とウインナーソーセージを並べて、とろけるチーズをたっぷりのせる。 ④ 中火のフライパンで約5分間蓋をし蒸し焼きにする。チーズがとろけたら出来上がり。 <p>◆ 注意点</p> <p>野菜を薄く切るため、包丁よりピーラーで薄くスライスする方が安全です。 フライパンを使用するので火傷には注意する。</p> <p>◆ 工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜は、生でも食べられるのでチーズがとろければ出来上がりです。 ○ 生地を軟らかく仕上げる時は、フライパンに少し水を入れると良い。 <p>◆ 児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単に出来るので、家で作ってお父さんに食べさせてあげたいです。 ○ 野菜が嫌いな人も、食べられます。 <p>◆ 先生の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜は、お好みで薄いスライスかみじん切りでも美味しくできます。 ○ 小麦粉でお好みの大きさに、生地を作れば本格的なピザが作れます。 			
			
			
教室名	鴻巣市立鴻巣東小学校放課後子ども教室		

		応援団での活用	○
分類	料理	所要時間	120分
名称	ぎょうざづくり	所要人数	子ども63人、大人23人
活動場所等	公民館講座室		
おすすめポイント	親子で参加してぎょうざづくりをする。一緒に食事をする。 学年別のグループ分け、低学年から高学年でグループ分け		
準備する物	用具、食材 * 詳細は下記のとおり		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>○ 用具 子どもたちの持ち物 エプロン、三角巾(バンダナなど)、お皿、茶碗、お椀、お箸、スプーン、手ふきタオル</p> <p>○ 食材 ぎょうざ・ごはん(100人前) 豚肉4.2kg ニラ12束 玉葱(中)13個 キャベツ4個 白菜1個 コーン2.5kg 餃子の皮800枚 ソース300g コショウ1瓶 片栗粉1袋 冷凍グリーンピース1kg 米10kg 根シヨウガ4袋 豆乳2ℓ しょうゆ ラー油 スイカ3個 消毒液3本 使い捨て手袋100枚 発砲スチロール容器3個</p> <p>とり団子スープ(100人前) とり肉4kg しょうが12個 豆乳1.2ℓ だし汁20ℓ(昆布200g、かつお1.2kg) グリーンピース2kg</p> <p>○ タイムスケジュール 9:00 スタッフ集合 準備 用具と食材、机をグループ数に分ける。 (9:15~11:30)とり団子スープ作り炊飯開始 9:30 参加者の受付開始 ・ 参加した子どもたちを学年別に12のグループ(5~6人)に分け、大人も12のグループ(2~3人)に分かれる。 10:00 開会行事 調理開始 ・ 使用食材の確認と作り方を説明する。 ・ 12箇所に分かれて座る。長机2台をあわせ、卓上には分けた食材、ぎょうざの皮、ボール、包丁、ガスコンロ、フライパン、包丁、まな板等を用意する。 (10:15~11:15)具材を作り、ぎょうざの皮に包む作業 (11:20~12:00)ぎょうざを焼く。 12:00 食事 ・ 献立ア. ぎょうざ5~8個 イ. とりだんごスープ(とり肉ミンチのだんご、グリーンピース入り) ウ. ご飯(白いご飯・グリーンピースの炊き込みご飯) エ. デザート(スイカ) 12:30 後片付け</p> <p>○ 調理方法 ぎょうざ8~9人前 豚肉(ミンチ)350g キャベツ150g 白菜100g 玉ねぎ1ヶ にら1束 コーン200g に、調味料として 塩小さじ1 オイスターソース小さじ1 コショウ少々 片栗粉大さじ2 を混ぜる。 概ね63等分にぎょうざの皮に包み 焼く。 とり団子スープ だし汁 ①8ℓの水に昆布50gを入れ中火で煮出す ②昆布を取りだしたら沸騰させ、かつお節(300g)を入れ 中火で20~30分煮出し、布でこし5ℓにする。 とり団子①ひき肉をよく練り、塩少々 酒大さじ3 しょうが汁大さじ3 豆乳の順に入れ、最後に片栗粉大さじ2 入れる。②だし汁を一煮立ちしたら 酒大さじ6 肉を団子状に丸め鍋に入れ、肉に火が通ったら灰汁 取りをして、グリーンピースを入れる。③グリーンピースに火が通ったら薄口醤油大さじ3 塩小さじ1 を入れ、水溶き片栗粉(大さじ12の水に大さじ6の片栗粉)を入れとろみをつける。</p> <p>◆工夫したところ ・ 低学年には、保護者、ボランティアを多く配置した。 ・ 具材づくりは、各グループの大人が中心となって行った。</p> <p>◆児童等の感想 自ら調理し食することで、食に対する理解と他者との協調を深められ、充実した事業となった。</p>			
教室名	川口市放課後子ども教室「朝日東ホッと大夢」		

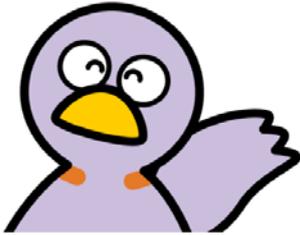
		応援団での活用	○
分類	料理	所要時間	1時間
名称	白玉団子	所要人数	何人でもOK(1グループ6~8人)
活動場所等	調理室		
おすすめポイント	低学年でも簡単で美味しくできること、また夏は冷たく、冬はお汁粉などでも大丈夫なので、一年中対応可能		
準備する物	白玉粉・豆腐・水・あんこ・きな粉など 鍋、バット、おはし、各お弁当箱もしくはお皿など		
◆内容(作り方、遊び方等)			
1 白玉粉・水・豆腐をよくこねて、直径2cmくらいの団子を作る。			
2 沸騰したお湯で団子を茹であげ、出来たら氷水で冷やす。			
3 あんこ、きな粉などお好みに団子かけて食べる。			
◆工夫したところ			
仕切りのあるお弁当箱を持参して貰い、きなことあんこを入れて、好きな方で団子を食べてもらった。			
◆児童等の感想			
簡単にできたので、良かった。			
教室名	蕨市立塚越小学校区放課後子ども教室		

		応援団での活用	○
分類	料理	所要時間	50分(準備から片付けまで)
名称	月見団子づくり	所要人数	1グループ4人程度
活動場所等	嵐山町ふれあい交流センター 調理室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年でも簡単にできる。 ・ 短時間でできる。 ・ 豆腐を入れるとやわらかくできる。 		
準備する物	1グループ(3~4人分) ・団子粉100g ・豆腐100g ・きな粉 砂糖 適宜(同量) 氷、ボウル×2、鍋、ザル、皿		
◆内容(作り方、遊び方等)			
☆作り方☆			
① ボウルに団子粉と豆腐を入れる。			
② 豆腐は手でくずし、粉がなじみ耳たぶ程のやわらかさになるまでこねる。			
③ 生地を丸め、真ん中をへこませる。			
④ 鍋でお湯をわかし、沸騰したら③を入れる。浮き上がってから1~1.5分ゆでる。			
⑤ ゆでた団子は氷水にとる。冷えたら水気をきって器に盛る。			
⑥ きな粉と砂糖をお好みに混ぜ、団子にかけて食べる。			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ分け・・・学年が偏らないようにふりわけた。 ・ 分担……………前もって決めなかった。作業していくうちに自然に子ども達に役割を決めていた。 			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・ とてもおいしくできた。 ・ やわらかくできた。 			
教室名	嵐山町放課後子ども教室「スイミー」		

		応援団での活用	○
分類	料理	所要時間	50分(準備から片付けまで)
名称	ホットケーキミックスを使った蒸しパン	所要人数	1グループ5人程度
活動場所等	嵐山町ふれあい交流センター 調理室		
おすすめポイント	手軽にできる。 具のバリエーションが多い。		
準備する物	ホットケーキミックス200g、卵1個、牛乳1/2カップ、チーズ(適宜)、缶詰コーン(適宜) 紙のカップ(9号・約10個)、ボウル、お玉、皿、ラップ		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>① ボウルに牛乳、卵を割り入れ、よく混ぜホットケーキミックスをいれる。</p> <p>② お好みの具(チーズ、コーンなど)を入れ混ぜる。</p> <p>③ 紙のカップの7分目ぐらい入れ、皿に並べラップをかける。</p> <p>④ 500Wのレンジで約3分加熱する(注焼きすぎると硬くなるので様子を見ながら加熱する。)</p> <p>⑤ 竹串でさし、ついてこなければ出来上がり。</p>			
◆工夫したところ			
<p>今回軽食として実施したので、チーズやコーンを混ぜてみました。 おやつにするならチョコやリンゴなど甘い物をまぜてもよい。</p>			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> ・ おいしかった。 ・ 硬くなったけどおいしい。 ・ 簡単なので具をかえて家で作りたい。 			
教室名	嵐山町放課後子ども教室「スイミー」		

		応援団での活用	
分類	料理	所要時間	120分
名称	おまんじゅう作り	所要人数	20～30名
活動場所等	家庭科室		
おすすめポイント	手作りまんじゅうは、作るときも、蒸しているときのおいも、もちろん食べるときも幸せいっぱいです。		
準備する物	小麦粉、炭酸、砂糖、あんこ、ボール、はかり、蒸し器、ざる、うちわ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>材料をはかる(1グループ4～5人約20個分)</p> <p>ア 小麦粉 500g イ 水 300～350cc</p> <p>ウ 砂糖 大さじ3 エ 重曹 15g オ あんこ玉 20こ</p> <p>おまんじゅうの皮をつくる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水・重曹・砂糖を混ぜる。 ② ボールに入れた小麦粉に①を入れ、ざっとこね合わせる。 (耳たぶくらいのやわらかさになるまで) ③ その生地をしばらく休ませる。 ④ こねて休ませた生地をさっとガス抜きして、20等分する。 ⑤ 手に粉(手粉)をつけてから、手のひらでおまんじゅうの皮を丸くして平らにのばす。 ⑥ 凍らせておいたあんこ玉を皮の中心に置き、包む。(最後の結びをぎゅっとつける。) ⑦ 蒸し器にしめらせたふきんを置き、おまんじゅうを間を空けて並べる。 ⑧ 沸騰した鍋に蒸し器を重ね、15分程度蒸す。 ⑨ 蒸し上がったら、うちわであおぎツヤを出す。 ⑩ ざるに出してできあがり。 <p>試食する。</p> <p>片付けをする。</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あんこは、事前に作り凍らせておいたので、包みやすかった。 ・ 蒸気でやけどをしないように、注意させた。 ・ 取り出すときにうちわであおいだので、ツヤが出た。 <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作っているとき楽しかった。 ・ 蒸しているとき良いにおいがしてきた。 ・ とてもおいしかった。 			
教室名	横瀬町放課後子ども教室		





その他

番号	名称	教室名	応援団での活用	ページ
1	保護者参観	深谷市 藤沢小がんばル～ム		100
2	がんばりノート	深谷市 深谷西小がんばル～ム		101

		応援団での活用	
分類	その他	所要時間	放課後子ども教室実施時間内
名称	保護者参観	所要人数	何人でも可
活動場所等	教室		
おすすめポイント	自分の子どもや教室の様子がどのようなものか見学し、把握していただくことができる。		
準備する物	来校者用名札、参観用受付用紙		

◆内容(作り方、遊び方等)

【準備する物】

① 来校者用名札

安全監理員に渡しておき、来校者へ渡す。



② 参観用受付用紙

年度初めに、児童全員に配布し、保護者の都合のよい日、都合のよい時間にきていただくというものです。保護者の方は必要事項に記入し、来校時にこの用紙を安全監理員へ渡し、安全監理員が用紙右側を切り取って受け取ります。受け取った用紙は後でマネージャーに渡します。

<p>藤沢小「がんばル〜ム」 参加児童保護者 様</p> <p style="text-align: center;">藤沢小「がんばル〜ム」</p> <p>日頃より、保護者の皆様におかれましては、藤沢小「がんばル〜ム」に御理解・御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>お子様が「がんばル〜ム」でどのような活動をしているかご覧になりたい方は参観する当日、右記を記入し、玄関で提出の上、実施時間内にご自由にご参観下さい。</p>	<p>キリ線</p>	<p>藤沢小「がんばル〜ム」マネージャー 様</p> <p>下記のとおり参観いたします。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>参 観 日</td> <td>月 日 (土)</td> </tr> <tr> <td>児 童 氏 名</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td>参観者氏名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童との続柄</td> <td>保護者 祖父母 その他 ()</td> </tr> </table>	参 観 日	月 日 (土)	児 童 氏 名	年	参観者氏名		児童との続柄	保護者 祖父母 その他 ()
参 観 日	月 日 (土)									
児 童 氏 名	年									
参観者氏名										
児童との続柄	保護者 祖父母 その他 ()									

◆工夫したところ

ある保護者から「がんばル〜ムを見学したい」という要望をいただきました。ただし、不審者と保護者とを識別するのはどのようにすればよいかを考え、「来校者用名札」と「参観用受付用紙」を作成しました。「参観用受付用紙」は、年度初めに児童全員に配布し、保護者の方へ渡してくれるようお願いしています。安全監理員の方の協力をいただき、無事に行うことができます。

◆コーディネーター感想

子どもたちは、保護者の方が参観に来ると、気持ちが引き締まる様子で、学習に打ち込むようになります。

教室名	深谷市 藤沢小がんばル〜ム
-----	---------------

		応援団での活用	
分類	その他	所要時間	5分
名称	がんばりノート	所要人数	何人でも可
活動場所等	教室		
おすすめポイント	みんなで一斉に使ったり個々に使ったりノートとして使う。		
準備する物	B4用紙6枚(表紙1枚、白紙5枚)		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>作り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B4に表紙を印刷する。左側を国語用、右側を算数用にする。残りの白紙を半分に折り、表紙にはさみこみ、ホチキスで止める。 ・ わからなかった漢字や計算を書いておいて、自分のわからない所をあとで見返す。 ・ みんなで一斉に漢字などの書きとりをする。 ・ 計算や漢字の練習をする等、多様に使っています。 <div style="text-align: center;"> </div>			
<p>◆工夫したところ</p> <p>表面を算数に、裏面を国語にして一冊にしています。児童に各自作成してもらうことによって、大事に使用してもらえます。</p>			
<p>◆先生の感想</p> <p>ワークの前にみんなで一斉に書き取りなどをすると、みんな集中してワーク学習に取り組めるようです。</p>			
教室名	深谷市 深谷西小がんばル～ム		